SONY

3-076-897-**01** (1)

デジタルビデオカメラレコーダー

MICRO MV

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

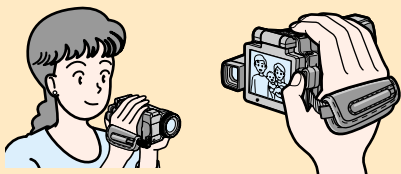
Network Handycam IP

Bluetooth MPEGMOVIE AD

DCR-IP220K

「ネットワーク機能取扱説明書」もご覧ください。

こんなことができます

動画や静止画を撮影して、再生できます。

画像をパソコンに取り込めます。

お使いになる前に必ずお読みください

MICROMV 本機はMICROMVカセットのみご使用になれます

本機はMICROMV（マイクロエムブイ）方式のビデオカメラレコーダーです。本機ではマイクロカセットメモリーを搭載したMICROMVカセットのみご使用になれます。

MICROMVとは
- DV（デジタルビデオ）と同等の高画質で、約60分間の記録、再生ができます。
- MICROMVのカセットには、すべてマイクロカセットメモリーを搭載しています。本機は、このマイクロカセットメモリーを使った、見たい場面へ手軽にアクセスできる機能（マルチ画面サーチ）を搭載しています。
- データの圧縮方式は、BSデジタル放送やDVDで採用されている「MPEG2」方式です。本機では、より高画質な12Mbpsのビットレートで記録しています。
- つなぎ撮り部分が静止画になりますが、故障ではありません。

MICROMVカセットにはマークが付いています。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません

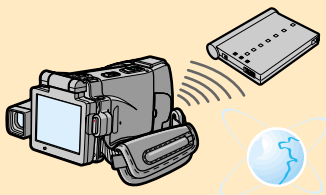
万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

電波障害自主規制について

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶画面、ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについて

- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんのでご安心してお使いください。
- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

Bluetooth機能搭載機器（別売り）と接続したり、USBネットワークアダプター対応専用アクセサリー（別売り）を使って、インターネットに接続できます。（133ページ）
詳しくは、別冊の「ネットワーク機能取扱説明書」をご覧ください。

さらにこんなことができます。

明るさが気になるときの撮影

- 逆光補正 （28ページ）
- NIGHTSHOT/SUPER NIGHTSHOT/COLOR SLOW SHUTTER （29ページ）
- フラッシュ撮影 （42、100ページ）
- ホワイトバランス （44ページ）
- プログラムAE （51ページ）
- カメラ明るさ調節 （53ページ）
- フレキシブルスポット測光 （55ページ）
- ホログラフィックAF （101ページ）
- NIGHTFRAMING （102ページ）

インパクトのある画像を作るための機能

- デジタルズーム （26ページ）
  お買い上げ時の設定は「切」になっています。（10倍を超えるズームを使うにはメニューで「デジタルズーム」の倍率を選択してください。）
- フェーダー （46ページ）
- ピクチャーエフェクト （48ページ）
- デジタルエフェクト （49ページ）
- タイトル （72ページ）
- メモリーミックス （106ページ）

さりげなく自然な画像にするための機能

- プログラムAE （51ページ）
  – スポーツレッスン
  – フウケイ
- 手動ピント合わせ （56ページ）
- 拡大フォーカス （56ページ）
- スポットフォーカス （57ページ）

撮影し終わったテープで行う機能

- エンドサーチ （33ページ）
- データコード （36ページ）
- テープ再生ズーム （60ページ）
- マルチ画面サーチ （61ページ）
- タイトルサーチ （63ページ）

こんなことができます

本書内の写真について

液晶画面やファインダーの映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ　カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF#測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。
さらに本機はT*コーティングを採用しており、不要な反射を抑え、忠実な色再現性を実現しております。

Modulation（モジュレーション） Transfer（トランスファー） Function（ファンクション）の略。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解／改造すること
- 本製品の底面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

この機器は2.4GHz帯の2.400GHzから2.4835GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

Bluetooth機能搭載機器と接続したときの使用上の注意

この機器の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、テクニカルインフォメーションセンターまでお問い合わせください。テクニカルインフォメーションセンターについては、この取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2. 4 FH 2　この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 m以下です。

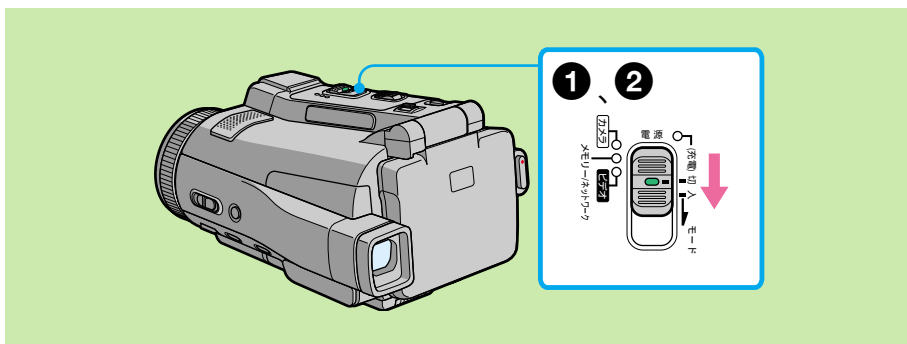
ネットワーク機能は日本国内のみ使用できます。

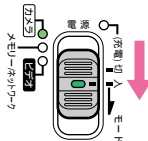
目次

はじめにお読みください

本機の基本操作方法について説明します。

電源スイッチの入れかた

本機に電源を供給する方法については、「準備1 電源を準備する」（12ページ）をご覧ください。

❶ **緑のボタンを押しながら電源スイッチを矢印の方向にずらす。**

本機の電源が入り、カメラランプが点灯します。

❷ **電源スイッチを繰り返し矢印の方向にずらして、モードを切り換える。**

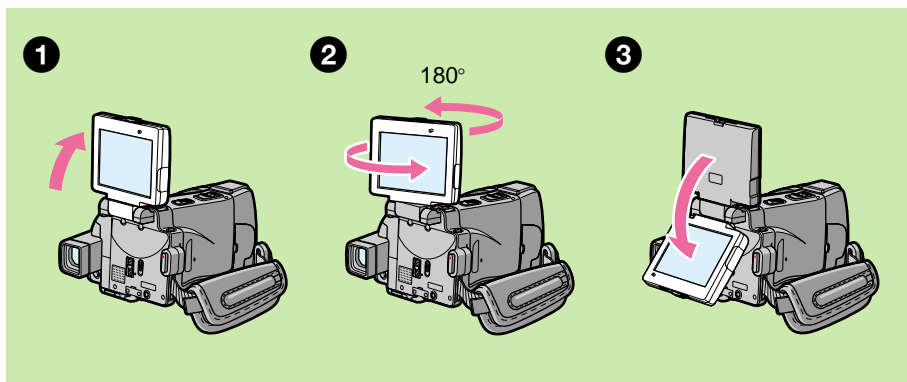
選択したモードのランプが点灯します。

「カメラ」モード：テープに撮影するとき

「メモリー/ネットワーク」モード

- **「メモリー」モード：**“メモリースティック”に撮影する、“メモリースティック”の画像を再生・編集するとき
- **「ネットワーク」モード：**ネットワーク機能を使うとき。詳しくは、別冊の「ネットワーク機能取扱説明書」をご覧ください。

「ビデオ」モード：テープを再生・編集する、“メモリースティック”の画像を再生・編集するとき

液晶画面の開けかた

ご注意

- 液晶画面は左回りに180°、右回りに90°回転します。
- 対面撮影時以外で液晶画面を開いているときは、ファインダーには画像が映りません。

液晶画面は

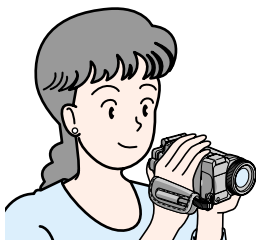
屋外では日差しの加減で見えにくい場合があります。ファインダーでの撮影をおすすめします。
角度を調節する場合は必ず手順2の状態で行ってください。

❶ 液晶画面を矢印の方向に開く。

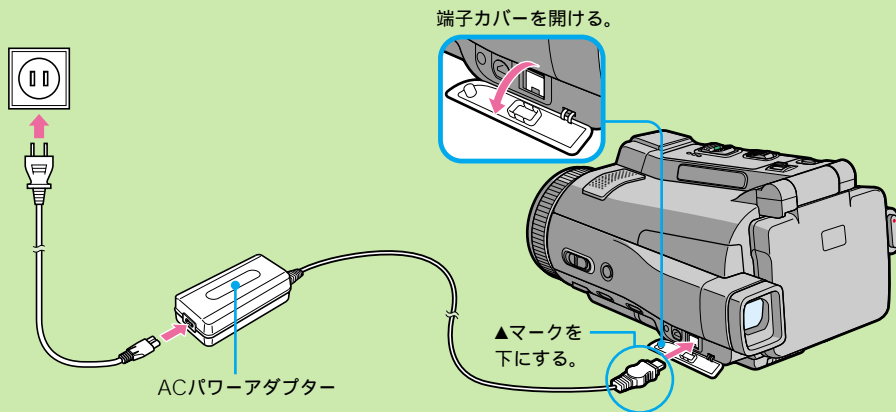
❷ 液晶画面を左回りに180°回転させる。

❸ 液晶画面を外側に向け、本体に閉じる。

液晶画面を閉じるときは、液晶画面を垂直にしてから本体に向けて閉じます。

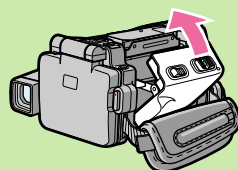
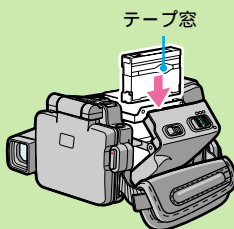
とにかく撮って見る – テープ編

ここでは本機のテープでの使いかたを簡単に説明します。詳しくは（　）内のページをご覧ください。

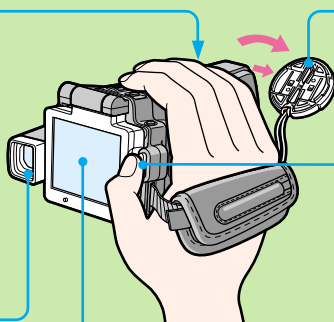
1 電源をつなぐ（15ページ）

屋外ではバッテリーを使います（12ページ）。

2 カセットを入れる（19ページ）

❶ 開く/⏏カセット取出し⏏つまみを矢印の方向にずらしてから、カセットぶたを開ける。

❷ テープ窓をカセットぶた側にして、カセットの背の中央部を押して入れる。

❸ カセットぶたでカセット入れを閉め、カセット入れが完全に引き込まれたら、カセットぶたを閉める。

3 撮影する（22ページ）

❷ **電源スイッチを「カメラ」モードにする。**
カメラランプが点灯します。

❶ **レンズキャップをはずす。**

❹ **スタート/ストップボタンを押す。**
撮影が始まります。

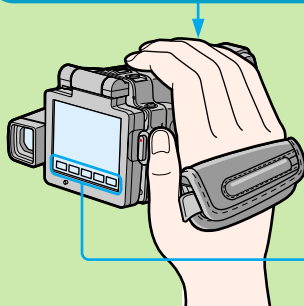
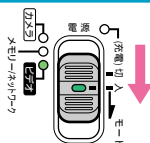
もう一度押すと止まります。

ファインダー
液晶画面を内側に向けて閉じているときは、この部分に目を当てて画像を見ます。ご自分の視力に合わせて、視度を調整してください（25ページ）。

❸ **液晶画面を開ける。**
液晶画面に画像が映ります。

お買い上げ時には日付・時刻の設定はされていません。撮影する前に日付・時刻を合わせてください（16ページ）。

4 液晶画面で見る（34ページ）

❶ **電源スイッチを「ビデオ」モードにする。**
ビデオランプが点灯します。

❷ **タッチパネルの◀◀（巻戻しボタン）を押してテープを巻き戻す。**

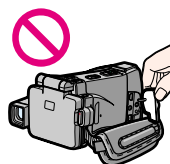
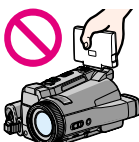
❸ **▶ II（再生/一時停止ボタン）を押すとテープが再生される。**

▶ II

ご注意

タッチパネルは、指または付属のスタイラスで軽く押してください。付属のスタイラス以外の先の尖ったもので押さないでください。

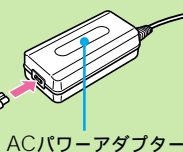
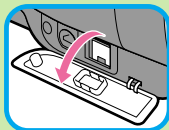
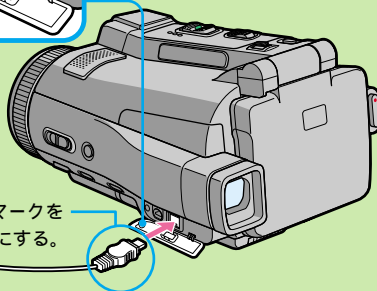
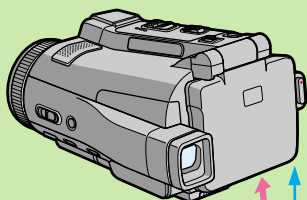
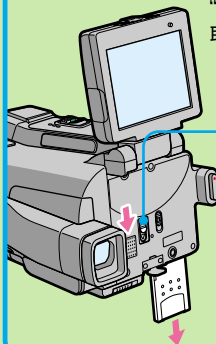
ご注意

液晶画面や端子カバーをつかんで、本機を持ち上げないでください。

とにかく撮って見る

とにかく撮って見る –“ メモリースティック ”編

ここでは本機の“ メモリースティック ”での使いかたを簡単に説明します。詳しくは（　）内のページをご覧ください。

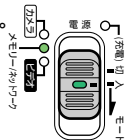
1 電源をつなぐ（15ページ）

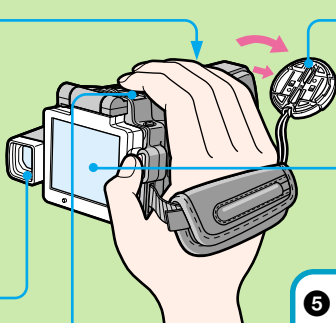
屋外ではバッテリーを使います（12ページ）。

2 “ メモリースティック ”を入れる（86ページ）

“ メモリースティック ”を図のような向きで、矢印の方向に奥まで押し込む。

3 “メモリースティック”に静止画を撮る（96ページ）

（96ページ）

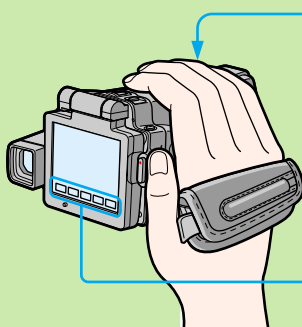
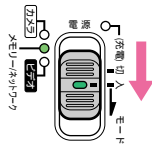
❷ **電源スイッチを「メモリー」モードにする。**
メモリーランプが点灯します。

❶ **レンズキャップをはずす。**

❸ **液晶画面を開ける。**
液晶画面に画像が映ります。

ファインダー
液晶画面を内側に向けて閉じているときは、この部分に目を当てて画像を見ます。ご自分の視力に合わせて、視度を調整してください（25ページ）。

お買い上げ時には日付・時刻の設定はされていません。撮影する前に日付・時刻を合わせてください（16ページ）。

❹ **フォトボタンを軽く押す。**
緑の●が点滅から点灯に変わり撮影可能となります。

❺ **フォトボタンを深く押す。**
ボタンを深く押したときの画像が“メモリースティック”に記録されます。

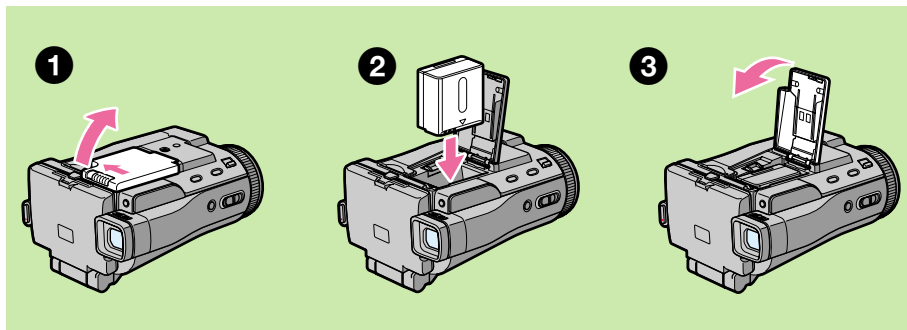
4 液晶画面で静止画を見る（115ページ）

❶ **電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」モードにする。**
メモリーランプまたはビデオランプが点灯します。

❷ **「再生」または「▭再生」を押す。**
最後に撮影した画像が出ます。

ご注意
液晶画面や端子カバーをつかんで、本機を持ち上げないでください。

とにかく撮って見る

準備1　電源を準備する

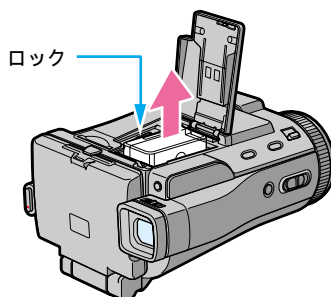
バッテリーを本体に入れる

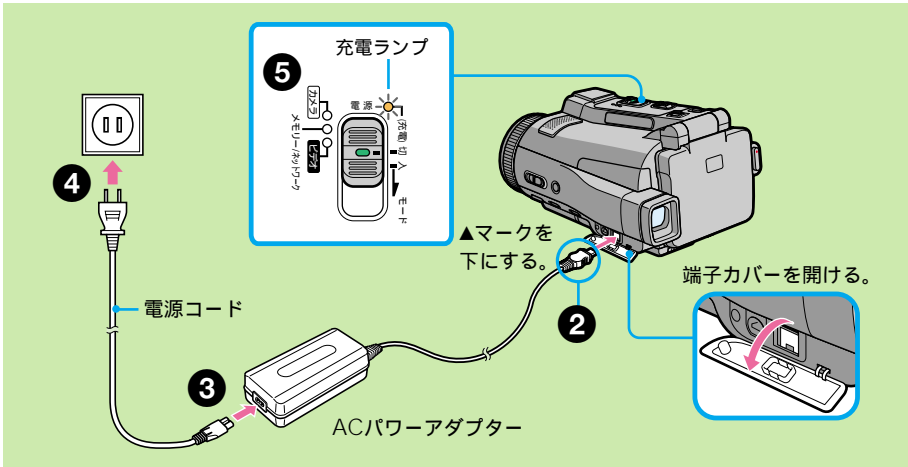
本機はNP-FF70バッテリーのみご使用になれます。

ご注意

本機はNP-FF70バッテリーのみご使用になれます。NP-FF50バッテリーはご使用になれません。

1. **OPEN⏋をを矢印の方向へずらし、バッテリーぶたを開ける。**
2. **バッテリーの端子側を本体に合わせて入れる。**
3. **バッテリーぶたを閉める。**

バッテリーを取り出す

バッテリーぶたを開け、ロックをはずしてバッテリーを取り出す。

バッテリーを充電する

バッテリーは充電してからお使いください。
本機の電源には、**“インフォリチウム”バッテリー**（NP-FF70）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。
“インフォリチウム”バッテリーについて、詳しくは155ページをご覧ください。

ご注意

ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

充電中のランプについて
以下の場合、充電ランプが点滅することがあります。
- バッテリーが正しく入っていない。
- バッテリーが故障している。
- 周りの温度が極端に高いときや低いとき。

ACパワーアダプターは
コンセントの近くでお使いください。
本機をご使用中に不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

❶ 本機にバッテリーを入れる。

❷ ACパワーアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。

端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラグの▲マークを下にしてつなぐ。

❸ 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。

❹ 電源コードをコンセントにつなぐ。

❺ 本機の電源スイッチを「（充電）切」にする。

充電が始まると、充電ランプが点灯し、終わると充電ランプが消えます（**満充電**）。

バッテリーの充電が終わったら

ACパワーアダプターをDC IN端子から抜く。

準備1　電源を準備する（つづき）

バッテリー残量の表示時間が充分なのに電源がすぐに切れるときは
満充電をすると正しく表示されます。

バッテリーは
室温10℃～30℃で充電することをおすすめします。

InfoLITHIUM（**インフォリチウム）バッテリーとは**
“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持ったリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー（NP-FF70）対応です。それ以外のバッテリーはお使いになれません。“インフォリチウム”バッテリーFシリーズには InfoLITHIUM F SERIES マークがついています。
InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

海外でも充電できます
詳しくは157ページをご覧ください。

撮影時間と再生時間について
25℃で撮影、再生したときの時間の目安です。低温では使用時間が短くなります。

充電時間

バッテリー	満充電時間
NP-FF70（付属）	150

使い切ったバッテリーを25℃で充電するのに必要な時間の目安（分）。

まわりの温度によりバッテリーの温度が極端に高いまたは低いと、充電時間が長くなることがあります。

撮影時間

バッテリー	ファインダーで撮影		液晶画面で撮影			
			液晶画面バックライト入		液晶画面バックライト切	
	連続撮影時	実撮影時*	連続撮影時	実撮影時*	連続撮影時	実撮影時*
NP-FF70（付属）	130	70	115	60	130	70

満充電してから撮影できる時間の目安（分）。
* 録画、スタンバイ、電源入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがあります。

再生時間

バッテリー	液晶画面で再生	液晶画面を閉じて再生
NP-FF70（付属）	140	175

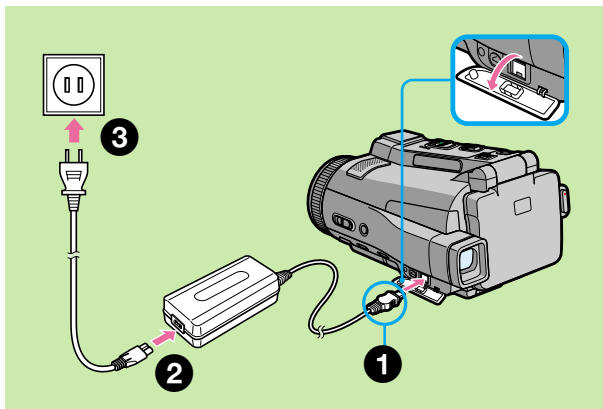
満充電してから再生できる時間の目安（分）。

コンセントにつないで使う

ご注意

- バッテリーを入れたままでもお使いいただけます。
- 電源供給はDC IN端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC IN端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。

自動車の電源では
ご使用になれません。

テープを再生するときなど長時間使用するときは、家庭用のコンセントを使うとバッテリー切れの心配なく使えます。

❶ **ACパワーアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。**

端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラグの▲マークを下にしてつなぐ。

❷ **電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。**

❸ **電源コードをコンセントにつなぐ。**

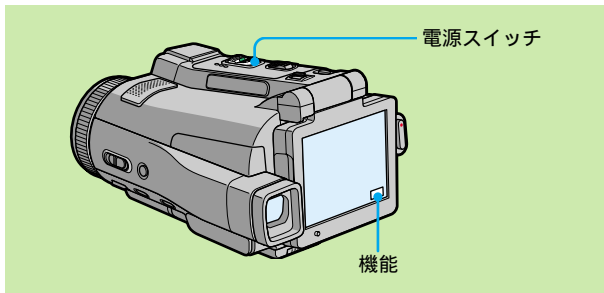
準備

準備2 日付・時刻を合わせる

本機をはじめて使うときは、日付・時刻を設定してください。設定しないと電源を入れ、撮影状態にするたびにお知らせメッセージが出ます。

3ヶ月近く使わなかったときなどに内蔵の充電式ボタン電池が放電して日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください（160ページ）。

日時を設定しないと
テープと“メモリースティック”のデータコードには「−−−− −− −−」と「−−:−−:−−」が記録されます。

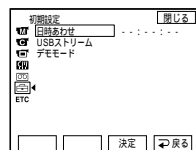
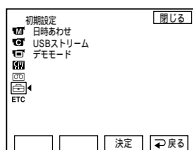
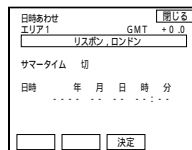
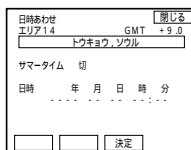
本機は海外でもお使いいただけます
海外でご使用の際は、本機の時計を現地の時刻に合わせてください（158ページ）。ただし、ネットワーク機能は日本国内のみでお使いいただけます。

エリア→サマータイム→年→月→日→時→分の順で合わせます。

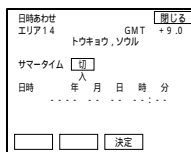
❶ **電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」モードにする。**

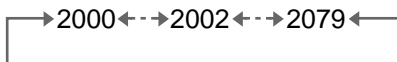
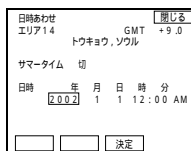
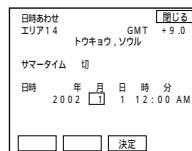
カメラランプまたはメモリーランプが点灯します。

❷ **「機能」を押し、ページ1画面を出す。（20ページ）**

❸ **「メニュー」を押して、メニュー画面を出す。**

❹ **「↓」/「↑」を押して[ETC]を選び、「決定」を押す。**

サマータイムがある地域で使用するときは
サマータイム中は「サマータイム」を「入」に設定する。

❺ **「↓」/「↑」を押して「日時あわせ」を選び、「決定」を押す。**

❻ **「↓」/「↑」を押してエリア（使用する地域）を選び、「決定」を押す。**

日本国内で使用するときは「トウキョウ, ソウル」を選ぶ。

❼ **サマータイム中かどうかを選び、「決定」を押す。**

サマータイムのときは「入」を、サマータイムでないときは「切」を選ぶ。日本国内で使用するときは「切」を選ぶ。

❽ **「↓」/「↑」を押して「年」を合わせ、「決定」を押す。**

年表示は次のように変わります。

準備

次のページへつづく

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

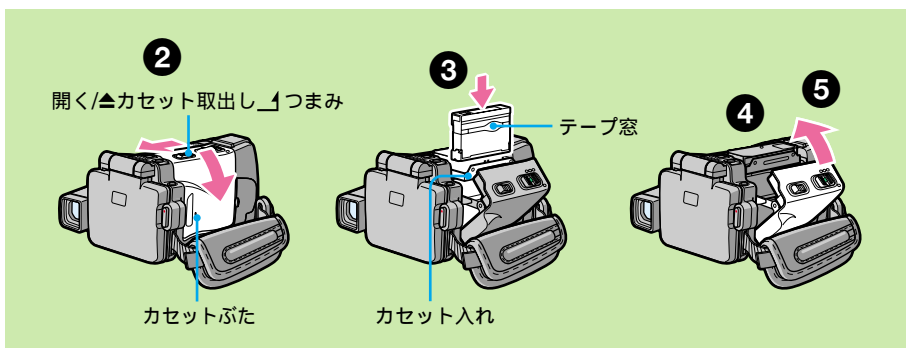
❾ **「↓」/「↑」を押して「月」、「日」、「時」、「分」を合わせ、時報と同時に「決定」を押す。**

時計が動き始めます。

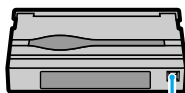
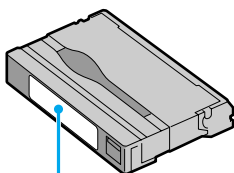
機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

準備3 カセットを入れる

準備

ご注意

カセット入れを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。

間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミを下にずらし「赤」にします。

カセットラベルについて
背ラベルは必ず専用のものを正しい位置にご使用ください。所定のラベルエリア［a］以外への貼付は、機器の誤動作・不具合を招く恐れがあります。

1 電源を準備する（12ページ）。

2 開く/≜カセット取出しつまみを矢印の方向にずらしてから、カセットぶたを開ける。

カセット入れが自動的に出て開きます。

3 カセットの背の中央部を押して、カセットを入れる。

テープ窓をカセットぶた側にして、まっすぐ奥まで押し込む。

4 カセットぶたでカセット入れを閉める。

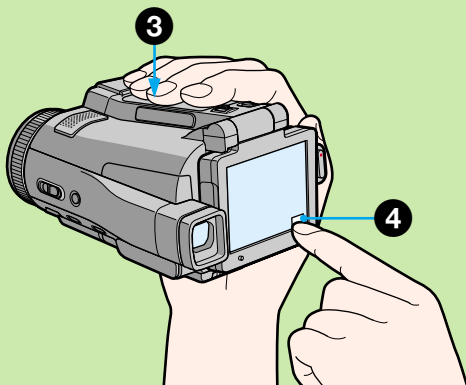
カセット入れが自動的に引き込まれます。

5 カセット入れが完全に引き込まれたら、カセットぶたを閉める。

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順2までを行うと、カセット入れが自動的に出てきます。カセット入れが完全に開いてから、カセットを取り出してください。

準備4 タッチパネルの使い方

本機では、操作に必要なボタンが液晶画面に表示されます。指または付属のスタイラスで押して操作します（タッチパネル操作）。ここでは、テープを使った撮影/再生時のタッチパネルの操作のしかたを説明します。

ご注意

- タッチパネルは、指または付属のスタイラスで軽く押してください。
- 付属のスタイラス以外の先の尖ったもので押さないでください。
- 液晶画面を必要以上に強く押さないでください。
- ぬれた手で液晶画面に触れないでください。
- 「機能」が表示されていないときは、液晶画面を軽く押すと表示されます。液晶画面の表示は、本体の画面表示/タッチパネルボタンを押して出したり消したりすることができます。
- 押したボタンが動作しないときは調節（キャリブレーション）が必要です。（161ページ）
- 液晶画面が汚れたときは付属のクリーニングクロスをお使いください。

各々の項目が設定されているときは
緑色のバー表示が項目の上に出ます。

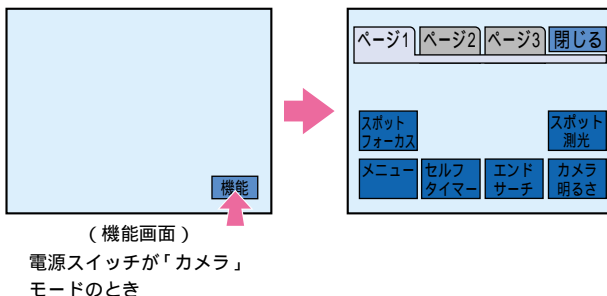
選択できないボタンは
グレー表示になります。

1 電源を準備する（12ページ）。

2 液晶画面を開ける。

3 電源スイッチを「カメラ」（撮影時）または「ビデオ」（再生時）モードにする。

4 「機能」を押す。

ページ1画面に操作に必要なボタンが表示されます。

（機能画面）
電源スイッチが「カメラ」モードのとき

「機能」を押すと液晶画面に以下のような操作ボタンが現れます。

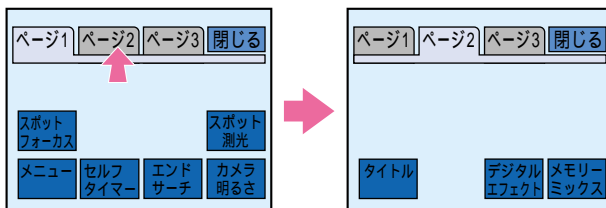
「カメラ」モード
- ページ1画面
  - 「スポットフォーカス」
  - 「メニュー」
  - 「セルフタイマー」
  - 「エンドサーチ」
  - 「カメラ明るさ」
  - 「スポット測光」
- ページ2画面
  - 「タイトル」
  - 「デジタルエフェクト」
  - 「メモリーミックス」
- ページ3画面
  - 「パネル明るさ」
  - 「音量」
  - 「カウンターリセット」

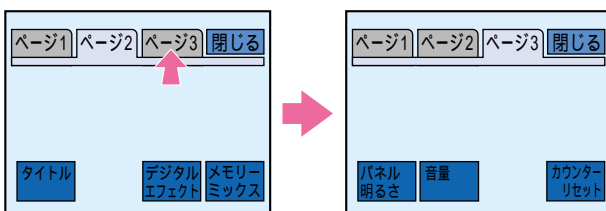
「ビデオ」モード
- ページ1画面
  - 「メニュー」
  - 「音量」
  - 「タイトル」
  - 「マルチ画面サーチ」
- ページ2画面
  - 「パネル明るさ」
  - 「デジタルエフェクト」
  - 「再生ズーム」
  - 「エンドサーチ」
- ページ3画面
  - 「データコード」
  - 「カウンターリセット」
  - 「oo録画そうさ」

電源スイッチを「メモリー」モードにしたときは

87ページをご覧ください。

5 「ページ2」を押す。

ページ2画面に操作に必要なボタンが表示されます。

6 「ページ3」を押す。

ページ3画面に操作に必要なボタンが表示されます。

7 希望の項目を押す。

詳しくは各機能の説明をご覧ください。

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

設定を決定するには

「⮌決定」を押す。

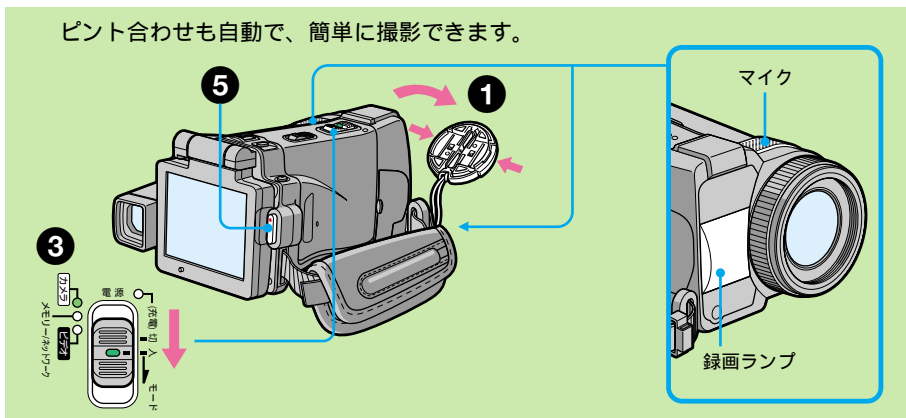
ページ1、ページ2またはページ3画面に戻ります。

設定を解除するには

「⮌切」を押す。

ページ1、ページ2またはページ3画面に戻ります。

撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。

ご注意

- グリップベルトをしっかりしめてください。
- マイクに手が触れないようにしてください。

つなぎ撮りについて

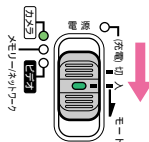
- カセットを取り出さない限り、電源を切っても撮影した映像はつながります。
  カセットを取り出してもエンドサーチ（33ページ）を行えばつなぎ撮りができます。
- バッテリーの交換は、電源スイッチを「（充電）切」にしてから行ってください。つなぎ撮りの映像に影響しません。

❶ レンズキャップの両側をつまんで取りはずす。

❷ バッテリーなどの電源を準備し、カセットを入れる。

「準備1～3」（12～19ページ）をご覧ください。

❸ 電源スイッチを「カメラ」モードにする。

カメラランプが点灯し、撮影スタンバイになります。

❹ 液晶画面を開ける。

ファインダーの画像は消えます。

ご注意

撮影日時/カメラデータは画面には出ません。自動でテープ上に記録され、再生時に「データコード」を押すと見ることができます。リモコンも使えます。(36ページ)

撮影スタンバイが5分以上続くと
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるには電源スイッチを一度「(充電)切」にしてから、もう一度電源を入れてください。ただし、カセットが入っていないときは、撮影スタンバイが5分以上続いても電源は切れません。

液晶画面を使って撮影するときのバッテリーの使用時間は
ファインダーを使っての撮影時間より若干短くなります。

❺ スタート/ストップボタンを押す。

スタンバイ表示が点滅します。その後「● 録画」が表示されて撮影が始まり、録画ランプが点灯します。もう一度押すと止まります。

撮影が終わったら

1 **電源スイッチを「(充電)切」にする。**
2 **液晶画面を内側にして閉じる。**
3 **カセットを取り出す。**
4 **バッテリーなどの電源を取りはずす。**

撮る

液晶画面の色の濃さは
メニューの「パネル色のこさ」で変えることができます（138ページ）。

パネル明るさ/パネル色の濃さ/液晶画面バックライトは
調節しても記録される画像に変化はありません。

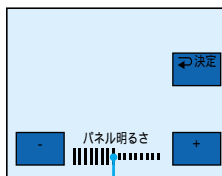
液晶画面バックライトスイッチは
通常は「入」にして使用します。屋外など明るい場所で使うときに「切」にするとバッテリーを長持ちさせることができます。

液晶画面の明るさを調節する

1. 電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」モードにして、
「機能」を押し、「ページ3」を押してページ3画面を出す。

電源スイッチを「ビデオ」モードにして、
「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。

2. **「パネル明るさ」を押す。**
パネル明るさ画面が表示されます。

3. **「−」/「+」を押して明るさを調節する。**

−：暗くするとき
+：明るくするとき

4. **「⮐決定」を押す。**
ページ2/ページ3画面に戻ります。

機能画面に戻すには
手順4の後で「閉じる」を押す。

ファインダーのバックライトの明るさは
バッテリーを本体に入れている場合、メニューの「VFバックライト」で明るさを変えることができます（138ページ）。

VFバックライトは
調節しても記録される画像に変化はありません。

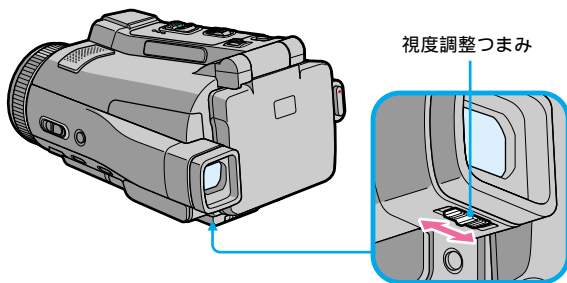
ファインダーの視度を調整する

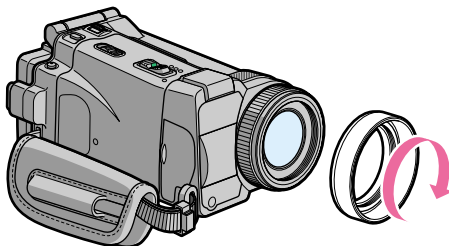
液晶画面を閉じて撮影するときは、ファインダーで画像を見ます。自分の視力に合わせてファインダー内の文字がはっきり見えるように調整します。

視度調整つまみを動かす。

ご注意

レンズフードの上からフィルターなどを取り付けることはできません。無理に取り付けるとはずせなくなります。

別売りのフィルターなどを使用しているときは
画像の四隅にフードの影が映る（ケラレが出る）ことがあります。

付属のレンズフードを取り付ける

晴れた日の屋外など、強い光源のあるところではレンズフードを取り付けることをおすすめします。

レンズフードの上からでもレンズキャップをつけることができます。

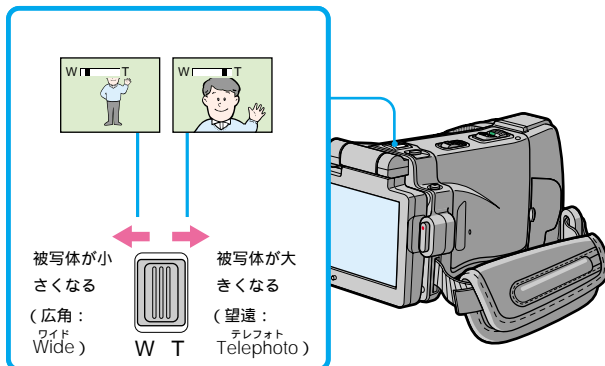
近くのものにピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

デジタルズームを使うと
- ズーム倍率は20倍または120倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。

電源スイッチを「メモリー」モードにすると
デジタルズームは使えません。

ズームする – ズームレバーを使う

ズームレバーを動かす。

軽く動かすとゆっくりズームし、さらに動かすと速くズームする。
使いすぎると見づらい作品になります。

10倍を超えるズームはデジタルズームになります。

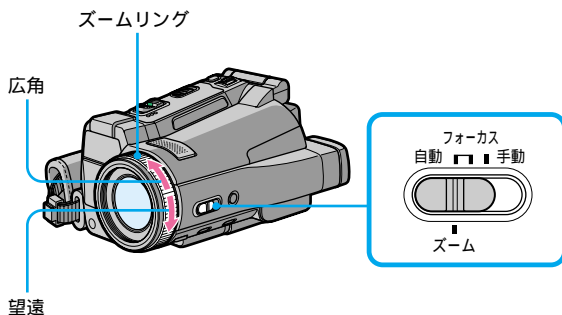
デジタルズームを使うには、メニューで「デジタルズーム」の倍率を選択してください（137ページ）。
（お買い上げ時の設定は「切」になっています。）

このラインよりT側がデジタルズームになります。
メニューで「デジタルズーム」の倍率を選ぶと表示されます。

ご注意

- ズームリングは適度な速さで回してください。回すスピードが速すぎると、ズームがリングの回転に追いつかないことがあります。
- フォーカススイッチを「ズーム」にすると、フォーカスは自動調節になります。

ズームする – ズームリングを使う

ズームリングを使うと、好みの速さでズームすることができます。また微調節も可能です。

フォーカススイッチを「ズーム」にする。

ズームリング表示 が表示されます。

ズームリングを好みの速度で回して、ズームする。

ご注意

液晶パネルは左回りのみ回転します。

対面撮影では

液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

対面撮影中は

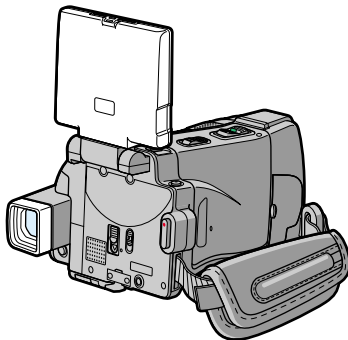
ファインダー内の「機能」は反転して見えます。

「機能」を押したときは

ファインダー内と液晶画面に は出ません。

対面撮影する

ファインダーと液晶画面で画像が確認できます。

被写体が自分で画像を確認したいときなどに使用してください。

電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」モードにしたとき

液晶画面を開けて、左回りに180°回転させる。

ファインダーと液晶画面に が出ます。

撮影スタンバイ中には❚❚●、撮影中には●が表示されます。

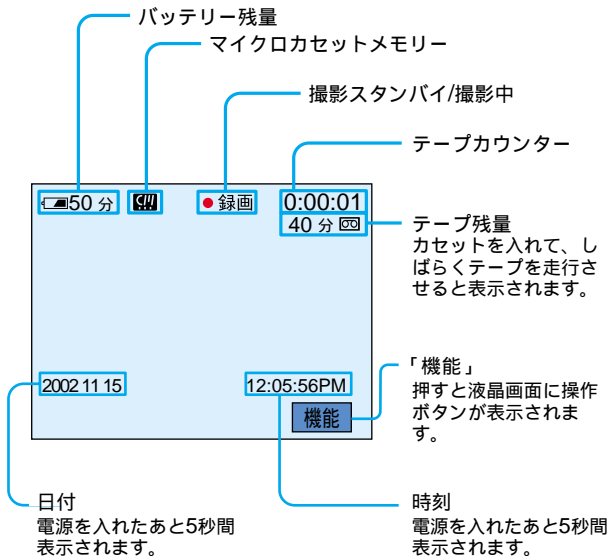
その他の表示では左右が反転するものもあります。また、表示が出ないものもあります。

撮影中のバッテリー残量表示について
連続撮影時間の目安を表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

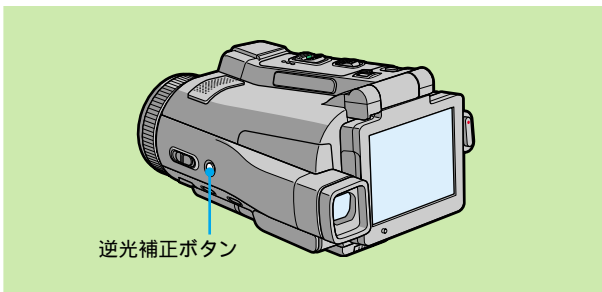
テープカウンターについて
テープカウンターはページ3画面の「カウンターリセット」を押してリセットできます。

撮影日時/カメラデータは
画面には出ません。自動でテープ上に記録され、再生時に「データコード」を押すと見ることができます。リモコンも使えます。（36ページ）

撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。

逆光補正をする

逆光補正中に
「カメラ明るさ」を「マニュアル」に設定する（53ページ）、または「スポット測光」を押す（55ページ）と逆光補正は解除されます。

被写体のうしろに光源があり、被写体が暗く映るときなどに明るさの補正をします。

❶ 電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」モードにする。

❷ 逆光補正ボタンを押す。

逆光補正表示が表示されます。
逆光補正ボタンをもう一度押すと解除されます。

暗闇で撮る－NIGHTSHOT（ナイトショット）/ SUPER NIGHTSHOT（スーパーナイトショット）/ COLOR SLOW SHUTTER（カラースローシャッター）

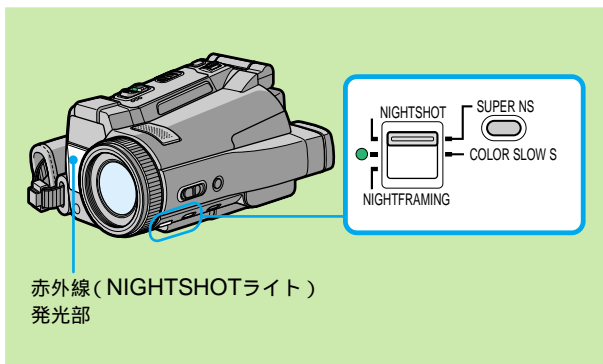
ご注意

- 昼間の屋外の明るいところではお使いにならないでください。故障の原因になります。
- NIGHTSHOTで撮影中の画像は、正しい色が表現されません。
- NIGHTSHOTで撮影中、フォーカスが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。
- NIGHTSHOTで撮影中は、指などで赤外線発光部をかくさないでください。
- NIGHTSHOTで撮影するとき、レンズフードがNIGHTSHOTライトの光をさえぎることがあります。NIGHTSHOT撮影をするときは、レンズフードを取りはずしてください。

NIGHTSHOT中は以下の操作ができません

– ホワイトバランス
– プログラムAE
– カメラ明るさ調節
– フレキシブルスポット測光
– ホログラフィックAF

NIGHTFRAMINGについては
102ページをご覧ください。

赤外線（NIGHTSHOTライト）発光部

NIGHTSHOT（ナイトショット）を使う

夜間に動植物を観察するときやキャンプなど、暗い場所で撮影できます。

❶ **電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」モードにする。**

❷ **NIGHTSHOT/NIGHTFRAMINGスイッチを「NIGHTSHOT」にする。**

◙と”NIGHTSHOT”表示が点滅します。

NIGHTSHOT/NIGHTFRAMINGスイッチを真ん中（緑の●の位置）にすると解除されます。

撮る

SUPER NIGHTSHOT時のシャッタースピードは
明るさによって自動的に変わります。このとき画像の動きは遅くなります。

SUPER NIGHTSHOT中は以下の機能が働きません
– 静止画記録
– フラッシュ撮影
– ホワイトバランス
– フェーダー
– デジタルエフェクト
– プログラムAE
– カメラ明るさ調節
– フレキシブルスポット測光
– メモリーミックスのオーバーラップ

電源スイッチを「メモリー」モードにすると
SUPER NIGHTSHOTは働きません。

NIGHTSHOTライトは
赤外線のため、目には見えません。ライトの届く範囲は約3mです。

SUPER NIGHTSHOT（スーパーナイトショット）を使う

SUPER NIGHTSHOTボタンを使うと、NIGHTSHOTの最大16倍の感度で被写体を明るく撮影できます。

❶ 電源スイッチを「カメラ」モードにする。

❷ NIGHTSHOT/NIGHTFRAMINGスイッチを「NIGHTSHOT」にする。

⊙と”NIGHTSHOT”表示が点滅します。

❸ SUPER NSボタンを押す。

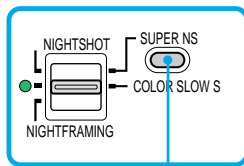
S⊙と”SUPER NIGHTSHOT”表示が点滅します。

SUPER NSボタンをもう一度押し、NIGHTSHOT/NIGHTFRAMINGスイッチを真ん中（緑の●の位置）にすると解除されます。

NIGHTSHOTライトを使う

NIGHTSHOTライトを使うと画像がよりはっきりします。メニューでの項目の「N.S.ライト」を「入」にします（138ページ）。
（お買い上げ時は「入」に設定されています。）

COLOR SLOW SHUTTER（カラースローシャッター）を使う

薄暗い場所でも被写体をカラーで撮影できます。

COLOR SLOW Sボタン

❶ 電源スイッチを「カメラ」モードにする。

❷ NIGHTSHOT/NIGHTFRAMINGスイッチを真ん中（緑の●の位置）にする。

❸ COLOR SLOW Sボタンを押す。

[表示]とCOLOR SLOW SHUTTER表示が点滅します。

COLOR SLOW Sボタンをもう一度押すと解除されます。

COLOR SLOW SHUTTER時のシャッタースピードは
明るさによって自動的に変わります。このとき画像の動きは遅くなります。

電源スイッチを「メモリー」モードにしたとき
COLOR SLOW SHUTTERは使えません。

COLOR SLOW SHUTTER中は以下の操作ができません
– 静止画記録
– フラッシュ撮影
– フェーダー
– デジタルエフェクト
– プログラムAE
– カメラ明るさ調節
– フレキシブルスポット測光
– メモリーミックスのオーバーラップ

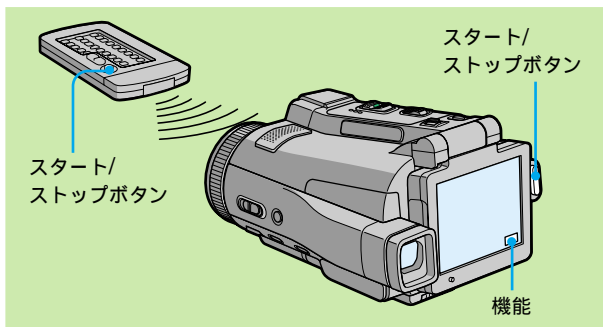
全く光の無い場所では
COLOR SLOW SHUTTERが正しく働かない場合があります。

撮る

セルフタイマー撮影

ご注意

以下の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー撮影を実行したあと
- 電源スイッチを「(充電) 切」または「ビデオ」モードにしたとき

セルフタイマーを使用すると、約10秒後に自動的に撮影が始まります。リモコンでも操作できます。

❶ **電源スイッチを「カメラ」モードにする。**

❷ **「機能」を押し、「ページ1」画面を出す（20ページ）。**

❸ **「セルフタイマー」を押す。**

セルフタイマー表示 が表示されます。

❹ **「閉じる」を押して、ページ1画面を消す。**

❺ **スタート/ストップボタンを押す。**

セルフタイマーの秒読みが始まります。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなります。ボタンを押してから約10秒後に、自動的に撮影が始まります。

秒読みを停止するには

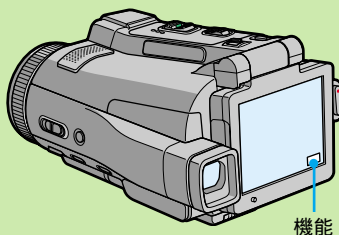
スタート/ストップボタンを押す。再開するにはもう一度押す。

セルフタイマー撮影を中止するには

撮影スタンバイ中にもう一度「セルフタイマー」を押し、セルフタイマー表示 を消す。

リモコンを使ってセルフタイマーを解除することはできません。

次の撮影開始点を探す – エンドサーチ

最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。

カセットを一度取り出しても
エンドサーチは働きます。

❶ 電源スイッチを「カメラ」モードにする。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。（20ページ）

❸ 「エンドサーチ」を押す。

最後に撮影した終わりの約5秒間が再生され、撮影スタンバイに戻ります。
スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できます。

機能画面に戻すには

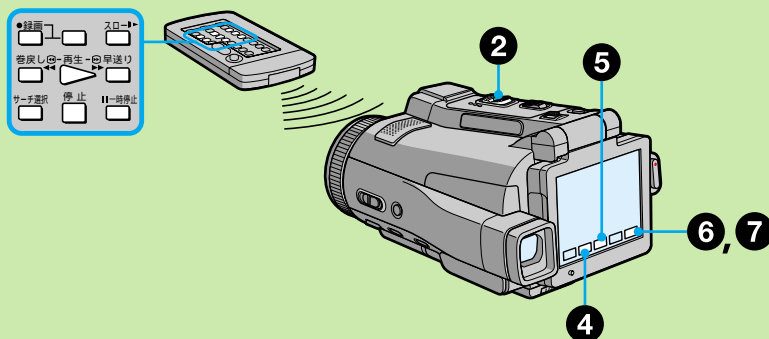
手順3の後で「閉じる」を押す。

サーチを止めるには

もう一度「エンドサーチ」を押す。

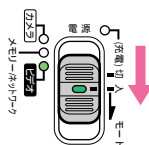
撮る

再生する

撮影したテープを液晶画面で見ます。液晶画面を閉じるとファインダーでも見られます。
リモコンでも操作できます。

長時間電源を入れたままにしておくと
本体があたたかくなりますが故障ではありません。

❶ **バッテリーなどの電源を準備し、再生したいカセットを入れる。**

❷ **電源スイッチを「ビデオ」モードにする。**

ビデオランプが点灯します。

❸ **液晶画面を開ける。**

❹ **◀◀ (巻戻しボタン) を押す。**

巻き戻しが始まります。

❺ **▶ II (再生/一時停止ボタン) を押す。**

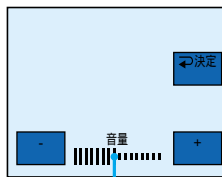
画像が映ります。

❻ 音量を調節する。

1「機能」を押し、ページ1画面を出す。

2「音量」を押す。

音量画面が表示されます。

3「–」/「+」を押して音量を調節する。

–：小さくするとき
+：大きくするとき

バー表示

❼「決定」を押す。

ページ1画面に戻ります。

機能画面に戻すには

手順7の後で「閉じる」を押す。

再生を止めるには

■（停止ボタン）またはリモコンの停止ボタンを押す。

見る

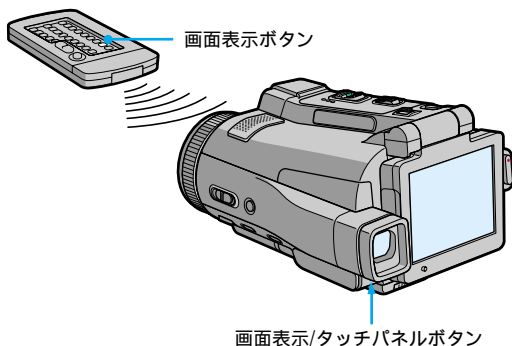
テープカウンター、日付データ/カメラデータなどの表示を出す－画面表示機能

カメラデータとは
撮影したときのビデオカメラの設定の情報です。撮影中は表示されません。

次のときは、「-- -- --」を表示します。
• 無記録部分
• テープの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
• 日付・時刻を設定しないで撮影したテープ

データコードは
本機をテレビにつなぐと、テレビ画面にも表示されます。

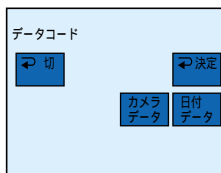
本機の画面表示/タッチパネルボタンまたはリモコンの画面表示ボタンを押す。

液晶画面の表示が消える。出すときはもう一度押す。

日付データ/カメラデータについて

本機は撮影時の日付・時刻およびカメラデータを自動的に画像とは別にテープに記録しています（データコード機能）。
データコードを表示させるには、タッチパネルまたはリモコンを使って以下の操作を行います。

タッチパネルで操作するには

① ［再生中］に「機能」を押し、「ページ3」を押してページ3画面を出す。

② 「データコード」を押す。

③ 「カメラデータ」または「日付データ」を選び、「決定」を押す。

④ 「閉じる」を押す。

再生中のバッテリー残量表示について

連続再生時間の目安を表示します。使用状況や環境によっては正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

リモコンで操作するには

［再生中］にリモコンのデータコードボタンを押す。

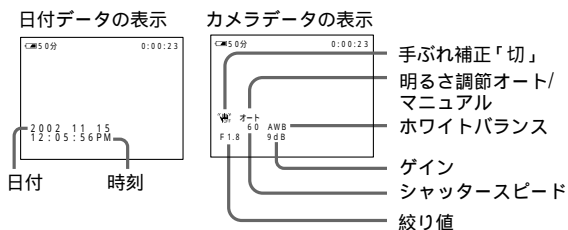
押すたびに次のように表示が変わります。

「日付データの表示」→「カメラデータの表示」→（表示なし）

カメラデータを表示させないようにするには

メニューでETCの項目の「データコード」で「日付データ」を選ぶ。（142ページ）

リモコンのデータコードボタンを押すたびに次のように表示が変わります。

「日付データの表示」↔（表示なし）

再生する（つづき）

画面上のビデオ操作ボタンについて

[▶ II]	再生/一時停止
[■]	停止
[◀◀]	巻戻し
[▶▶]	早送り

一時停止（静止画）について
5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、[▶ II]またはリモコンの再生ボタンを押します。

いろいろな再生

電源スイッチが「ビデオ」モードのときに操作します。

一時停止する（静止画を見る）

[再生中] に[▶ II]またはリモコンの一時停止ボタンを押す。
もう一度押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

[停止中] に[▶▶]またはリモコンの早送りボタンを押す。
[▶ II]またはリモコンの再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

[停止中] に[◀◀]またはリモコンの巻戻しボタンを押す。
[▶ II]またはリモコンの再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り/巻き戻しする（ピクチャーサーチ）

[再生中] に[▶▶]、[◀◀]またはリモコンの早送りボタン、巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り/巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）

[早送り中] に[▶▶]またはリモコンの早送りボタン、[巻き戻し中] に[◀◀]またはリモコンの巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る

[再生中] にリモコンのスローボタンを押す。
[▶ II]またはリモコンの一時停止ボタンを押して一時停止させ、もう一度[▶ II]またはリモコンの再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

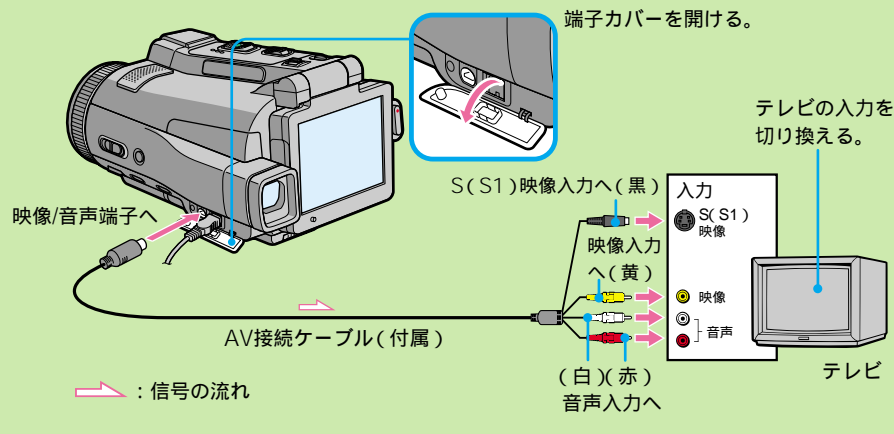
最後に撮影した部分を探す（エンドサーチ）

[停止中] に「エンドサーチ」（ページ2画面）を押す。
最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

テレビで見る

AV接続ケーブルでつなぐ

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。

電源はACパワーアダプターを使って、コンセントからとることをおすすめします（15ページ）。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

S映像端子を使うと
再生画像がより忠実に再現できます。テレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）のかわりにS映像プラグをテレビのS（S1）映像端子に接続することをおすすめします。
MICROMV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

テレビ画面にカウンターなどの表示を出すには
メニューで ETC の項目の「画面表示」を「ビデオ出力/パネル」にします（142ページ）。
消すときは画面表示/タッチパネルボタンを押します。

付属のAV接続ケーブルには映像端子とS映像端子が装備されています。お使いになる機器にあわせて、使用する端子のみを相手機につないでください。

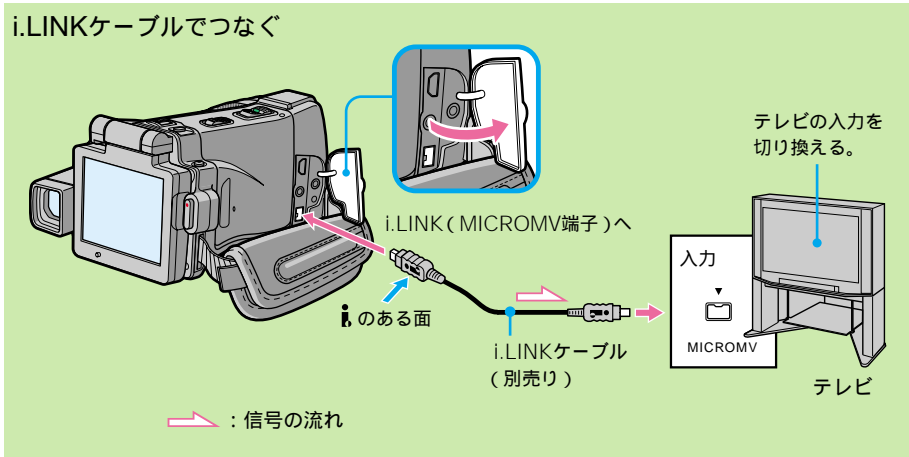
すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。

音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。

本機は、i.LINK（MICROMV端子）を装備しています。別売りのi.LINKケーブルを使って本機とi.LINK端子（MICROMV対応）を装備したテレビまたはチューナーを接続し、撮影した画像を見ることができます。

カメラモードで“メモリースティック”に静止画を撮る

電源スイッチを「カメラ」モードにして、［撮影スタンバイ中］または［テープ撮影中］に“メモリースティック”に静止画を撮影できます。

ご注意

- 静止画を撮影するときは、本機を振らないでください。画像が乱れることがあります。
- 以下の機能の設定中や操作中は、“メモリースティック”に静止画を撮ることができません。（表示が点滅します）
  – SUPER NIGHTSHOT
  – COLOR SLOW SHUTTER
  – エンドサーチ
  – ワイドTV
  – フェーダー
  – ピクチャーエフェクト
  – デジタルエフェクト
  – メモリーミックス

“メモリースティック”について
詳しくは85ページをご覧ください。

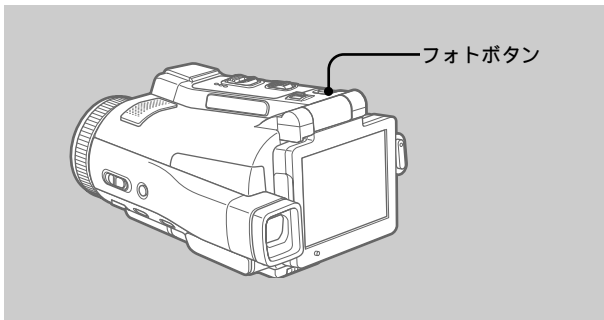
静止画の画像サイズは
「640×480」になります。違うサイズで静止画を撮影したいときは、「メモリーフォト撮影」を行ってください（96ページ）。

電源スイッチが「カメラ」モードのときは
画質を変更することができません。画質は前回設定したモードで撮影されます。（お買い上げ時は「スーパーファイン」に設定されています。）詳しくは89ページをご覧ください。

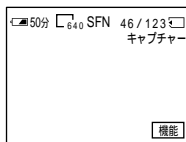
テープ撮影中に“メモリースティック”に静止画を撮影するときは
- フォトボタンを軽く押して画像を確認できません。
- “メモリースティック”への静止画記録中や、記録終了後も、テープ撮影は続きます。

リモコンのフォトボタンで撮影すると
押した瞬間に映っている画像が記録されます。

より高画質の撮影をするときは
「メモリーフォト撮影」をおすすめします。（96ページ）

タイトルは記録できません。

あらかじめ、“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「カメラ」モードにする。

❷ ［撮影スタンバイ中］に
フォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。

画像が静止画になり、「キャプチャー」が表示されます。
このとき記録はされません。画像を変更したいときは、フォトボタンを離し、もう一度フォトボタンを押す。

❸ フォトボタンを深く押す。

バーのスクロール表示が終わると、記録が完了します。

ボタンを深く押したときの画像が“メモリースティック”に記録されます。

使いこなす—撮影—

ご注意

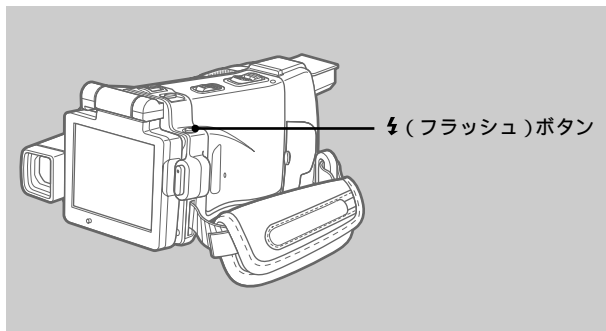
- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は0.3m〜2.5mです。
- レンズフード（付属）やコンバージョンレンズ（別売り）を付けていると、フラッシュの光をさえぎり、レンズの影が映る（ケラレが出る）ことがあります。
- ◉（AUTO赤目軽減）、◉ϟ（強制赤目軽減）では、個人差や被写体までの距離、予備発光を見ていないなどの条件により赤目の軽減効果が現れにくいことがあります。
- 明るい場面で強制発光を使うとフラッシュ効果が得られにくいことがあります。
- フラッシュを使って撮影すると、次の静止画が撮影できるまで、少し時間がかかります。これは、フラッシュ撮影に必要な充電をするためです。
- 充電中はフラッシュランプが点滅し、充電が完了するとランプは点灯します。
- 周囲が暗いときなどピントが合いにくいときは、「手動でピントを合わせる」のフォーカス距離情報（56ページ）をご使用ください。

電源をはずして5分以上たつと
お買い上げ時の設定「AUTO」に戻ります。

以下の操作中はフラッシュ撮影できません。
– テープ撮影中
– SUPER NIGHTSHOT
– COLOR SLOW SHUTTER
– エンドサーチ
– ワイドTV
– フェーダー
– ピクチャーエフェクト
– デジタルエフェクト
– メモリーミックス

以下の操作中は、「AUTO」または◉（AUTO赤目軽減）を選んでもフラッシュは発光しません。
– NIGHTSHOT
– プログラムAEの
　スポットライト
　サンセット＆ムーン
　フウケイ
– カメラ明るさ調節
– フレキシブルスポット測光

フラッシュを使って撮影する

フラッシュが自動で持ち上がり発光します。お買い上げ時は「AUTO」（表示なし）に設定されています。「AUTO」以外に設定するときは、ϟ（フラッシュ）ボタンを繰り返し押し、希望のフラッシュ表示を出します。

ボタンを押すたびに、以下のように表示が変わります。

→ ϟ → ⊘ →「AUTO」（表示なし）

メニューで[M]の項目の「赤目軽減」を「入」にしたとき（137ページ）、以下のように表示が変わります。

→ ◉ → ◉ϟ → ⊘

ϟ 強制発光	：周囲の明るさに関係なく発光します。
◉ AUTO赤目軽減	：撮影前に予備発光し、目が赤く映ることを抑制します。
◉ϟ 強制赤目軽減	：周囲の明るさに関係なく撮影前に予備発光し、目が赤く映ることを抑制します。
⊘ 発光禁止	：発光しません。

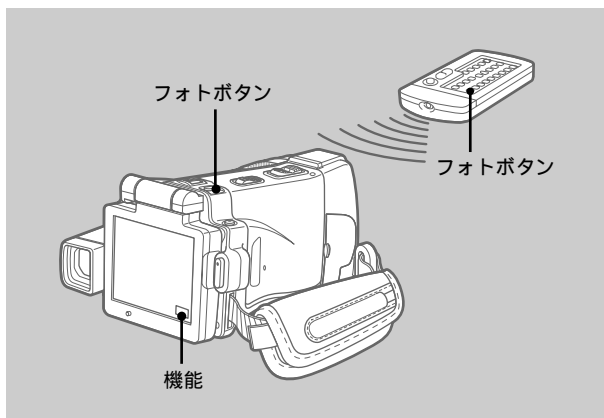
発光量は適切な明るさに調整されていますが、メニューの「フラッシュレベル」で変えることができます（137ページ）。お好みの明るさに設定するには試し撮りをしてご確認ください。

ご注意

以下の場合セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー撮影を実行したあと
- 電源スイッチを「(充電)切」または「ビデオ」モードにしたとき

テープに撮影中は
セルフタイマー撮影はできません。

セルフタイマー撮影

セルフタイマーを使用して、" メモリースティック "に静止画を記録できます。リモコンも使えます。

あらかじめ" メモリースティック "を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「カメラ」モードにする。

❷ 「機能」を押し、「ページ1」画面を出す。

❸ 「セルフタイマー」を押す。

セルフタイマー表示⏲が出ます。

❹ 「閉じる」を押して、ページ1画面を消す。

❺ フォトボタンを深く押す。

セルフタイマーの秒読みが始まります。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなります。ボタンを押してから約10秒後に、自動的に撮影されます。

セルフタイマー撮影を中止するには

撮影スタンバイ中にもう一度「セルフタイマー」を押し、セルフタイマー表示⏲を消す。

リモコンを使ってセルフタイマーを解除することはできません。

自然な色あいに調節する – ホワイトバランス

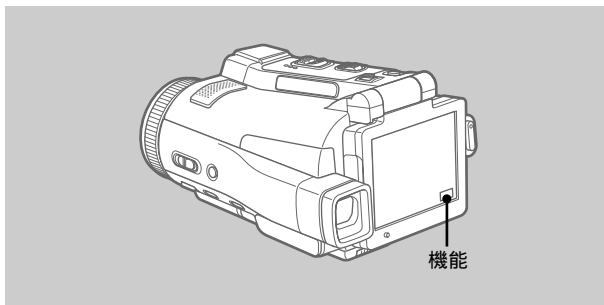
明るさや撮影する状況に合わせて、自然な色あいの画像になるように調節できます。通常は、自動的に色あいの調節が行われています。

- パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
- 夜景やネオンサインなどを屋外で撮るとき

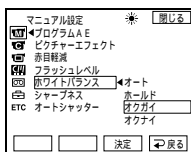
スタジオ照明やビデオライトで撮影する場合は
「オクナイ」に設定して撮影することをおすすめします。

蛍光灯照明下で撮影する場合は
ホワイトバランスを自動調節にするか、「ホールド」に設定して撮影することをおすすめします。「オクナイ」に設定して撮影すると、ホワイトバランスが正しく調整されない場合があります。

ホワイトバランスを「オート」にしたままで
次のように撮影条件を変えたときは、電源スイッチを「カメラ」モードにしてから10秒間くらい白っぽい被写体に向けると、よりよい色あいに調節されます。
- バッテリーを交換したとき
- 画像の明るさを固定させたまま屋外と屋内を行き来したとき

ホワイトバランスを「ホールド」にしたままで
次のように撮影条件を変えたときは、ホワイトバランスを一度「オート」にしてしばらくしてから「ホールド」に戻してください。
- プログラムAEの効果を変えたとき
- 屋外と屋内を行き来したとき

❶ 電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」モードにする。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ メニューでの項目の「ホワイトバランス」を選び、希望の効果を選ぶ。（137ページ）

ホールド（HOLD）
単一色の被写体や背景を撮るとき

オクガイ（ ）
- 夜景やネオン、花火などを撮るとき
- 日の出、日没などを撮るとき
- 昼光色蛍光灯の下で撮るとき

オクナイ（ ）
- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下で撮るとき
- ナトリウムランプや水銀灯の下で撮るとき

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

自動調節に戻すには

メニューの「ホワイトバランス」で「オート」を選ぶ。

横長の画面にする – ワイドTVモード

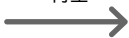
ワイドテレビでご覧になるときに、画面いっぱいに映るように撮影できます。ID-1/ID-2対応TVに接続した場合は自動的にテレビのワイドモードが切り換わります。

接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき

ワイドTVモードで撮影

液晶画面/ファインダー

通常のテレビで再生

ワイドテレビで再生

画像が縦長になります。

テレビをフルモードに切り換える

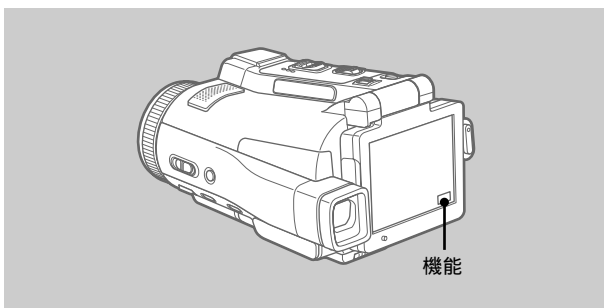
ワイドTVモード中は
以下の操作はできません。
– 静止画記録
– バウンド
– オールドムービー

録画中は
ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。
ワイドTVモードを解除するときは、必ず［撮影スタンバイ］にしてから、メニューの「ワイドTV」を「切」にしてください。

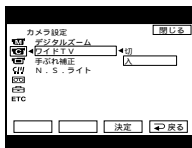
テレビの接続について
下記の接続のとき、ワイドTVモードで記録した画像を再生すると、画像は自動的にフルモードに切り換わります。
- ビデオIDシステム(ID-1/ID-2)方式対応のテレビと接続したとき
- テレビのS(S1)映像入力端子に接続したとき

ID-1方式とは
ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画面の縦横比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を通信するシステムです。

ID-2方式とは
ID-1方式に加え著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステムです。

S1映像信号とは
通常のS映像信号にワイドモード自動選択用の信号が加算されています。

❶ 電源スイッチを「カメラ」モードにする。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ メニューで の項目の「ワイドTV」を「入」にする。（137ページ）

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

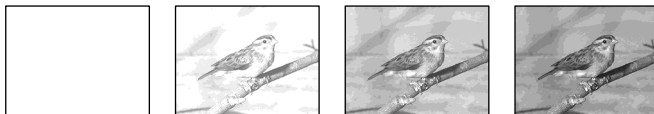
ワイドTVモードを解除するには

メニューで「ワイドTV」の「切」を選ぶ。

効果的な場面転換をする – フェーダー

余韻を残して場面を変えたり徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、逆に徐々に消したり（フェードアウト）して効果的な場面転換を演出できます。

フェードイン

フェーダー

モザイクフェーダー

バウンド 1) 2)

フェードアウト

モノトーンフェーダー　フェードインは白黒からカラーに、
フェードアウトはカラーから白黒になります。

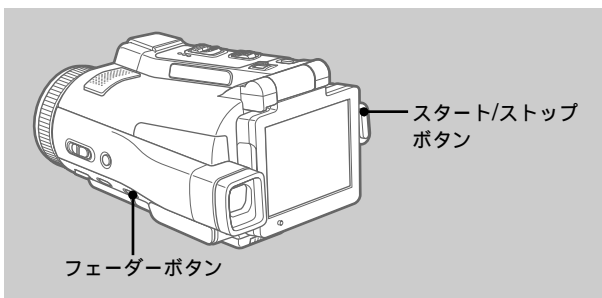
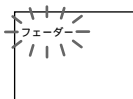
1）メニューでデジタルズームが「切」になっているときのみ使えます。
2）フェードインのみ

ご注意

フェード中には以下の操作ができません。また以下の操作中にはフェードイン・フェードアウトはできません。
– SUPER NIGHTSHOT
– COLOR SLOW SHUTTER
– 静止画記録
– デジタルエフェクト
– メモリーミックスのオーバーラップ

バウンド動作中には以下の操作ができません
– ズーム
– ピクチャーエフェクト
– プログラムAE
– カメラ明るさ調節
– フレキシブルスポット測光
– フォーカス

以下の操作中にはバウンドが選択できません
– メニューでデジタルズームの「20×」または「120×」を選択しているとき
– ワイドTVモード
– ピクチャーエフェクト
– プログラムAE

電源スイッチを「メモリー」モードにしたときは
フェードイン・フェードアウトはできません。

❶ • フェードインは［撮影スタンバイ中］に
• フェードアウトは［撮影中］に
フェーダーボタンを押して希望の項目を選ぶ。

表示は前回使った項目から表示されます。

❷ **スタート/ストップボタンを押す。**
フェーダー表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消えます。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除されます。

フェードイン・フェードアウトを解除するには
スタート/ストップボタンを押す前に、フェーダーボタンを繰り返し押して、フェーダー表示を消す。

画像に特殊効果を加える – ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画の
ような特殊効果を加えられます。

ネガアート
→写真のネガフィルムのように

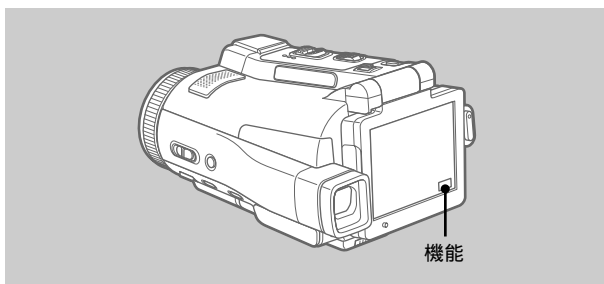
ソラリ
→明暗をはっきりさせたイラストのように

パステル
→淡い色のパステル画のように

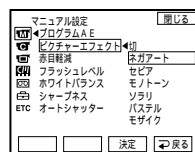
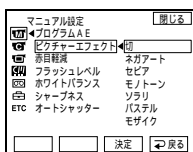
モザイク
→タイルを組み合わせたように

セピア→古い写真のような色合いに　**モノトーン**→白黒に

ピクチャーエフェクト中は以下の操作はできません
– 静止画記録
– バウンド
– オールドムービー

電源スイッチを切り換えると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

❶ **電源スイッチを「カメラ」モードにする。**

❷ **「機能」を押し、ページ1画面を出す。**

❸ **メニューでⓂの項目の「ピクチャーエフェクト」を選び、希望の効果を選ぶ（137ページ）。**

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

ピクチャーエフェクトを解除するには

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選ぶ。

特殊な演出を加えて撮る – デジタルエフェクト

デジタル機能を使って撮影画像にさまざまな演出を加えることができます。音声はそのまま録音されます。

スチル
あらかじめ取り込んだ静止画に、動画を重ねて撮影する。

フラッシュ（フラッシュモーション）
コマ送り撮影をする。

ルミキー（ルミナンスキー）
あらかじめ取り込んだ静止画の明るい部分に、動画をはめ込む。

トレイル
被写体の動きが、尾を引くように撮影する。

スローシャッター
シャッタースピードを落とす。暗いところで撮影しやすい。

オールドムービー
画面を横長、画像をセピア、シャッタースピードを遅くして、昔の映画のように撮影する。

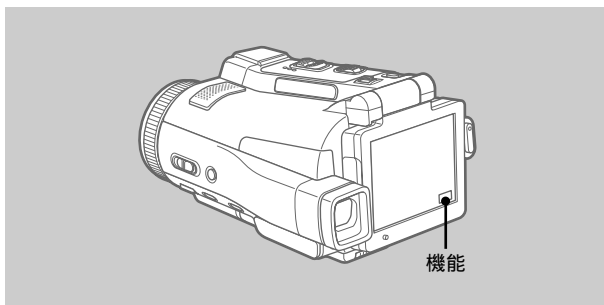
（スチル）

（ルミキー）

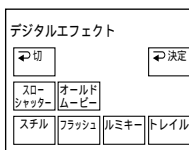
使いこなす－撮影－

ご注意

- デジタルエフェクト操作中は以下の操作ができません。
  – SUPER NIGHTSHOT
  – COLOR SLOW SHUTTER
  – 静止画記録
  – フェーダー
- スローシャッターを選ぶとプログラムAEは使えません。
- オールドムービーを選ぶと以下の操作ができません。
  – ワイドTVモード
  – ピクチャーエフェクト
  – プログラムAE

電源スイッチを切り換えると
デジタルエフェクトは自動的に解除されます。

❶ 電源スイッチを「カメラ」モードにする。

❷ 「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。

❸ 「デジタルエフェクト」を押す。

デジタルエフェクト画面が表示されます。

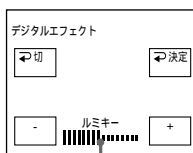
スローシャッターでは
自動でピントが合いにくくなることがあります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせてください。

スローシャッターのシャッタースピードは

表示	シャッタースピード
スローシャッター1	1/30
スローシャッター2	1/15
スローシャッター3	1/8
スローシャッター4	1/4

❹ 希望の効果を選ぶ。

スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶されます。

❺ 「－」/「＋」を押し、調節する。

－：効果を小さくするとき
＋：効果を大きくするとき

バー表示：スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイルのときに表示されます。

調節する内容は以下の通りです。

スチル	撮影中の動画の背景にある静止画の写り具合。
フラッシュ	コマ送りの間隔。
ルミキー	静止画の、動画を取り込む部分の明るさの度合い。
トレイル	残像が残る時間。
スローシャッター	シャッタースピード。 数字を大きくするほど遅くなる。
オールドムービー	調節は必要ない。

❻ 「決定」を押す。

ページ2画面に戻ります。

機能画面に戻すには

手順6の後で「閉じる」を押す。

デジタルエフェクトを解除するには

手順3の画面で「切」を押す。

ページ2画面に戻ります。

撮影状況に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

スポットライト
結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

ソフトポートレート
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。

スポーツレッスン
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のぶれを少なくします。

ビーチ&スキー
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

サンセット&ムーン
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに撮影できます。

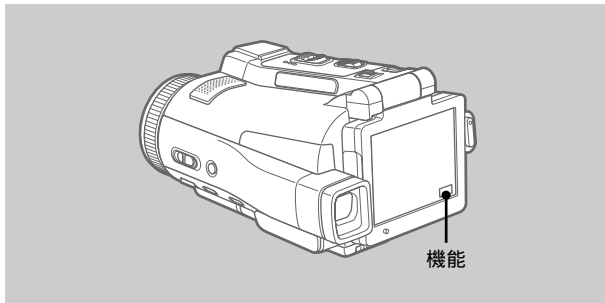
フウケイ
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

ご注意

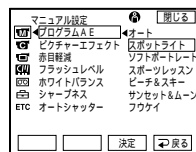
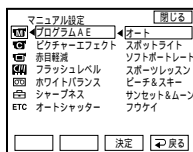
- 以下の場合、近くの被写体にピントが合わないようにフォーカスを制御します。
  – スポットライト
  – スポーツレッスン
  – ビーチ＆スキー
- 以下の場合、遠景のみにピントが合うようにフォーカスを制御します。
  – サンセット＆ムーン
  – フウケイ
- プログラムAE中は以下の操作ができません。
  – COLOR SLOW SHUTTER
  – バウンド
  – スローシャッター
  – オールドムービー
- 以下の場合、プログラムAEは使えません。（表示が点滅します）
  – NIGHTSHOT
  – NIGHTFRAMING
  –"メモリースティック"にメモリーミックスする。
- 電源スイッチを「メモリー」モードにしたとき、スポーツレッスンの操作ができません。（表示が点滅します。）

ホワイトバランスを「オート」にしているときは
プログラムAEを使うときも自動的にホワイトバランスが調節されます。

プログラムAEで撮影中でも以下の操作ができます。
– カメラ明るさ調節
– フレキシブルスポット測光

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると
以下の場合、画面が明るくなったりする現象（フリッカー）が起こったり、色が変化することがあります。このような場合にはプログラムAEを解除してください。
– ソフトポートレート
– スポーツレッスン

❶ 電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」モードにする。

❷「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ メニューで[M]の項目の「プログラムAE」を選び、希望の効果を選ぶ（137ページ）。

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

プログラムAEを解除するには

メニューの「プログラムAE」で「オート」を選ぶ。

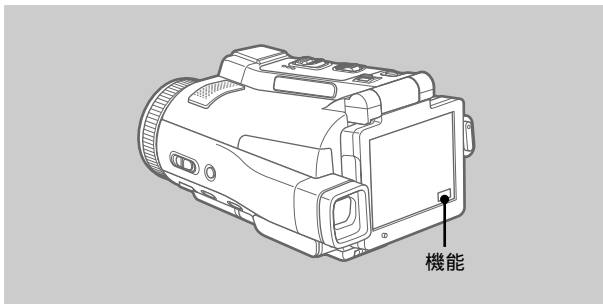
手動で画像の明るさを調節する

画像をお好みの明るさに調節し、固定できます。通常は、自動的に明るさの調節が行われています。

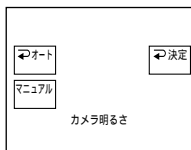
- 明るさの調節を細かく行いたいとき
- 背景に比べて、被写体が明るすぎるとき
- 夜景を撮りたいとき

ご注意

「カメラ明るさ」調節中は以下の操作ができません。
– 逆光補正
– COLOR SLOW SHUTTER

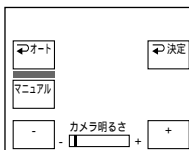
以下の操作をすると、カメラ明るさ調節は「オート」（自動）に戻ります。
- NIGHTSHOT
- プログラムAEの効果を変える。
- NIGHTFRAMING

❶ 電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」モードにする。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ 「カメラ明るさ」を押す。

カメラ明るさ画面が表示されます。

❹ 「マニュアル」を押す。

次のページへつづく

❺ 「－」/「＋」を押し、明るさを調節する。

－：暗くするとき
＋：明るくするとき

❻ 「決定」を押す。

ページ1画面に戻ります。

機能画面に戻すには

手順6の後で「閉じる」を押す。

自動調節に戻すには

手順5の画面で「オート」を押す。

ページ1画面に戻ります。

撮りたいポイントの明るさを最適にする
– フレキシブルスポット測光

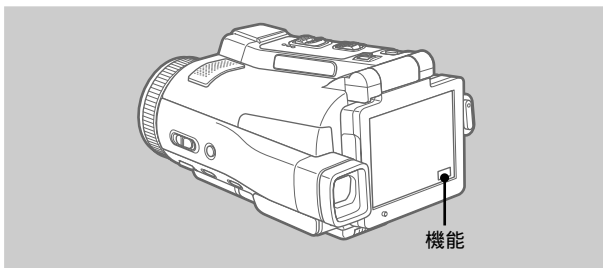
撮りたいポイントを基準にして自動的に画像の明るさを調節し、固定できます。

- 逆光のとき
- スポットライトで照明されたステージなど、被写体と背景のコントラストが強いとき

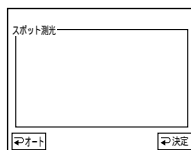
ご注意

フレキシブルスポット測光中は以下の操作ができません。
– 逆光補正
– COLOR SLOW SHUTTER

以下の場合、フレキシブルスポット測光は「オート」（自動）に戻ります。

- NIGHTSHOT
- プログラムAEの効果を変える。
- NIGHTFRAMING

❶ 電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」モードにする。

❷「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸「スポット測光」を押す。

スポット測光画面が表示されます。

❹ 画面上の枠内の撮りたいポイントを押す。

スポット測光の表示が点滅し、押したポイントの明るさが調節されます。

❺「⮐決定」を押す。

ページ1画面に戻ります。

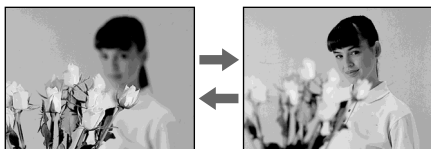
機能画面に戻すには

手順5の後で「閉じる」を押す。

自動調節に戻すには

手順3の画面で「⮐オート」を押す。
ページ1画面に戻ります。

手動でピントを合わせる

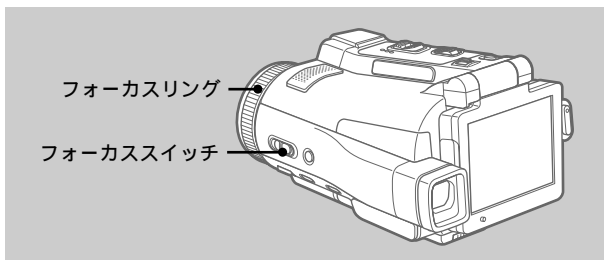
撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。通常は自動的にピントの調節が行われています。
「メモリー」モード時は、画像を2倍に拡大して手動でピントを合わせることができます。

- 自動ではピントが合いにくいとき
  – 被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
  – 被写体が横縞だけのもののとき
  – 被写体と背景とのコントラストが弱いとき
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき
- 三脚を使い、静止した被写体のピントを固定して撮るとき

正確にピントを合わせるには
ズームをT側（望遠）でピントを合わせたあと、なるべくW側（広角）で撮るようにズームを調節するとピントが合いやすくなります。

近づいて大きく撮るとき
ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

手動でピント合わせをするとき、が次のようなマークに変わります。
- 無限遠にあるとき
- それ以上近くにピント合わせできないとき

以下の場合、フォーカス距離情報（ピントが合う距離）を3秒間表示します。
- 自動調節から手動調節に切り換えたとき
- フォーカスリングを回したとき

フォーカス距離情報は
- 暗くてピントが合わせにくいときに使用すると便利です。目安としてご使用してください。
- 別売りのコンバージョンレンズをつけていると正しく表示されません。

❶ 電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」モードにする。

❷ フォーカススイッチを「手動」にする。
手動ピント合わせ表示が表示されます。

❸ フォーカスリングを回し、ピントの合う位置を調節する。

自動調節に戻すには

フォーカススイッチを「自動」にする。

拡大フォーカス表示

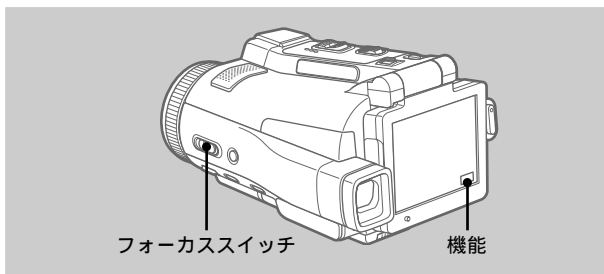
「メモリー」モード時、メニューでの項目の「拡大フォーカス表示」を「入」にしていると（137ページ）、が表示され画像が2倍に拡大されます。フォーカス距離情報も表示されます。調節が終わると元に戻ります。

撮りたいポイントにピントを合わせる
– スポットフォーカス

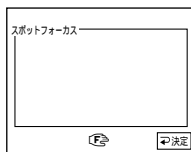
撮りたいポイントを基準にして自動的にピントを調節し、固定することができます。

ご注意

スポットフォーカス調節中は以下の操作ができません。
– 逆光補正
– フェーダー

フォーカス距離情報は
表示されません。

❶ **電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」モードにする。**

❷ **フォーカススイッチを「手動」にする。**

❸ **「機能」を押し、ページ1画面を出す。**

❹ **「スポットフォーカス」を押す。**

スポットフォーカス画面が表示されます。

❺ **画面上の枠内の撮りたいポイントを押す。**

スポットフォーカスの表示が点滅し、押したポイントのピントが調節されると、点滅から点灯に変わります。

❻ **「⮐ 決定」を押す。**

ページ1画面に戻ります。

機能画面に戻すには
手順6の後で「閉じる」を押す。

自動調節に戻すには
フォーカススイッチを「自動」にする。

画像にピクチャーエフェクトを加えて見る

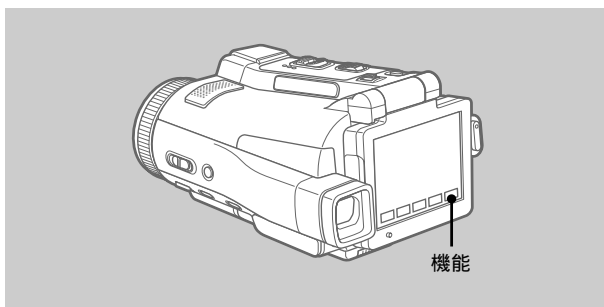
再生しているテープの画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることができます。

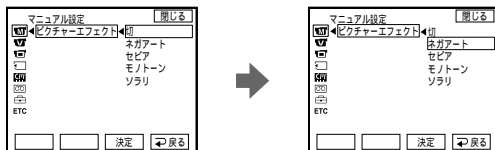
再生中は、ピクチャーエフェクトのうち、ネガアート、セピア、モノトーン、ソラリが使えます。

ご注意

- 外部入力している画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることはできません。
- ピクチャーエフェクトを加えた画像は本機のテープに録画できません。
  “メモリースティック”に取り込むか（104、113ページ）、本機を再生機として他のビデオへ録画してください。

ピクチャーエフェクトを加えた画像は
i.LINK（MICROMV端子)からは出力されません。

電源スイッチを切り換える、または再生を停止すると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

❶ 電源スイッチを「ビデオ」モードにして、［再生中］または［再生一時停止中］に**「機能」を押して、ページ1画面を出す。**

❷ **メニューで**[M]**の項目の「ピクチャーエフェクト」を選び、希望の効果を選ぶ（**137**ページ）。**

各ピクチャーエフェクトについては、48ページをご覧ください。

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

ピクチャーエフェクトを解除するには

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選ぶ。

画像にデジタルエフェクトを加えて見る

再生しているテープの画像にデジタルエフェクトを加えて見ることができます。

再生中は、デジタルエフェクトのうち、スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイルが使えます。

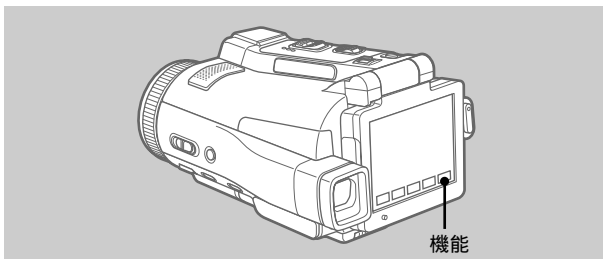
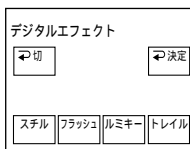
ご注意

- 外部入力している画像にデジタルエフェクトを加えて見ることはできません。
- デジタルエフェクトを加えた画像は本機のテープに録画できません。
  “メモリースティック”に取り込むか（104、113ページ）、本機を再生機として他のビデオへ録画してください。

デジタルエフェクトを加えた画像は

i.LINK（MICROMV端子）からは出力されません。

電源スイッチを切り換える、または再生を停止すると

デジタルエフェクトは自動的に解除されます。

❶ 電源スイッチを「ビデオ」モードにして、［再生中］または［再生一時停止中］に
「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。

❷ **「デジタルエフェクト」を押す。**

デジタルエフェクト画面が表示されます。

❸ **希望の効果を選ぶ。**

スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶されます。

❹ **「−」/「＋」を押し、調節する。**

各デジタルエフェクトについては、49ページをご覧ください。

❺ **「⮐決定」を押す。**

ページ2画面に戻ります。

機能画面に戻すには

手順5の後で「閉じる」を押す。

デジタルエフェクトを解除するには

手順2の画面で「⮐切」を押す。
ページ2画面に戻ります。

撮影した画像を拡大する – テープ再生ズーム

テープに記録した画像を拡大できます。

“ メモリースティック ”に記録した静止画も拡大できます（122ページ）。

ご注意

- 外部入力している画像に再生ズームを加えて見ることはできません。
- 再生ズームを加えた画像は本機のテープに録画できません。
  “ メモリースティック ”に取り込むか（104ページ）、本機を再生機とし他のビデオへ録画してください。
- 再生ズームを加えた画像は本機の“ メモリースティック ”に動画として取り込むことはできません。

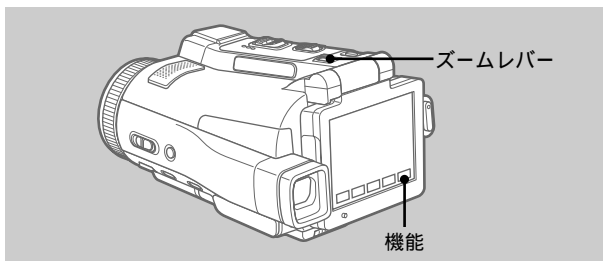
再生ズーム中に以下の操作をすると再生ズームは自動的に解除されます

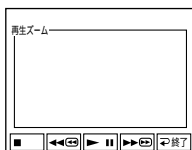
– 電源スイッチを切り換える。
– 再生を停止する。
–“ メモリースティック ”を入れる。

再生ズームを加えた画像は
i.LINK（MICROMV端子）、またはψ（USB）端子からは出力されません。

再生ズーム中に
画面表示/タッチパネルボタンを押すと表示枠が消えます。このとき押した部分を画面の中心に移動することはできません。

画像の周辺部分は
拡大することはできますが、画面の中心には移動しません。

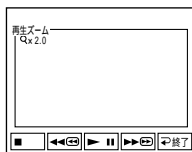
フォーカススイッチが「ズーム」になっていると
ズームリングでも倍率を変えることができます。

❶ 電源スイッチを「ビデオ」モードにして、［再生中］または［再生一時停止中］に
「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。

❷ **「再生ズーム」を押す。**

再生ズーム画面が表示されます。

❸ **画面上の枠内の拡大したい部分を押す。**

押した部分を中心に2倍に拡大された画像が再生されます。さらに枠内の別の場所を押すと、押した部分を画面の中心に移動できます。

❹ **ズームレバーで倍率を変える。**

ズームは約1.1倍から5倍までの間で選べます。

W：倍率を低くするとき
T ：倍率を高くするとき

再生ズームを解除するには

「⮐終了」を押す。

見たい場面を探す – マルチ画面サーチ

マルチ画面サーチ機能を使うと、テープに記録されている画像のサムネイルをまとめてインデックス画面に表示することができます。撮影した日時やタイトルを表示することもできます。

サムネイルとは、録画された最初の画像を頭出しのために静止画にしたものです。
サムネイルを選んで決定すると、自動的にその画面が頭出しされ、再生が始まります。
リモコンでも操作できます。

テープの始めや途中に無記録部分があると
サーチが正しく働かないことがあります。

1つのカセットのカセットメモリーに入るサムネイルは
約400です。

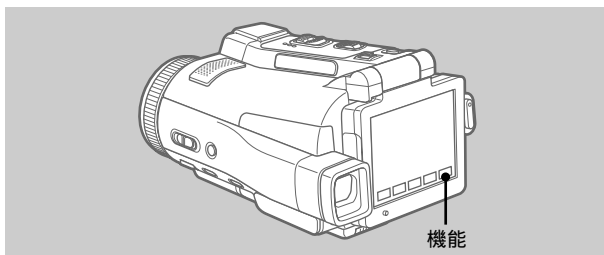
1回に表示できるサムネイルの数は
11までです。

リモコンのマルチ画面サーチボタンを押すと
マルチ画面サーチ画面が出ます。

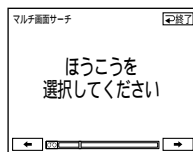
マルチ画面サーチ中は
本機の他の機能は操作できません。

サムネイル画像は
後から変更することはできません。

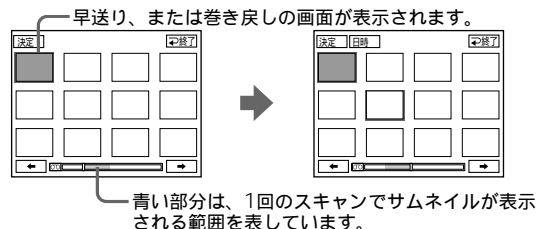
マルチ画面サーチ中は
以下の機能が解除されます。
– ピクチャーエフェクト
– デジタルエフェクト

以下の場合、サムネイルが11枚表示されないことがあります
- 1回のスキャンでサムネイルが表示される範囲内の録画回数が11回に満たないとき
- 途中から上書きされたテープをスキャンしたとき
- マイクロカセットメモリーのデータをすべて消去したとき（84ページ）

❶ 電源スイッチを「ビデオ」モードにする。

❷「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸「マルチ画面サーチ」を押す。

マルチ画面サーチ画面が表示されます。

❹「⬅」または「➡」を押してサーチする方向を選ぶ。

選んだ方向にテープのスキャンが始まり、「➡」方向では左上から、「⬅」方向では右下からサムネイルが表示されます。

スキャンが完了すると、左上画面が黒くなり、自動的に停止します。

次のページへつづく

ご注意

- テープの状態によっては、サムネイルが表示されない場合がありますが、故障ではありません。
- サムネイル画像にノイズが出ることがありますが、記録済みの画像には影響はありません。

リモコンの「↓」/「↑」/「←」/「→」を押しても
サムネイルを選ぶことができます。

「日時」または「テープ位置」を押すと
タイトルまたは日付、時刻表示かテープ位置表示かを切り換えることができます。サーチ中は「日時」を選んでいてもテープ位置表示になります。

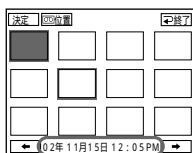
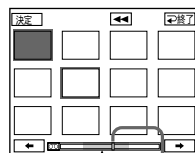
スキャンの途中で「⬅」または「➡」を選んで決定すると
次の11枚をスキャンすることができます。

スキャン完了前で、最初の画像が表示されていなくても
サムネイル場面の頭出し再生ができます。

❺ 頭出ししたいサムネイルを選び、「決定」または選んだサムネイルをもう一度押す。

頭出しが始まり、選んだサムネイルの場面で自動的に再生が始まります。

他のサムネイルに変更したいときは

「戻る」を押して、もう一度頭出ししたいサムネイルを選んで「決定」を押す。

バーに表示される青い部分は、スキャンする範囲を表しています。白い部分は、記録済みの範囲を表しています。

再生画面からマルチ画面サーチに戻るには

「戻る」または、リモコンの決定ボタンを押す。

サーチを止めるには

リモコンの停止ボタンを押す。

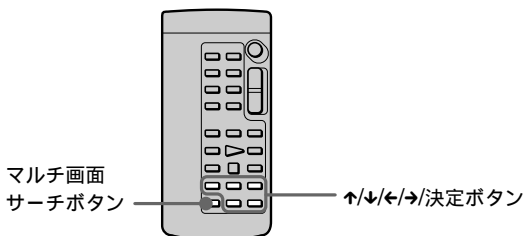
マルチ画面サーチを終了するには

「終了」を押す。ページ1画面に戻ります。リモコンのマルチ画面サーチボタンを押すと、機能画面に戻ります。

再生画面からマルチ画面サーチを終了するには

「閉じる」を押す。

リモコンで操作するには

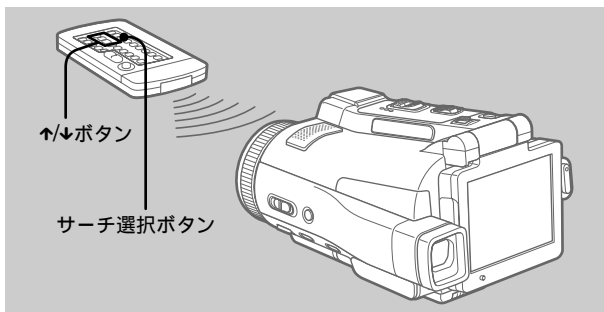
マルチ画面サーチボタンと↑/↓/←/→決定ボタンを使う。

タイトル場面を頭出しする – タイトルサーチ

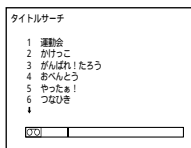
頭出ししたいタイトルを選ぶと、タイトルを入れた場面を探せます。

リモコンも使います。

タイトルを入れた場面を探したいとき

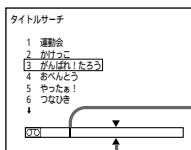
テープの始めや途中に無記録部分があると
タイトルサーチが正しく働かないことがあります。

タイトルを入れるには
72ページをご覧ください。

❶ **電源スイッチを「ビデオ」モードにする。**

❷ **リモコンのサーチ選択ボタンを押し、「タイトルサーチ」を選ぶ。**

タイトルサーチ画面が表示されます。
次の順で変わります。

→タイトルサーチ→日付サーチ→（表示なし）

❸ **リモコンの↑または↓ボタンを押してタイトルを選び、「決定」を押す。**

頭出しが始まり、選んだタイトルの場面で自動的に再生が始まります。

「決定」を押さなくてもタイトルを選んだ2秒後に自動的に頭出しが始まります。

サーチを止めるには

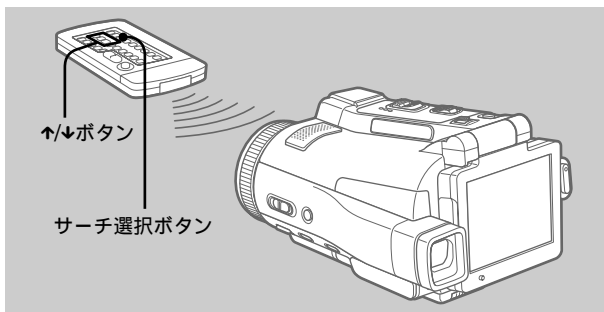
リモコンの停止ボタンを押す。

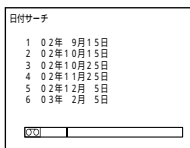
撮影日で頭出しする – 日付サーチ

頭出ししたい撮影日を選ぶと、撮影した日付の変わり目を頭出しできます。
リモコンも使います。

撮影日の変わり目を確認したり、撮影日ごとに編集するとき

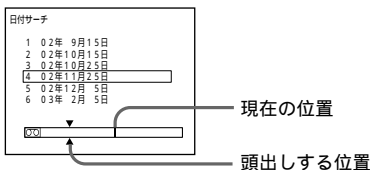
テープの始めや途中に無記録部分があると
日付サーチが正しく働かないことがあります。

1つのカセットのカセットメモリーに入る日付データは
20までです。

❶ 電源スイッチを「ビデオ」モードにする。

❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押し、「日付サーチ」を選ぶ。

日付サーチ画面が表示されます。
次の順で変わります。

→タイトルサーチ→日付サーチ→（表示なし）

❸ リモコンの↑または↓ボタンを押して日付を選び、「決定」を押す。

頭出しが始まり、選んだ日付の場面で自動的に再生が始まります。

「決定」を押さなくても日付を選んだ2秒後に自動的に頭出しが始まります。

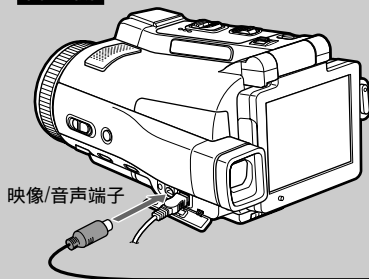
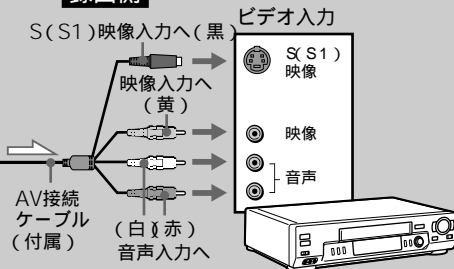
サーチを止めるには

リモコンの停止ボタンを押す。

他のビデオへダビングする

AV接続ケーブルでつなぐ

本機を再生機として使い、接続したビデオで録画、編集できます。

AV接続ケーブルには映像プラグとS映像プラグが装備されています。お使いになる機器にあわせて、使用するプラグのみを相手機につないでください。

録画機は以下のどの方式のビデオでも使えます。

8, Hi8, VHS, VHS C, S VHS, S VHS C, β, ED Beta, Mini DV, DV, D, MICROMV

録画機の音声入力がひとつ（モノラル）の場合

AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

S映像端子を使うと

録画画像をより忠実に再現できます。ビデオにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）のかわりにS映像プラグをビデオのS（S1）映像端子に接続することをおすすめします。

MICROMV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

- メニューで ETC の項目「画面表示」を「パネル」にしてください。（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）
- 本機の画面表示/タッチパネルボタン、リモコンの画面表示ボタン、データコードボタン、サーチ選択ボタン、マルチ画面サーチボタンを押して画面表示を消してください。消さないでダビングするとテープに記録されます。

❶ カセットを準備する。

本機　：撮影済みのカセットを入れる。

録画機：録画用カセットを入れる。

❷ 録画機の準備をする。

ビデオ入力端子にAV接続ケーブルをつなぐ。

入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にする。
詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

❸ 本機の電源スイッチを「ビデオ」モードにする。

❹ 本機で再生する。

❺ 録画機で録画を始める。

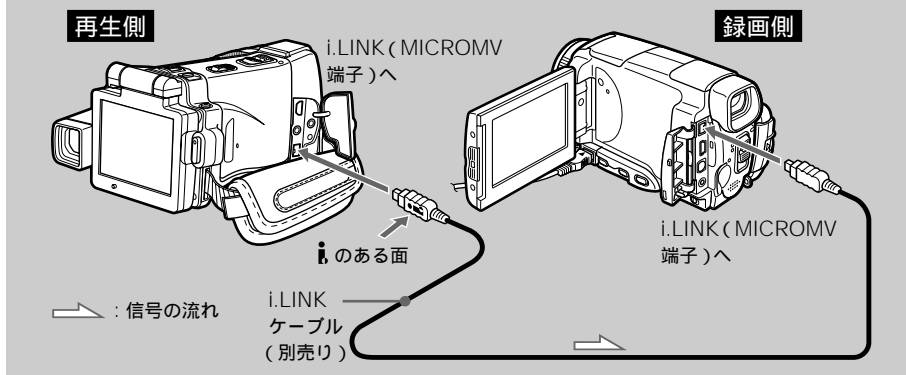
詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら

録画機の録画を停止し、本機での再生を停止する。

i.LINKケーブルでつなぐ

本機とMICROMV方式対応のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル（別売り）でつなぎ、ダビング編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。（本機と他のDV機器とを接続することはできません。）
タイトル、画面表示、マイクロカセットメモリーの内容、“ メモリースティック ”のインデックス画面の文字はダビングできません。

i.LINKケーブルで本機と接続できるのは1台だけです。
i.LINKについて詳しくは156ページをご覧ください。

「ピクチャーエフェクト」「デジタルエフェクト」「再生ズーム」を加えた画像は
i.LINK（MICROMV端子）からは出力されません。

デジタルダビング編集中は以下の操作はできません。
– ピクチャーエフェクト
– デジタルエフェクト
– 再生ズーム

再生一時停止にしている画像は
- i.LINK（MICROMV端子）を使ってダビングすると粗い画像になります。
- 他機で再生したとき画像がぶれることがあります。また、画像に時間的なずれが生じることがあります。

❶ カセットを準備する。

本機　：撮影済みのカセットを入れる。
録画機：録画用カセットを入れる。

❷ 録画機の準備をする。

❸ 本機の電源スイッチを「ビデオ」モードにする。

❹ 本機で再生する。

❺ 録画機で録画を始める。

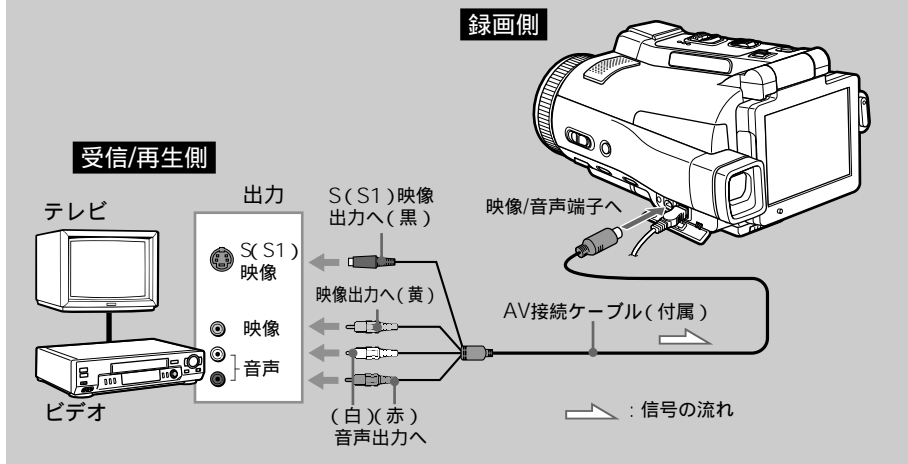
詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら

録画機の録画を停止し、本機での再生を停止する。

ビデオやテレビから録画する

AV接続ケーブルでつなぐ

本機を録画機として使い、再生側のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。

ビデオやテレビの音声出力端子がひとつ(モノラル)の場合
AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声出力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

S映像端子を使うと
録画画像をより忠実に再現できます。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）のかわりにS映像プラグをビデオやテレビのS（S1）映像端子に接続することをおすすめします。
MICROMV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

付属のAV接続ケーブルには映像プラグとS映像プラグが装備されています。お使いになる機器に合わせて使用する端子を設定する必要があります。

映像端子を使用する場合は、メニューでの項目の「ビデオ入力」で「ビデオ」を選びます。
S映像端子を使用する場合は、メニューでの項目の「ビデオ入力」で「Sビデオ」を選びます。
（お買い上げ時は「ビデオ」に設定されています。）
設定する必要がないときは、「録画する」（69ページ）から始めてください。
メニューのETCの項目の「画面表示」を「パネル」にしてから以下の操作を行ってください。
（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）

映像端子を選ぶ

❶ 電源スイッチを「ビデオ」モードにする。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ **メニューで[VTR]の項目の「ビデオ入力」を選び、「決定」を押す。**

❹ **「ビデオ」または「Sビデオ」を選び、「決定」を押す。**

機能画面に戻すには

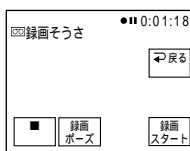
「閉じる」を押す。

録画する

❶ **カセットを準備する。**

本機　：録画用カセットを入れる。
再生機：ビデオから録画するときは、録画済みのカセットを入れる。

❷ **本機の電源スイッチを「ビデオ」モードにする。**

❸ **本機を録画一時停止にする。**

「機能」を押してページ3画面を選び、「録画そうさ」を押す。次に「録画ポーズ」を押す。

❹ **再生側のビデオを再生する。または、録画したいテレビ番組を受信する。**

ビデオやテレビの画像が液晶画面またはファインダーに映ります。

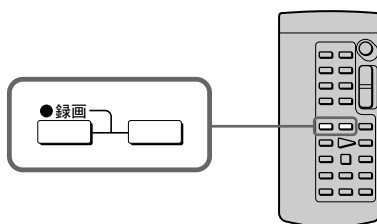
❺ **録画したい場面で「録画スタート」を押して録画を始める。**

ダビングが終わったら

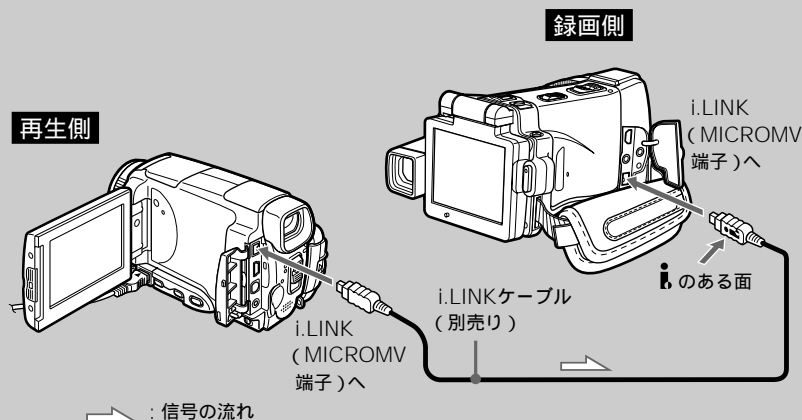
■（停止ボタン）を押して録画を停止し、再生機での再生を停止する。

リモコンを使って録画する

手順3は必要ありません。手順5で●録画ボタンと右側のボタンを2つ同時に押すと、録画が始まります。

編集する—ダビングなど—

i.LINKケーブルでつなぐ

本機とMICROMV方式対応のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル（別売り）でつなぎ、本機で録画・編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。（本機と他のDV機器とを接続することはできません）

ご注意

- 本機で記録できない画像（DV方式で記録された画像など）が入力されたときは、「入力信号がちがいます」と表示されます。
- i.LINKケーブルで本機と接続できるのは1台だけです。

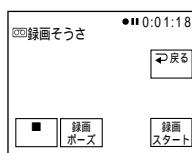
再生一時停止にしている画像は
- i.LINK（MICROMV端子）を使ってダビングすると粗い画像になります。
- 本機で再生したとき画像がぶれることがあります。また、画像に時間的なずれが生じることがあります。

❶ カセットを準備する。

本機　：録画用カセットを入れる。
再生機：撮影済みのカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」モードにする。

❸ 再生側のビデオを再生する。

❹ 本機を録画一時停止にする。

「機能」を押してページ3画面を選び、「録画そうさ」を押す。次に、「録画ポーズ」を押す。

ご注意

再生機器を再生または再生一時停止状態にしてから、本機を録画または録画一時停止状態にしてください。本機に入力信号が無い状態で録画操作すると、「信号を入力してください」というメッセージが出て録画できません。

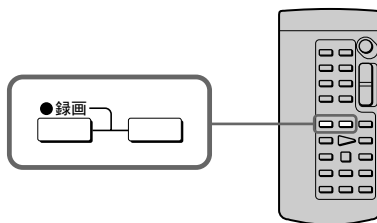
録画を始める前に
液晶画面またはファインダーに「MPEG入力」の表示が出ているのを確認してください。表示は両方の機器に出ることもあります。

❺ 録画を始めたい場面で「録画スタート」を押して録画を始める。

ダビングが終わったら

■（停止ボタン）を押して録画を停止し、再生機での再生を停止する。

リモコンを使って録画する

手順4は必要ありません。手順5で●録画ボタンと右側のボタンを2つ同時に押すと、録画が始まります。

タイトルを入れる

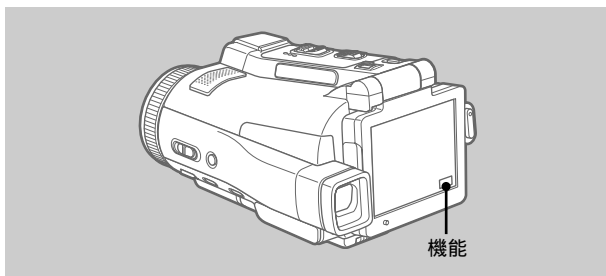
タイトルを入れることができます（インデックスタイトラー機能）。再生すると、撮影開始点から約5秒間タイトルが表示されます。

誤消去防止状態のカセットでは
タイトルを入れられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

オリジナルタイトルを入れるときは
手順4で[T]を選びます。

テープの始めや途中に無記録部分があると
タイトルが正しく表示されないことがあります。

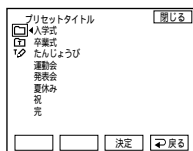
本機で入れたタイトルは
- インデックスタイトラー機能付きのMICROMV方式対応のビデオでのみ見られます。
- 他機で頭出ししたとき、インデックスデータとして誤検出されることがあります。

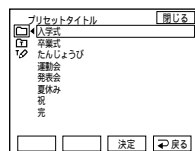
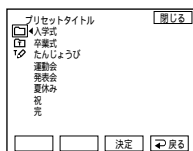
再生中にタイトルを出したくないとき
メニューで「タイトル表示」を「切」にします（140ページ）。

撮影と同時にタイトルを入れる

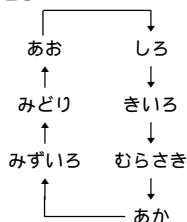
1 電源スイッチを「カメラ」モードにする。

2 「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。

3 「タイトル」を押す。

タイトル画面が表示されます。

4 「↓」/「↑」を押して[□]を選び、「決定」を押す。

プリセットタイトル画面が表示されます。

設定表示と表示順

- 「色」

- 「サイズ」
  ちいさい⟷おおきい
  12文字をこえるタイトルには「おおきい」サイズの設定はできません。
- 「位置」
  「ちいさい」サイズは9段階、「おおきい」サイズは8段階から選べます。

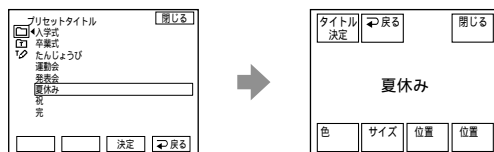
1つのカセットに記憶できるタイトルは

最大12文字で20タイトルです。

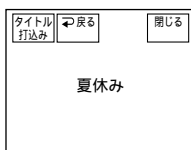
タイトルが20件入っていると

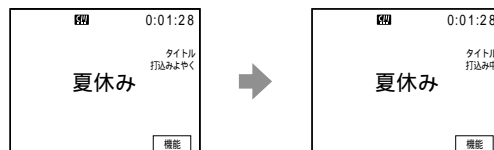
「タイトルがいっぱいです」というお知らせメッセージが出ます。不要なタイトルを消してください。

❺ 「↓」/「↑」を押して入れたいタイトルを選び、「決定」を押す。

タイトルが表示されます。

❻ 「色」または「サイズ」、「位置↓」/「位置↑」を押して、希望の色、サイズ、位置を選択する。

❼ 「タイトル決定」を押す。

タイトル打込み画面が表示されます。

❽ 「タイトル打込み」を押す。

タイトルが決定され、「タイトル打込みよやく」の表示が出ます。スタート/ストップボタンを押して撮影を始めると同時に「タイトル打込み中」の表示になり、約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶されます。

ご注意

- テープの状態によっては、サムネイルが表示されない場合がありますが故障ではありません。
- サムネイル画像にノイズが出ることがありますが、記録済みの画像には影響はありません。

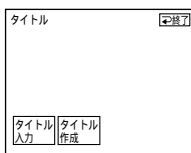
テープの無記録部分には
タイトルを入れられません。

撮影したテープにタイトルを入れる

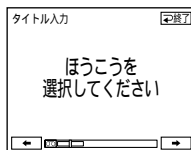
タイトルは、撮影開始点から5秒間記憶されます。

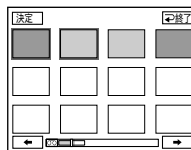
❶ **電源スイッチを「ビデオ」モードにする。**

❷ **「機能」を押し、ページ1画面を出す。**

❸ **「タイトル」を押す。**

タイトル画面が表示されます。

❹ **「タイトル入力」を押す。**

タイトル入力画面が表示されます。

❺ **「⬅」または「➡」を押してスキャンする方向を選ぶ。**

選んだ方向にスキャンが始まり、「➡」方向では左上から、「⬅」方向では右下からサムネイルが表示されます。

ご注意

手順8で再生画が表示されるまで、「タイトル打込み」はできません。

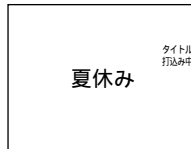
オリジナルタイトルを入れるときは
手順7で[T]を選びます。

❻ タイトルを入れたい場面のサムネイルを選び、「決定」またはもう一度サムネイルを押す。

プリセットタイトル画面が表示されます。

❼ 「撮影と同時にタイトルを入れる」（72ページ）の手順4～7を行う。

❽ 「タイトル打込み」を押す。

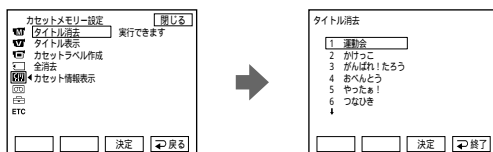
「タイトル打込み中」が表示されます。
約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶されます。

編集する―ダビングなど―

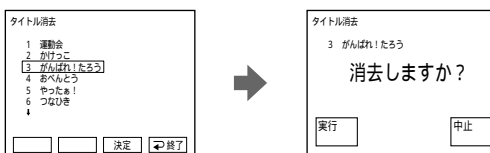
タイトルを消す

❶ 電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」モードにする。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ メニューで［カセット］の項目の「タイトル消去」を選び、「決定」を押す（140ページ）。

タイトル消去画面が表示されます。

❹ 「↓」/「↑」を押して消したいタイトルを選び、「決定」を押す。

「消去しますか？」が表示されます。

❺ 消去するタイトルを確認し、「実行」を押す。

「消去中」の表示が点滅します。
消去されると、「完了」が表示されます。

機能画面に戻すには

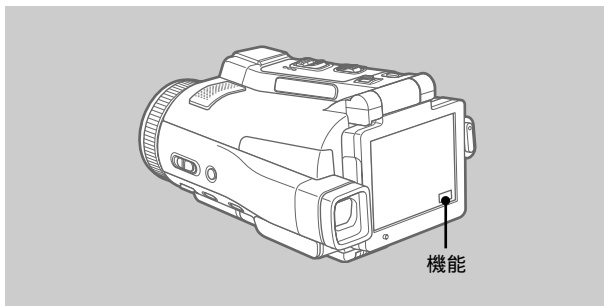
「閉じる」を押す。

タイトルの消去を中止するには

手順4の画面で「中止」を押す。

オリジナルタイトルを作る

20文字以内のタイトルを自分で作って2種類
まで本機に記憶できます。

撮影スタンバイ状態で、カセットを入れてタイトルを作成中に5分以上たつと、自動的に電源が切れます
作成中のタイトルは残っています。一度電源スイッチを「(充電) 切」にして、手順1からやり直してください。
5分以上かかりそうなときはカセットを取り出しておけば電源は切れません。また、「ビデオモードで作成する」(79ページ)を行っても電源は切れません。

カメラモードで作成する

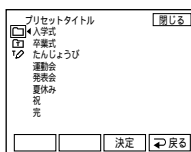
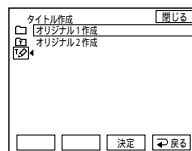
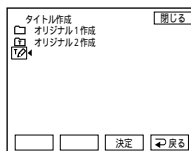
1 電源スイッチを「カメラ」モードにする。

2 「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。

3 「タイトル」を押す。

4 「↓」/「↑」を押して を選び、「決定」を押す。

次のページへつづく

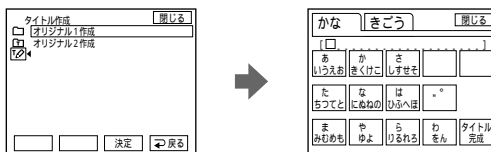
編集する—ダビングなど—

漢字変換機能はありません
「きごう」にある漢字以外をタイトルに使うことはできません。

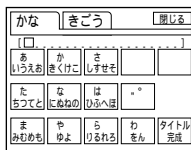
文字を消すとき
「🡐」を押すと、一番後ろの文字が消えます。

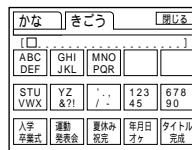
空白を入れたいとき
「➔」を押す。

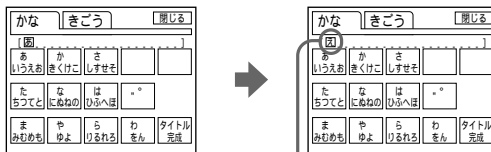
同じボタン内の文字を入れたいとき
「➔」でカーソルを移動させてから文字を入れる。

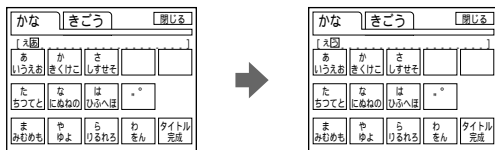
小さい「っ」などの文字を選ぶとき
文字の含まれるボタンを繰り返し押す。

❺ 「↓」/「↑」を押して、「オリジナル1作成」または「オリジナル2作成」を選び、「決定」を押す。

❻ 入力する文字の種類を選ぶ。

「かな」：ひらがなを入力するとき
「きごう」：アルファベットや数字を入力するとき

「かな」を選んだとき

「きごう」を選んだとき

❼ 希望の文字列を選び、ボタンを繰り返し押して希望の文字を入力する。

1つのボタンに複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって文字が切り換わります。

❽ 「→」を押してカーソルを右に移動し、次の文字を入力する。

手順7〜8を繰り返します。

❾ 「タイトル完成」を押す。

タイトルが記憶されます。

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

作成したタイトルを変更するには

手順5で変更したいオリジナルタイトルを選び、「決定」を押す。それから文字を選び直す。

作成したタイトルをカセットに入れるには

72ページの手順に従ってオリジナルタイトルを打ち込む。

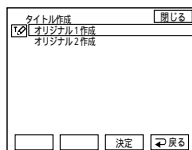
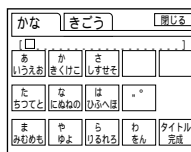
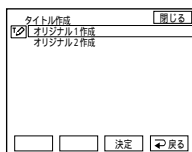
ビデオモードで作成する

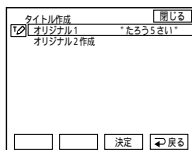
❶ 電源スイッチを「ビデオ」モードにする。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ 「タイトル」を押す。

タイトル画面が表示されます。

次のページへつづく

4 「タイトル作成」を押す。

タイトル作成画面が表示されます。

5 「↓」/「↑」を押して、「オリジナル1作成」または「オリジナル2作成」を選び、「決定」を押す。

6 「カメラモードで作成する」（77ページ）の手順6〜8を行って、文字を入力する。

7 「タイトル完成」を押す。

タイトルが記憶されます。

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

作成したタイトルをカセットに入れるには

72ページの手順に従ってオリジナルタイトルを打ち込む。

マイクロカセット情報

本機で使用しているマイクロカセットは、撮影状況や日付を自動で記憶します。

またカセットに16文字までの名前を付けることもできます（カセットラベル）。

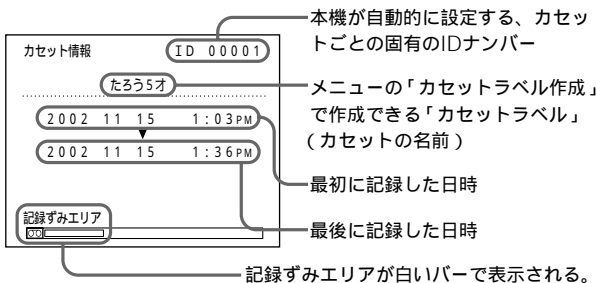
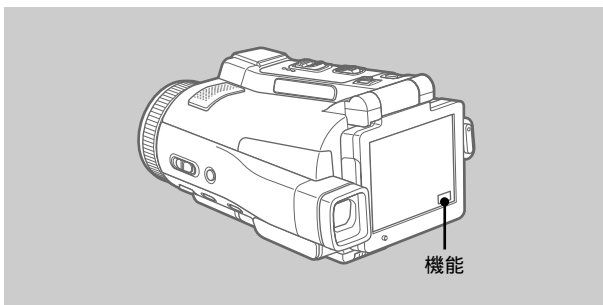
以下の操作を行うと、カセット情報が自動的に約5秒間表示されます。

- 電源スイッチを「カメラ」モードにしてテープを入れたとき
- 電源スイッチを「ビデオ」モードにしたとき

記録済みエリアは
テープの途中に無記録部分があっても、記録済みとして表示されます。

カセット情報を表示しないときは
メニューで「カセット情報表示」を「切」にします。（140ページ）

「カセットメモリーエラー」と表示されたときは
カセットを取り出し、もう一度入れ直してください。さらにエラーが表示されたときは、カセットメモリーが壊れている可能性があります。カセットを交換してください。

カセット情報

撮影スタンバイ状態で、カセットを入れてカセットラベルを作成中に5分以上たつと、自動的に電源が切れます
作成中のカセットラベルは残っています。一度電源スイッチを「（充電）切」にしてから再び「カメラ」モードにして、手順3からやり直してください。
また「ビデオ」モードで作成すれば電源は切れません。

誤消去防止状態のカセットでは
名前を付けられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

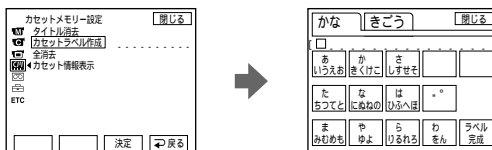
カセットに名前を付ける – カセットラベル

❶ 名前を付けたいカセットを入れる。

❷ 電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」モードにする。

❸ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❹ メニューで の項目の「カセットラベル作成」を選び、「決定」を押す（140ページ）。

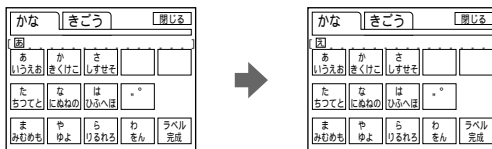
カセットラベル作成画面が表示されます。

❺ 入力する文字の種類を選ぶ。

「かな」：ひらがなを入力するとき
「きごう」：アルファベットや数字を入力するとき

「かな」を選んだとき

「きごう」を選んだとき

❻ 希望の文字列を選び、ボタンを繰り返し押して希望の文字を入力する。

1つのボタンに複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって文字が切り換わります。

漢字変換機能はありません
［きごう］にある漢字以外を使うことはできません。

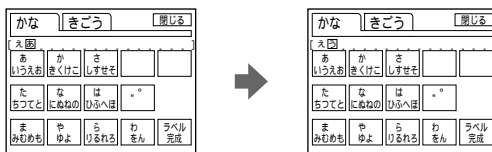
文字を消すとき
「←」を押すと、一番後ろの文字が消えます。

空白を入れたいとき
「→」を押す。

同じボタン内の文字を入れたいとき
「→」でカーソルを移動させてから文字を入れる。

小さい「っ」などの文字を選ぶとき
文字の含まれるボタンを繰り返し押す。

❼ 「→」を押してカーソルを右に移動し、次の文字を入力する。

手順5〜7を繰り返します。

❽ 「ラベル完成」を押す。

カセットラベルが記憶されます。

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

作成したカセットラベルを消すには

手順4で「←」を選んで消す。

作成したカセットラベルを変更するには

カセットラベルを変更したいカセットを入れ、カセットラベルを作るときと同じ手順で作り直す。

ご注意

マイクロカセットメモリーのデータをすべて消すと、以下の操作ができなくなります。
– マルチ画面サーチ
– タイトルサーチ
– 日付サーチ

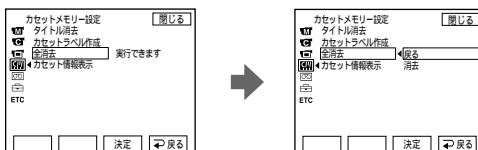
IDナンバーは
消去できません。

マイクロカセットメモリーのデータを全て消去する

カセットメモリーに保存されている全てのデータを、一度に消去することができます。

❶ 電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」モードにする。

❷「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ メニューで[カセット情報アイコン]の項目の「全消去」を選び、「決定」を押す。

❹「消去」を選び、「決定」を押す。

「消去」が「消去します」の表示にかわります。

❺「消去します」を選び、「決定」を押す。

「消去中」の表示が点滅します。
消去されると「完了」が表示されます。

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

消去を中止するには

手順4または5で「戻る」を選び、「決定」を押す。

“ メモリースティック ”を使う – はじめに

付属の“ メモリースティック ”は、画像を記録し、見たい画像を簡単に再生するほか、以下のようなことができます。

- 画像をテープから“ メモリースティック ”へ取り込む。
- 静止画を“ メモリースティック ”からテープへ取り込む。
- 付属のUSBケーブルを使用し、パソコンに画像データを取り込む。
- 画像の消去、プロテクト、プリントマーク操作。

静止画の圧縮形式（JPEG）

本機は、撮影した静止画データをJPEG（Joint Photographic Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「. jpg」です。

動画の圧縮形式（MPEG）

本機は、撮影した動画データをMPEG（Moving Picture Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「. mpg」です。

画像のデータファイル名

静止画の場合

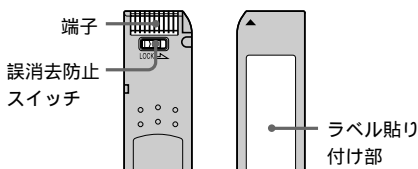
– 本機の画面表示：100-0001

– パソコンの画面表示：Dsc00001.jpg

動画の場合

– 本機の画面表示：MOV10001

– パソコンの画面表示：Mov10001.mpg

“ メモリースティック ”について

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録、消去ができなくなります。
- モデルによっては、誤消去防止スイッチの位置や形状が異なる場合があります。
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中に“ メモリースティック ”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部に触れたり、金属を接触させないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  – 直射日光のあたる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、“ メモリースティック ”に付属の収納ケースに入れてください。

パソコンでフォーマット（初期化）した“ メモリースティック ”は

パソコン（Windows OS/Macintosh OS）でフォーマットした“ メモリースティック ”は、本機での動作を保証致しません。

画像の互換性について

- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“ Design rules for Camera File systems ”に対応しています。
  統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900, DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“ メモリースティック ”が本機で使えないときは、140ページの手順にしたがい本機でフォーマット（初期化）をしてください。
  フォーマットすると“ メモリースティック ”に記録してあるデータは全て消去されますので、ご注意ください。

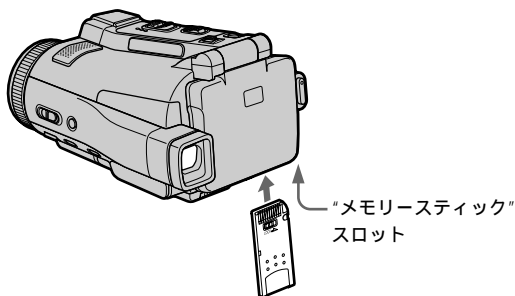
- “ Memory Stick ”（“ メモリースティック ”）MEMORY STICK はソニー株式会社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文ではTM、®マークは明記していません。

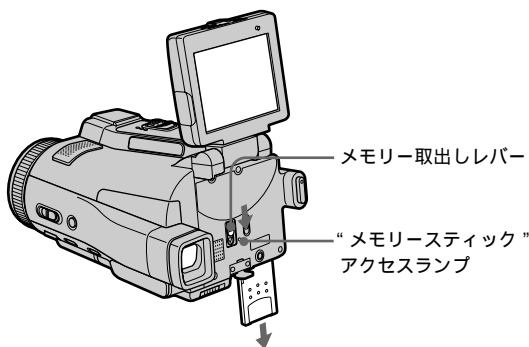
“ メモリースティック ”を使う

“メモリースティック”アクセスランプ点灯中および点滅中は
データの読み込み、または書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取り出したりしないでください。画像データが壊れることがあります。

「メモリースティックエラー」と表示されたときは
“ メモリースティック ”を2、3度入れ直してください。それでも表示が出るときは、“ メモリースティック ”が壊れていることがあります。“ メモリースティック ”を交換してください。

“ メモリースティック ”を入れる

“ メモリースティック ”を図のような向きで、矢印の方向に“ メモリースティック ”スロットの奥まで押し込む。

“ メモリースティック ”を取り出す

液晶画面を開け、“ メモリースティック ”アクセスランプが点灯していないことを確認してから、メモリー取出しレバーを矢印の方向へずらし“ メモリースティック ”を取り出す。

ご注意

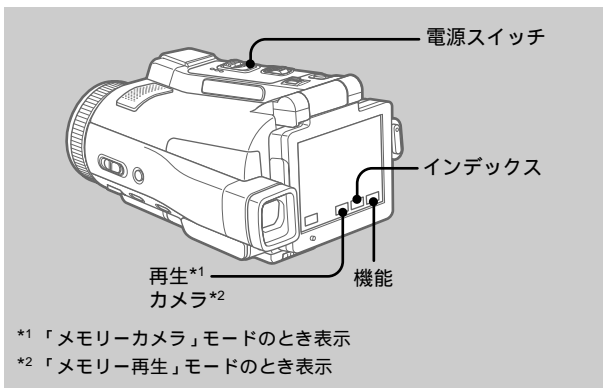
- タッチパネルは、指または付属のスタイラスで軽く押してください。
- 付属のスタイラス以外の先の尖ったもので押さないでください。
- 液晶画面を必要以上に強く押さないでください。
- ぬれた手で液晶画面に触れないでください。
- 「機能」が表示されていないときは、液晶画面を軽く押すと表示されます。液晶画面の表示は、本機の画面表示/タッチパネルボタンを押して出したり消したりできます。
- 押したボタンが動作しないときは調節（キャリブレーション）が必要です。（161ページ）
- 液晶画面が汚れたときは付属のクリーニングクロスをお使いください。

各々の項目が設定されているときは
緑色のバー表示が項目の上に出ます。

選択できないボタンは
グレー表示になります。

タッチパネルの使いかた

操作に必要なボタンが液晶画面に表示されます。指または付属のスタイラスでボタンを押して操作します（タッチパネル操作）。

*1 「メモリーカメラ」モードのとき表示
*2 「メモリー再生」モードのとき表示

1 電源スイッチを「メモリー」モードにする。

2 液晶画面を開ける。

操作に必要なボタンが表示されます。

「メモリーカメラ」モードのとき

「メモリー再生」モード（静止画）のとき

2つのモードは「再生」ボタンまたは「カメラ」ボタンを押すことで入れ換わります。

“メモリースティック”を使う

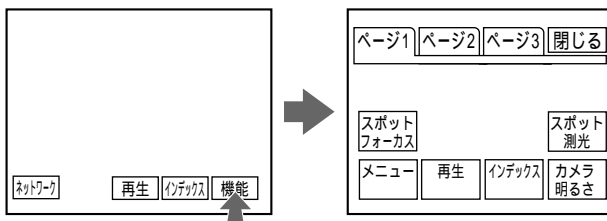
次のページへつづく

「機能」を押すと液晶画面に以下のような操作ボタンが現れます。

「メモリーカメラ」モード

- ページ1画面
  - –「スポットフォーカス」
  - –「メニュー」
  - –「再生」
  - –「インデックス」
  - –「カメラ明るさ」
  - –「スポット測光」
- ページ2画面
  - –「セルフタイマー」
  - –「再生」
  - –「インデックス」
  - –「メモリーミックス」
- ページ3画面
  - –「パネル明るさ」
  - –「再生」
  - –「インデックス」
  - –「音量」

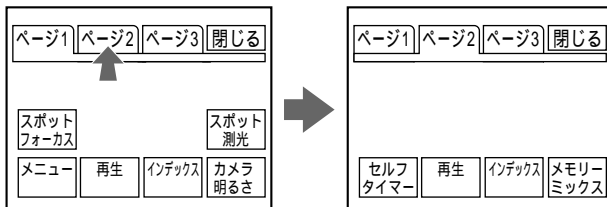
「メモリー再生」モード

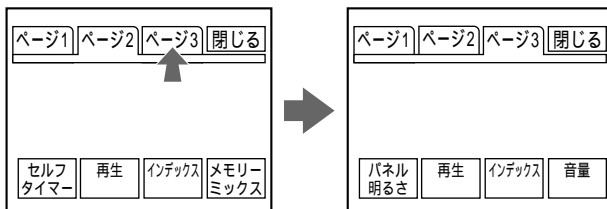
- ページ1画面
  - –「メニュー」
  - –「カメラ」
  - –「インデックス」
  - –「消去」
  - –「＋」
  - –「－」
- ページ2画面
  - –「再生ズーム」
  - –「カメラ」
  - –「インデックス」
  - –「データコード」
  - –「＋」
  - –「－」
- ページ3画面
  - –「パネル明るさ」
  - –「カメラ」
  - –「インデックス」
  - –「音量」
  - –「＋」
  - –「－」

❸ 「機能」を押す。

ページ1画面に操作に必要なボタンが表示されます。

「メモリーカメラ」モードのとき

❹ 「ページ2」を押す。

ページ2画面に操作に必要なボタンが表示されます。

❺ 「ページ3」を押す。

ページ3画面に操作に必要なボタンが表示されます。

❻ 希望の項目を押す。

詳しくは各機能の説明をご覧ください。

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

設定を決定するには

「⏎決定」を押す。

設定を解除するには

「⏎切」または「⏎オート」を押す。

ページ1、ページ2またはページ3画面に戻ります。

ご注意

画像によっては、画質を変えても差が出ないことがあります。

画質の違いは
画像はJPEG方式で圧縮処理をしてから記録されます。記録されるときに割り当てられるメモリー容量は、画質と画像サイズにより、次のようになります。
（画像サイズは、メニューで1600×1200、640×480から選ぶことができます。）

<画像サイズが1600×1200のとき>

画質	メモリー容量
スーパーファイン	約1240Kバイト
ファイン	約620Kバイト
スタンダード	約420Kバイト

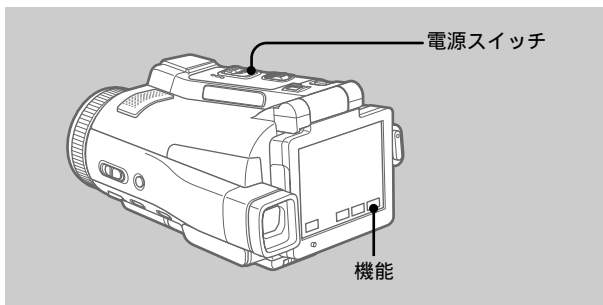
<画像サイズが640×480のとき>

画質	メモリー容量
スーパーファイン	約190Kバイト
ファイン	約100Kバイト
スタンダード	約60Kバイト

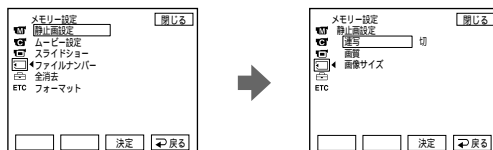
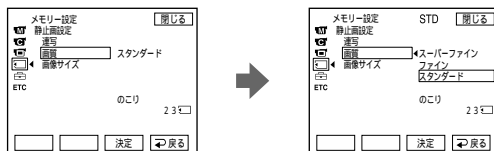
画質表示は
再生時は表示されません。

画質を選ぶと
画質に合った記録可能枚数が表示されます。

静止画の画質を選ぶ

あらかじめ静止画記録時の画質を選んで記録できます。お買い上げ時は「スーパーファイン」に設定されています。

❶ 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」モードにする。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ メニューで[アイコン]の項目の「静止画設定」を選び、「決定」を押す（139ページ）。

❹ 「↓」/「↑」を押して「画質」を選び、「決定」を押す。

“メモリースティック”を使う

❺ 「↓」/「↑」を押して希望の画質を選び、「決定」を押す。

画質について

設定	意味
スーパーファイン 表示：SFN	最も高画質で記録するときに使います。記録可能な静止画の数は、「ファイン」より減ります。約1/3に圧縮されます。
ファイン 表示：FINE	画質を優先するときに使います。約1/6に圧縮されます。
スタンダード 表示：STD	標準の画質です。約1/10に圧縮されます。

機能画面に戻すには

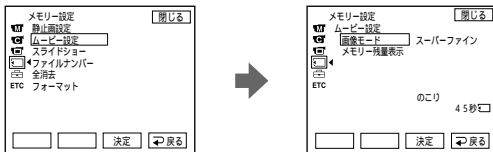
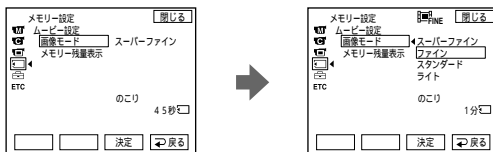
「閉じる」を押す。

動画の画像モードを選ぶ

動画の画像モードには「スーパーファイン」と「ファイン」、「スタンダード」、「ライトモード」の4種類あります。お買い上げ時は「スーパーファイン」に設定されています。

❶ 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」モードにする。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ メニューで[アイコン]の項目の「ムービー設定」を選び、「決定」を押す（139ページ）。

❹ 「↓」/「↑」を押して「画像モード」を選び、「決定」を押す。

❺ 「↓」/「↑」を押して希望の画像モードを選び、「決定」を押す。

画像モードについて

設定	画像サイズ	フレームレート	ビットレート（画像+音声）	表示（記録時）
スーパーファイン	352×240	30 fps	約1200 Kbps	SFN
ファイン	352×240	30 fps	約750 Kbps	FINE
スタンダード	144×96	10 fps	約400 Kbps	STD
ライトモード	144×96	10 fps	約200 Kbps	LIGHT

次のページへつづく

スーパーファイン：動画をもっともきれいに撮影できるモードです。画像をパソコンで加工したいときに適しています。お買い上げ時は「スーパーファイン」に設定されています。

ファイン：スーパーファインに比べて画質はやや劣りますが、より長い時間の動画が撮影できます。

スタンダード：画像サイズは小さくなりますが、ファインに比べて長い時間の動画が撮影できます。

ライトモード：電子メールに画像を添付するときなどに使います。画質はやや荒くなりますが、ファイルのサイズが小さいため、電子メールの送受信時にそれほど負荷がありません。

フレームレートとは

動画はたくさんの静止画を素早く入れ換えることで物体が動いているように見えます。フレームレートとは、1秒間に扱う静止画の数を表しています。数値が大きいほど、動画の動きはなめらかになります。本機では1秒間に最大30コマの静止画を扱うことができます（30 fps/フレームパーセカンド）。

ビットレートとは

数字が大きいほど画像がきれいになります。

1回の撮影での動画の最大記録時間について

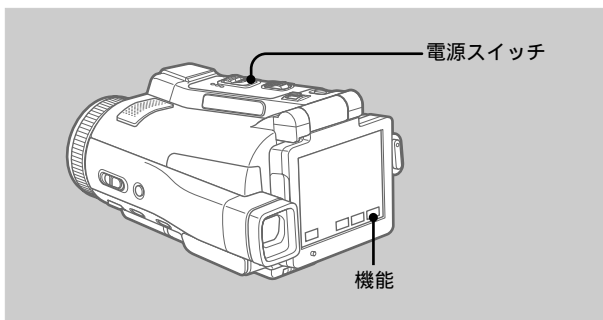
画像モード	最大記録時間
スーパーファイン	45秒
ファイン	1分10秒
スタンダード	2分20秒
ライトモード	4分40秒

ご注意

本機で画像サイズ「1600×1200」で記録した静止画ファイルを、「1600×1200」の画像サイズのない他機で再生した場合、画像の一部が表示されないことがあります。

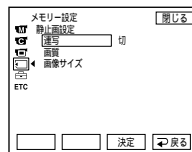
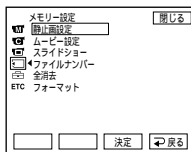
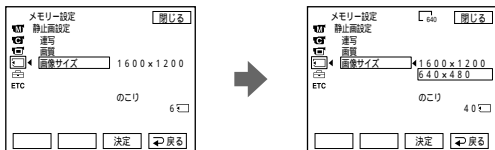
静止画の画像サイズを選ぶ

記録時の画像サイズには2種類あります。

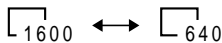
「1600×1200」または「640×480」
（電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」モードにしたときは、「640×480」のみになります。）
お買い上げ時は「1600×1200」に設定されています。

❶ 電源スイッチを「メモリー」モードにする。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ メニューでの項目の「静止画設定」を選び、「決定」を押す（139ページ）。

（139ページ）

4 **「↓」/「↑」を押して「画像サイズ」を選び、「決定」を押す。**

5 **「↓」/「↑」を押して希望の画像サイズを選び、「決定」を押す。**

表示は次のように変わります。

1600 ←→ 640

画像サイズについて

設定	意味	表示
1600×1200	静止画を1600×1200サイズで記録する。	1600
640×480	静止画を640×480サイズで記録する。	640

1枚の“ メモリースティック ”に記録できる静止画枚数の目安

被写体の状況で撮影枚数が異なることがあります。

画質	画像サイズ	“ メモリースティック ”容量				
		8MB（付属）	16MB	32MB	64MB	128MB
スーパーファイン	1600×1200	約6枚	約12枚	約25枚	約51枚	約100枚
	640×480	約40枚	約80枚	約160枚	約325枚	約650枚
ファイン	1600×1200	約12枚	約25枚	約50枚	約100枚	約205枚
	640×480	約80枚	約160枚	約325枚	約650枚	約1310枚
スタンダード	1600×1200	約18枚	約37枚	約75枚	約150枚	約300枚
	640×480	約120枚	約240枚	約485枚	約980枚	約1970枚

1枚の“ メモリースティック ”に記録できる動画の記録時間の目安

被写体の状況で撮影時間が異なることがあります。

画像モード	“ メモリースティック ”容量				
	8MB（付属）	16MB	32MB	64MB	128MB
スーパーファイン	約45秒	約1分	約3分	約6分	約13分
ファイン	約1分	約2分	約5分	約10分	約20分
スタンダード	約2分	約5分	約10分	約20分	約41分
ライトモード	約5分	約10分	約20分	約41分	約82分

上の表の数字は、本機でフォーマットした“ メモリースティック ”に記録できる静止画の枚数と動画の時間です。

“ メモリースティック ”に静止画を撮る – メモリーフォト撮影

“ メモリースティック ”に静止画を記録できます。

電源スイッチを「メモリー」モードにすると
以下の機能が使えません。
– デジタルズーム
– SUPER NIGHTSHOT
– COLOR SLOW SHUTTER
– ワイドTV
– フェーダー
– ピクチャーエフェクト
– デジタルエフェクト
– プログラムAEのスポーツレッスン（表示が点滅します）
– タイトル
– 手ぶれ補正

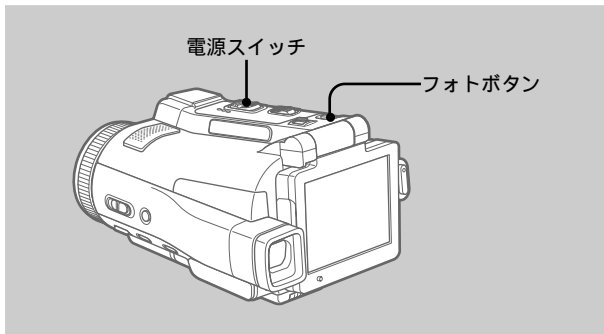
静止画を記録中は
電源を切ったり、フォトボタンを押したりすることはできません。

リモコンのフォトボタンを押すと
押したときに映っている画像が記録されます。

手順2でフォトボタンを軽く押すと
画像が瞬間的にまたたきますが、異常ではありません。

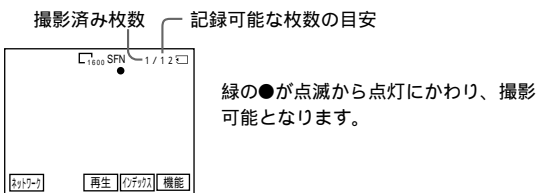
撮影日時/カメラデータは
画面には出ません。自動で“ メモリースティック ”上に記録され、再生時に「データコード」を押すと見ることができます。リモコンも使えます（36ページ）。

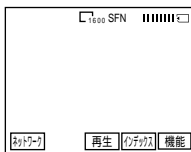
電源スイッチを「メモリー」モードにして撮影すると
電源スイッチを「カメラ」モードにして撮影しているときにくらべて画角が少し広くなります。

撮影可能枚数は
画質の設定および被写体の状況で異なります。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」モードにする。

❷ フォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。

画像の明るさとフォーカスが固定され、撮影が可能になります。撮影するとき、明るさとフォーカスは画面の中央部分の被写体に合わせて調整されます。

緑の●が点滅から点灯にかわり、撮影可能となります。

❸ フォトボタンを深く押す。

ボタンを深く押したときの画像が“ メモリースティック ”に記録されます。

電源スイッチを「カメラ」モードにして［撮影スタンバイ中］または［テープ撮影中］に“ メモリースティック ”に静止画を撮ることができます

詳しくは41ページをご覧ください。

連続して撮る（連写）

あらかじめメニューで連写の設定をしてメモリーフォト撮影をすると、以下の連写ができます。

ノーマル連写
約0.5秒間隔で1600×1200で4枚、640×480で25枚までの静止画を連続して撮影します。（ ）

高速連写
約0.07秒間隔で32枚までの静止画を連続して撮影します。このとき、静止画の画像サイズは640×480で記録されます。（ ）

ブラケット撮影
約0.5秒間隔で自動で露出を変えて3枚の画像を連続して撮影します。（BRK）

マルチ画面連写
約0.5秒間隔で9枚の静止画を連続して撮影し、9分割された1つの画面に表示します。このとき、静止画の画像サイズは640×480で記録されます（ ）。

連写の枚数は
画像サイズと“ メモリースティック ”の残量によって変わることがあります。

連写しているときは
フラッシュの発光はできません。

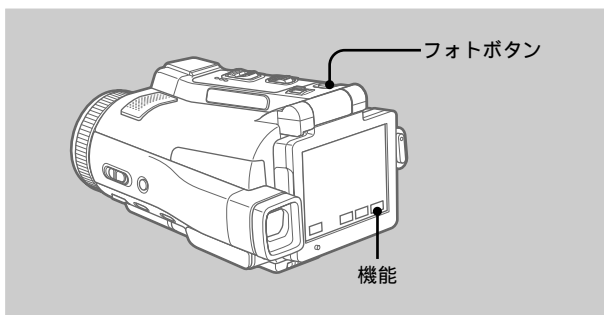
セルフタイマーまたはリモコンを使って撮影したときは
自動的に最大枚数まで連続して撮影します。

高速連写では
画面が明るくなる現象（フリッカー）が起こったり、変色することがあります。また近くのものにピントが合わないようにフォーカスを制御します。

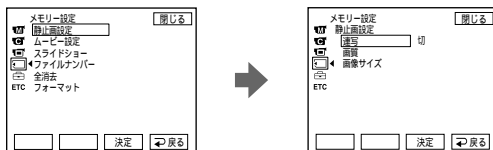
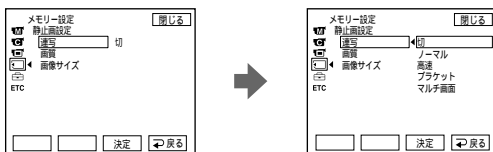
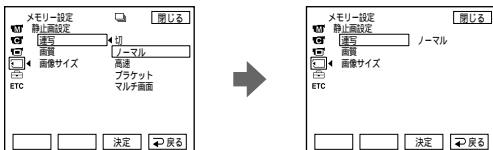
“ メモリースティック ”の残量が3枚より少ないと
ブラケット撮影はできません。フォトボタンを押すと、「メモリースティックのメモリーがいっぱいです」と表示されます。

ブラケット撮影の効果
液晶画面上では効果が見えにくい場合があります。テレビモニターやパソコン画面などで効果を確認することをおすすめします。

「ノーマル連写」「高速連写」では

フォトボタンを深く押している間、最大枚数まで連続して撮影します。ボタンを深く押すのをやめると、撮影は終わります。

❶ **電源スイッチを「メモリー」モードにする。**

❷ **「機能」を押し、ページ1画面を出す。**

❸ **メニューでの項目の「静止画設定」を選び、「決定」を押す（139ページ）。**

❹ **「↓」/「↑」で「連写」を選び、「決定」を押す。**

❺ **「↓」/「↑」で「ノーマル」、「高速」、「ブラケット」または「マルチ画面」を選び、「決定」を押す。**

❻ 「閉じる」を押してメニュー画面を消す。

❼ フォトボタンを深く押す。

“ メモリースティック ”の容量がいっぱいになると

「メモリースティックのメモリーがいっぱいです」と表示され、メモリーフォト撮影は終了します。

ご注意

- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は0.3m～2.5mです。
- レンズフード（付属）やコンバージョンレンズ（別売り）を付けていると、フラッシュの光をさえぎり、レンズの影が映る（ケラレが出る）ことがあります。
- ◉（AUTO赤目軽減）、◉ϟ（強制赤目軽減）では、個人差や被写体までの距離、予備発光を見ていないなどの条件により赤目の軽減効果が現れにくいことがあります。
- 明るい場面で強制発光を使うとフラッシュ効果が得られにくいことがあります。
- 充電中はフラッシュランプが点滅し、充電が完了するとランプは点灯します。
- 周囲が暗いときなどフォーカスが合いにくいときはホログラフィックAF（101ページ）または、「手動でピントを合わせる」のフォーカス距離情報（56ページ）をご使用ください。

電源をはずして5分以上たつと

お買い上げ時の設定「AUTO」に戻ります。

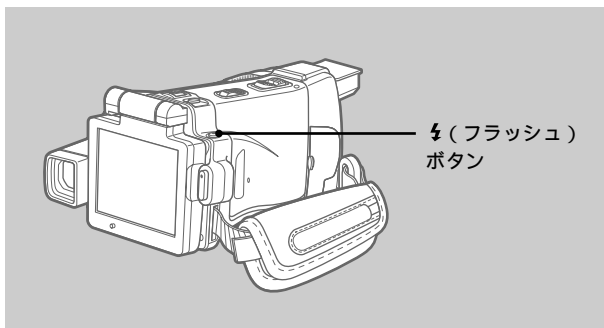
以下の操作中は、AUTOまたは◉（AUTO赤目軽減）を選んでもフラッシュは発光しません。

– NIGHTSHOT
– プログラムAEの
　スポットライト
　サンセット＆ムーン
　フウケイ
– カメラ明るさ調節
– フレキシブルスポット測光

連写のときは

フラッシュの発光はできません。

フラッシュを使って撮影する

フラッシュが自動で持ち上がり発光します。お買い上げ時は「AUTO」（表示なし）に設定されています。「AUTO」以外に設定するときは、ϟ（フラッシュ）ボタンを繰り返し押し、希望のモードを表示させます。

ボタンを押すたびに、以下のように表示が変わります。

→ ϟ → ⊘ →「AUTO」（表示なし）

メニューで[M]の項目の「赤目軽減」を「入」にしたとき（137ページ）、以下のように表示が変わります。

→ ◉ → ◉ϟ → ⊘

ϟ 強制発光	：周囲の明るさに関係なく発光します。
◉ AUTO赤目軽減	：撮影前に予備発光し、目が赤く映ることを抑制します。
◉ϟ 強制赤目軽減	：周囲の明るさに関係なく撮影前に予備発光し、目が赤く映ることを抑制します。
⊘ 発光禁止	：発光しません。

発光量は適切な明るさに調整されていますが、メニューの「フラッシュレベル」で変えることができます（137ページ）。お好みの明るさに設定するには試し撮りをしてご確認ください。

ご注意

- コンバージョンレンズ（別売り）を付けていると、ホログラフィックAFの光をさえぎり、ピントが合わないことがあります。
- ホログラフィックAFを発光しても、充分な光が被写体に届かない場合（推奨距離は約2.5mまで）ピントは合いません。
- 障害物などでホログラフィックAFの光がさえぎられていると、ピントが合わないことがあります。
- ホログラフィックAFの光が画像の中心からずれる場合がありますが、光が被写体に届いていれば、ピントは合います。
- ホログラフィックAFの光がぼやける場合は、ピントが合いにくくなることがあります。このような場合にはホログラフィックAF発光部をかわいた布などで拭いてください。

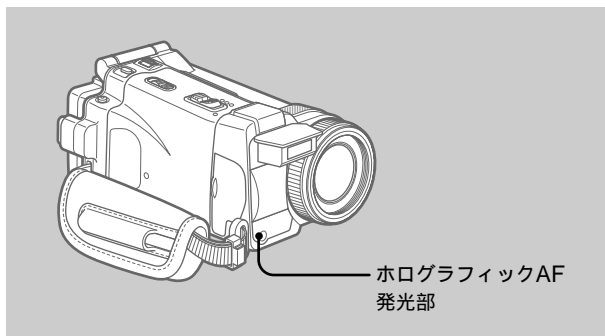
以下の場合、ホログラフィックAFは発光しません。

- 電源スイッチが「カメラ」モードのとき
- NIGHTSHOT
- フラッシュが発光禁止になっているとき
- プログラムAEのサンセット＆ムーンまたはフウケイ
- 手動でピント合わせをしているとき
- スポットフォーカス
- 連写

補助光を使って撮影する－ホログラフィックAF

暗い場所でピントを合わせるための補助光です。

メニューでの項目の「ホログラフィックAF」を「オート」にする。（お買い上げ時は「オート」に設定されています。）

暗い条件下での撮影時での表示が出たとき、フォトボタンを軽く押すと、フラッシュが持ち上がり、ピントが固定されるまでの間、補助光が自動発光します。

ホログラフィックAFとは

「ホログラフィックAF」はレーザーホログラムを応用し、暗闇での静止画撮影を可能にした新しいAF補助光システムです。

このシステムはレーザー出力クラス1（※）を満たしており、従来の高輝度LEDや高輝度ランプを用いたシステムより目にやさしく、安全性が高いという特長があります。

ホログラフィックAFの発光部を至近距離から直接のぞき込んでも安全上問題はありませんが、懐中電灯を直接のぞき込んだときと同様、数分間残像が残ったり、目が眩むことがありますのでお控えください。

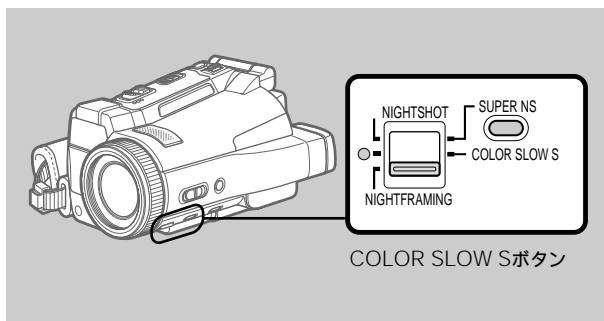
※ JIS規格（JP）、IEC規格（EU）、FDA規格（US）全ての時間基準30 000秒のクラス1を満たしています。これはレーザー光を直接、またはレンズなどで集光して30 000秒間ののぞき込んでも安全なレーザー製品を意味しています。

NIGHTFRAMING中は以下の操作ができません
– ホワイトバランス
– プログラムAE
– カメラ明るさ調節
– フレキシブルスポット測光
– スポットフォーカス
– 連写

NIGHTFRAMING中は
- フォーカススイッチを「手動」に設定していても、ピント合わせを自動で行います。
- ホログラフィックAFを「切」に設定していても、補助光が発光します。
- フラッシュを「発光禁止」に設定していても、発光します。
- 正しい色が表現されませんが、撮影された画像は自然な色合いです。

NIGHTFRAMING（ナイトフレーミング）を使う

夜間でも被写体を確認でき、フラッシュによる自然な色合いで撮影できます。

COLOR SLOW Sボタン

❶ 電源スイッチを「メモリー」モードにする。

❷ NIGHTSHOT/NIGHTFRAMINGスイッチを「NIGHTFRAMING」にする。

NFとNIGHTFRAMING表示が点滅し、ONとが点灯します。

❸ フォトボタンを軽く押す。

補助光（ホログラフィックAF）（101ページ）が発光し、フォーカスを自動調節します。

❹ フォトボタンを深く押し込む。

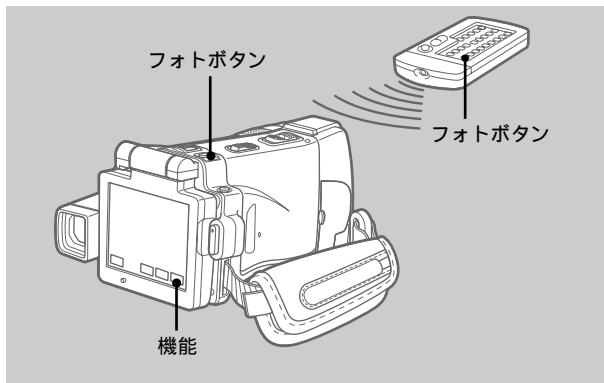
カシャッと音がしてフラッシュが光り、撮影します。

NIGHTSHOT/NIGHTFRAMINGスイッチを真ん中（緑の●の位置）にすると解除されます。

ご注意

以下の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー撮影を実行したあと
- セルフタイマー秒読み中にNIGHTFRAMINGスイッチを切り換えたとき
- 電源スイッチを切り換えたとき

セルフタイマーメモリーフォト撮影

セルフタイマーを使って“ メモリースティック ”に静止画を記録できます。リモコンも使えます。

❶ **電源スイッチを「メモリー」モードにする。**

❷ **「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。**

❸ **「セルフタイマー」を押す。**

セルフタイマー表示が出ます。

❹ **「閉じる」を押して、ページ2画面を消す。**

❺ **フォトボタンを深く押す。**

セルフタイマーの秒読みが始まります。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなります。ボタンを押してから約10秒後に、自動的に撮影されます。

セルフタイマー撮影を中止するには

撮影スタンバイ中に、もう一度ページ2画面の「セルフタイマー」を押し、セルフタイマー表示を消す。
リモコンを使ってセルフタイマーを解除することはできません。

テープの画像を静止画として取り込む

テープに記録された画像を、“ メモリースティック ”に静止画として記録できます。

また、他機の画像を取り込んで、“ メモリースティック ”に静止画として記録できます。

静止画の画像サイズは
「640×480」になります。

“ メモリースティック ”アクセスランプ点灯中および点滅中は
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取り出したりしないでください。画像データが壊れることがあります。

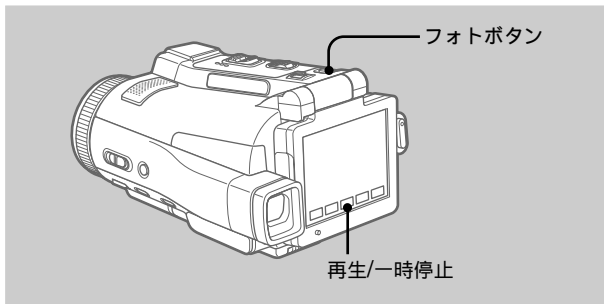
画面に「メモリースティックフォーマットエラー」と表示されたら
フォーマットの形式が違うなど本機で認識できない“ メモリースティック ”を使用しています。フォーマット形式をご確認ください。

再生中にフォトボタンを軽く押すと
テープは一時停止します。

テープに記録された音声は
記録できません。

タイトルは
記録できません。フォトボタンを押して画像を記録しているときは、タイトルは表示されません。

テープに記録されたデータコードは
“ メモリースティック ”には記録できません。“ メモリースティック ”に取り込んだときの日時を記録します。カメラデータは記録できません。

リモコンのフォトボタンを押すと
押したときに映っている画像が記録されます。

- 録画済みのテープを入れておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

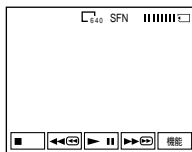
❶ 電源スイッチを「ビデオ」モードにする。

❷ ►II（再生/一時停止ボタン）を押す。

テープの画像が映ります。

❸ 画像を取り込みたい部分でフォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。

テープの画像が一時停止し、「キャプチャー」が表示されます。このとき記録はされません。

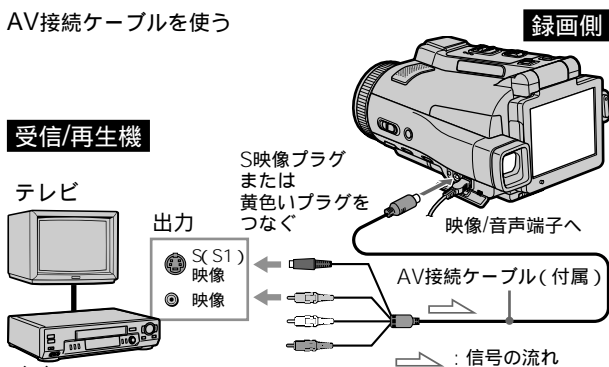
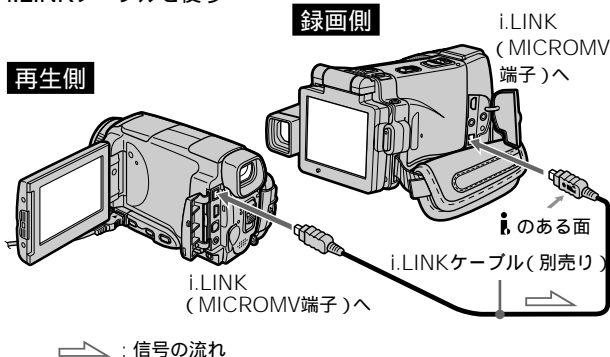
❹ フォトボタンを深く押す。

バーのスクロール表示が終わると、記録が完了します。

ボタンを深く押したときの画像が“ メモリースティック ”に記録されます。テープの画像は再生に戻ります。

ご注意

ダビングを繰り返したなどで記録状態の悪いテープを使うと、記録が途中で終了したり、「メモリースティック記録エラー」が表示されて、記録できません。乱れのない画像を記録してください。

S映像端子を使うと
録画画像がより忠実に再現できます。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）のかわりにS映像プラグをビデオやテレビのS（S1）映像端子に接続することをおすすめします。

他機をつないで静止画を取り込む

メニューで ETC の項目の「画面表示」を「パネル」にしてください。
（お買い上げ時は、「パネル」に設定されています。）

❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」モードにする。

❷ AV接続ケーブルを使用するときは、接続する映像端子を選ぶ（67ページ）。

❸ 再生側のビデオなどで再生を始める。または録画したいテレビ番組を受信する。

他機の画像が液晶画面またはファインダーに映ります。

❹ 画像を取り込みたい部分で104ページの手順3〜4を行う。

静止画を重ねて撮る – メモリーミックス

“ メモリースティック ”に記録してある静止画を、カメラで撮影している動画に重ねることができます。重ねた画像はテープまたは“ メモリースティック ”に記録できます。（“ メモリースティック ”には静止画のみ記録できます。）

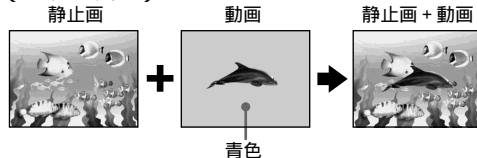
M. クロマキー（メモリークロマキー）
イラストや枠などの静止画を使い、静止画の青色の部分のみを抜いて動画と重ねる。

（M. クロマキー）
静止画　動画　静止画＋動画
青色

M. ルミキー（メモリールミキー）
手書きイラストやタイトルなどの静止画を使い、静止画の明るい部分を抜いて動画に重ねる。旅行やイベントの前にあらかじめタイトルを“ メモリースティック ”に入れておくと便利です。

（M. ルミキー）
静止画　動画　静止画＋動画
HAPPY BIRTHDAY

C. クロマキー（カメラクロマキー）
背景などの静止画に動きのある被写体を重ねる。(青色を背景に被写体を撮影し、青色の部分のみを抜く。）

（C. クロマキー）
静止画　動画　静止画＋動画
青色

M. オーバーラップ*（メモリーオーバーラップ）
“ メモリースティック ”に記録してある静止画から、カメラで撮影している動画にフェードインをする。
*テープにのみ記録できます。

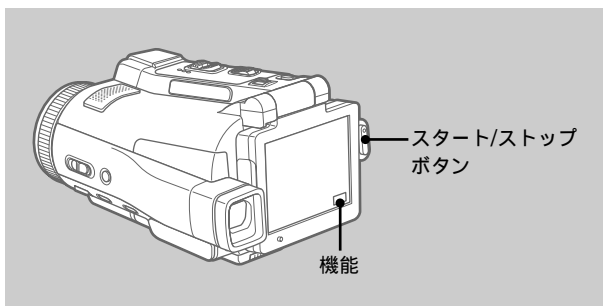
（M. オーバーラップ）
静止画　動画

ご注意

- MPEGムービー撮影した動画にメモリーミックスすることはできません。
- 重ねる静止画に白い部分が多いと、小画面で表示したときにはっきりと見えないことがあります。

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは
本機で再生できないことがあります。

付属の“ メモリースティック ”には
サンプルとして20枚の画像が記録されています。
- M. クロマキー用　18枚（枠など）
  100-0001～100-0018
- C. クロマキー用　2枚（背景になる絵など）
  100-0019～100-0020

サンプル画像は
プロテクトされています。
（125ページ）

重ねた画像をテープに記録するとき

- あらかじめ静止画が記録された“ メモリースティック ”を入れておいてください。
- 記録用のテープを入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「カメラ」モードにする。

❷ 「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。

❸ 「メモリーミックス」を押す。

“ メモリースティック ”に記録した画像が画面右下の小画面に表示されます。

❹ 画面右側の「－」/「＋」を押して、重ねたい静止画を選ぶ。

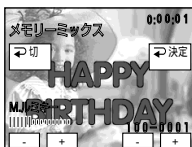
－：前の画像を出すとき
＋：次の画像を出すとき

“メモリースティック”を使う

ご注意

効果を選び直すことはできません。一度「↩切」を押し、ページ2画面まで戻ってください。

M. **オーバーラップを選ぶと**
静止画を選び直せません。一度「↩切」を押し、メモリーオーバーラップを解除してから選び直してください。

❺ 希望の効果を選ぶ。

静止画が撮影スタンバイ中の動画と重なります。

❻ 画面左側の「－」/「＋」を押して調節し、「↩決定」を押す。

ページ2画面に戻ります。

調節する内容は以下の通りです。

M. クロマキー	静止画の、青色部分のみの抜き具合。
M. ルミキー	静止画の、明るい部分の抜き具合。
C. クロマキー	動画の、青色部分のみの抜き具合。
M. オーバーラップ	調節の必要はありません。

バー表示を小さくするほど効果が大きくなります。

❼ 「閉じる」を押して、機能画面に戻る。

❽ スタート/ストップボタンを押して撮影を始める。

静止画を選び直すには

手順6の前で画面右側の「－」/「＋」を押す。

メモリーミックスを解除するには

手順3の画面で「↩切」を押す。

ページ2画面に戻ります。

重ねた画像を"メモリースティック"に静止画として記録するとき

あらかじめ静止画が記録された"メモリースティック"を入れておいてください。

❶ **電源スイッチを「メモリー」モードにする。**

❷ **「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。**

❸ **「メモリーミックス」を押す。**

"メモリースティック"に記録した画像が画面右下の小画面に表示されます。

❹ **画面右側の「－」/「＋」を押して、重ねたい静止画を選ぶ。**

－：前の画像を出すとき
＋：次の画像を出すとき

❺ **希望の効果を選ぶ。**

静止画が撮影スタンバイ中の動画と重なります。

ご注意

- MPEGムービー撮影した動画にメモリーミックスすることはできません。
- 重ねる静止画に白い部分が多いと、小画面で表示したときにはっきりと見えないことがあります。
- 効果を選び直すことはできません。「切」を押し、ページ2画面まで戻ってください。

静止画の画像サイズは
「640×480」になります。

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは
本機で再生できないことがあります。

"メモリースティック"にメモリーミックスするときは
プログラムAEは働きません。

❻ 画面左側の「－」/「＋」を押して調節し、「⮐決定」を押す。

ページ2画面に戻る。

調節する内容は以下の通りです。

M. クロマキー	静止画の、青色部分のみの抜き具合。
M. ルミキー	静止画の、明るい部分の抜き具合。
C. クロマキー	動画の、青色部分のみの抜き具合。

バー表示を小さくするほど効果が大きくなる。

❼「閉じる」を押して、機能画面に戻る。

❽ フォトボタンを深く押す。

バーのスクロール表示が終わると、記録が完了します。

ボタンを深く押したときの画像が“メモリースティック”に記録されます。

静止画を選び直すには

手順6の前で画面右側の「－」/「＋」を押す。

メモリーミックスを解除するには

手順3の画面で「⮐切」を押す。

ページ2画面に戻ります。

“ メモリースティック ”に動画を撮る – MPEGムービー撮影

“ メモリースティック ”に音声つきで動画を
記録できます。

ご注意

音声はモノラルで記録されます。

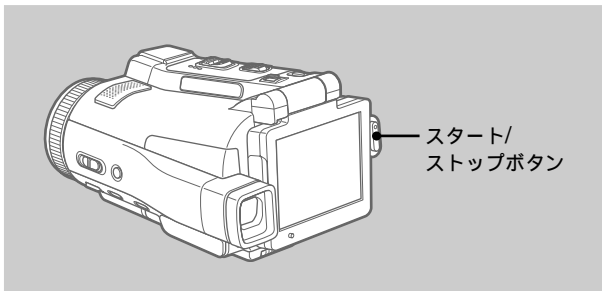
本機で撮影したMPEGムービーは
- MPEG MOVIE ADです。
- デジタルスチルカメラ、MPEG MOVIE AD対応以外のデジタルビデオカメラレコーダーでは再生できません。
- i.LINK（MICROMV端子）から出力することはできません。

電源スイッチを「メモリー」モードにすると
以下の機能が使えません。
– デジタルズーム
– SUPER NIGHTSHOT
– COLOR SLOW SHUTTER
– ワイドTVモード
– フェーダー
– ピクチャーエフェクト
– デジタルエフェクト
– プログラムAEのスポーツレッスン
（表示が点滅します）
– タイトル
– 手ぶれ補正

別売りのフラッシュを接続しているとき
MPEGムービー撮影をするときは、フラッシュの電源を「切」にしてください。フラッシュへの充電音が記録されることがあります。

撮影日時は
画面には出ません。自動で“ メモリースティック ”上に記録され、再生時に「データコード」を押すと見ることができます。カメラデータは記録できません。リモコンも使えます（36ページ）。

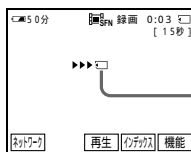
撮影中は
本機のカセットを取り出さないでください。カセット取り出し中は音声を記録しません。

電源スイッチを「メモリー」モードにして撮影すると
電源スイッチを「カメラ」モードにして撮影している時にくらべて画角が少し広くなります。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」モードにする。

❷ スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まり、録画ランプが点灯します。

画像モード	最大録画時間
スーパーファイン	45秒
ファイン	1分10秒
スタンダード	2分20秒
ライトモード	4分40秒

撮影を中止するには

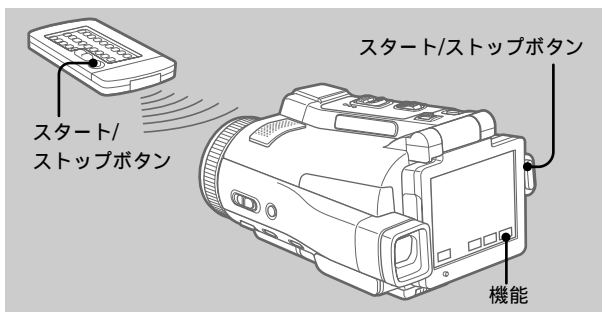
スタート/ストップボタンを押す。

“ メモリースティック ”を使う

ご注意

以下の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー撮影を実行したあと
- セルフタイマー秒読み中にNIGHTFRAMINGスイッチを切り換えたとき
- 電源スイッチを切り換えたとき

セルフタイマーMPEGムービー撮影

セルフタイマーを使って“ メモリースティック ”に動画を記録できます。
リモコンも使えます。

❶ 電源スイッチを「メモリー」モードにする。

❷「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。

❸「セルフタイマー」を押す。

セルフタイマー表示が出ます。

❹「閉じる」を押して、ページ2画面を消す。

❺ スタート/ストップボタンを押す。

セルフタイマーの秒読みが始まります。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなります。ボタンを押してから約10秒後に、自動的に撮影されます。

秒読みを停止するには

スタート/ストップボタンを押す。再開するにはもう一度押す。

セルフタイマーを中止するには

撮影スタンバイ中に、もう一度ページ2画面の「セルフタイマー」を押し、セルフタイマー表示を消す。
リモコンを使ってセルフタイマーを解除することはできません。

テープの画像を動画として取り込む

テープに記録された画像を、“ メモリースティック ”に動画として記録できます。

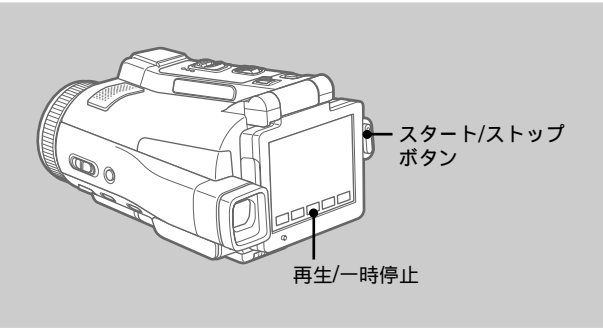
また、他機の画像を取り込んで、“ メモリースティック ”に動画として記録できます。

ご注意

ステレオで記録された音声はモノラルに変換されて記録されます。

“ メモリースティック ”アクセスランプ点灯中および点滅中は
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取り出したりしないでください。画像データが壊れることがあります。

タイトルは
記録できません。スタート/ストップボタンを押して画像を記録しているときは、タイトルは表示されません。

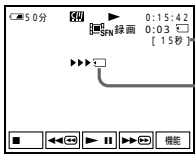
テープに記録されたデータコードは
“ メモリースティック ”には記録できません。
“ メモリースティック ”に取り込んだときの日時が記録されます。カメラデータは記録できません。

- 録画済みのテープを入れておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

1 電源スイッチを「ビデオ」モードにする。

2 ►II（再生/一時停止ボタン）を押す。

テープの画像が映ります。

3 取り込む画像の開始点でスタート/ストップボタンを押す。

画像モード	最大録画時間
スーパーファイン	45秒
ファイン	1分10秒
スタンダード	2分20秒
ライトモード	4分40秒

画像の取り込みを中止するには

スタート/ストップボタンを押す。

“ メモリースティック ”を使う

ご注意

ダビングを繰り返したなどで記録状態の悪いテープを使うと、記録が途中で終了したり、「メモリースティック記録エラー」が表示されて、記録できません。乱れのない画像を記録してください。

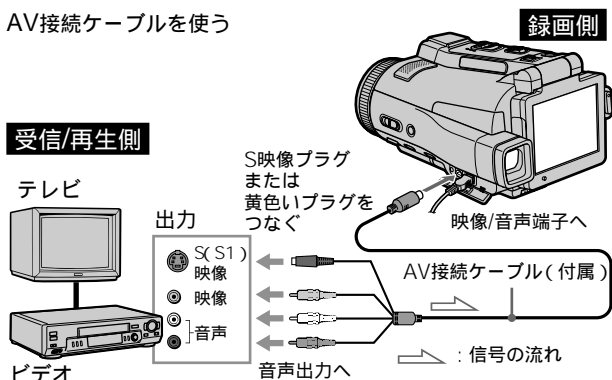
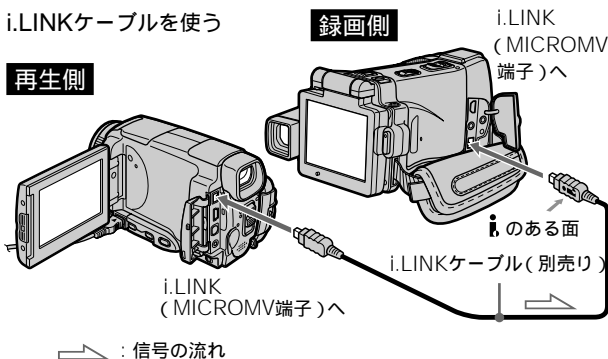
S映像端子を使うと

録画画像がより忠実に再現できます。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色いプラグ（映像）のかわりにS映像プラグをビデオ、またはテレビのS（S1）映像端子に接続することをおすすめします。

他機をつないで動画を取り込む

AV接続ケーブルを使う

i.LINKケーブルを使う

：信号の流れ

メニューでETCの項目の「画面表示」を「パネル」にしてください。（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）

1 本機の電源スイッチを「ビデオ」モードにする。

2 AV接続ケーブルを使用するときは、接続する映像端子を選ぶ（67ページ）。

3 再生側のビデオなどで再生を始める。または録画したいテレビ番組を受信する。

他機の画像が液晶画面またはファインダーに映ります。

4 取り込む画像の開始点でスタート/ストップボタンを押す。

静止画を見る – メモリーフォト再生

“ メモリースティック ”に記録してある静止画を見ることができます。

また、インデックス表示をすると、データファイル順に動画も含めた画像を6枚ずつ表示できます。

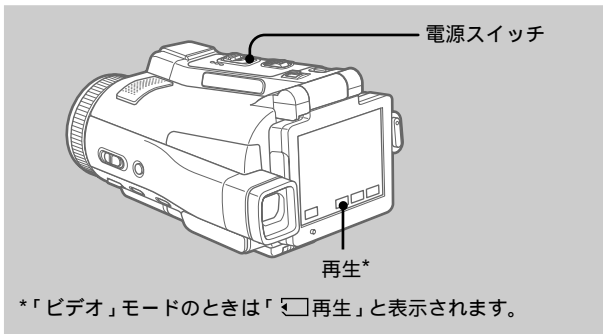
ご注意

以下の場合、正しく再生できないことがあります。
- パソコンで加工した画像データを本機で再生する場合
- 撮影に使った機器以外で画像データを再生する場合

メモリーフォト再生した画像は
i.LINK（MICROMV端子）からは出力されません。

データファイル名について
- ディレクトリ構造がDCF規格に準拠していないと、ディレクトリ番号は表示されず、ファイル名のみ表示される場合があります。
- ディレクトリ構造がDCF規格に準拠していないと「メモリースティックディレクトリエラー」と表示されることがあります。このとき、再生は可能ですが、記録することはできません。
- データファイル名が点滅したときは、ファイルが壊れている、または本機で扱えないファイル形式です。

テレビで見るときは
- あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでおいてください。
- テレビや液晶画面でメモリーフォト再生をすると、画質が劣化しているように見えることがありますが、故障ではありません。データ上は問題ありません。
- テレビの音量を下げておいてください。テレビのスピーカーから「ピー」という音（ハウリング）が出ることがあります。

静止画は
ページ1、ページ2、ページ3画面上でも、「–」/「+」を押して選ぶことができます。

*「ビデオ」モードのときは「⊏再生」と表示されます。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」モードにする。

❷「再生」または「⊏再生」を押す。

最後に撮影した画像が表示されます。

❸「–」/「+」を押して、静止画を選ぶ。

–：前の画像を見るとき
+：次の画像を見るとき

メモリーフォト再生を止めるには

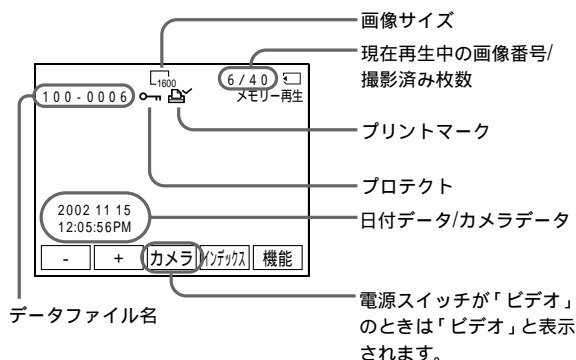
「カメラ」、「ビデオ」またはリモコンのメモリー再生ボタンを押す。

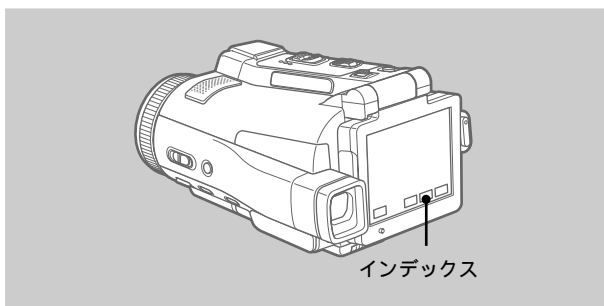
“ メモリースティック ”内部に表示できる画像が1枚もないときに
リモコンのメモリー再生ボタンを押すと、「ファイルがありません」と表示されます。

撮影日時/カメラデータは
「データコード」を押すと見ることができます。リモコンも使えます（36ページ）。

画面表示を消すには
画面表示/タッチパネルボタンを押します。

静止画再生中の画面表示

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは
インデックス表示ができない場合があります。

画像を6枚ずつ表示する（インデックス表示）

撮影した画像を6枚ずつ一度に再生できます。画像を検索するときなどに便利です。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」モードにする。

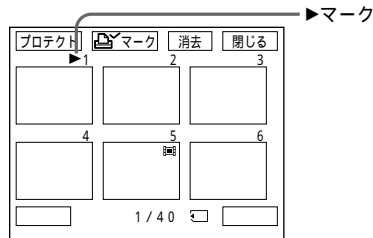
❷「ビデオ」モードのときは、「再生」を押す。

「メモリー」モードの時は、手順3へ進む。

ご注意

インデックス表示をしているときの画像右上の番号は、“メモリースティック”の記録順を示す番号です。データファイル名（85ページ）とは違いますのでご注意ください。

❸「インデックス」を押す。

インデックス表示をする前に映っていた画像に赤色の▶マークが表示されます。

- 前の6枚を見るときは「←」を押す
- 次の6枚を見るときは「→」を押す

リモコンの「＋」「－」ボタンを使って、表示される画像の前後6枚を見ることができます。

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

1枚の表示（シングル表示）に戻すには

表示したい画像を押す。

動画を見る – MPEGムービー再生

“ メモリースティック ”に記録した動画を見ることができます。

また、インデックス表示をすると、データファイル順に静止画も含めた画像を6枚ずつ表示できます。

*「ビデオ」モードのときは「⊡再生」と表示されます。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」モードにする。

❷ 「再生」または「⊡再生」を押す。

最後に撮影した画像が表示されます。

❸ 「－」/「＋」を押して、動画を選ぶ。

－：前の画像を見るとき
＋：次の画像を見るとき

❹ 「MPEG▶❚❚」を押して、再生を始める。

❺ 「音量－」/「音量＋」を押して、音量を調節する。

音量－：小さくするとき
音量＋：大きくするとき

液晶画面を内側に向けて閉じていると、本機から音声は出ません。

MPEGムービー再生を一時停止するには

「MPEG▶❚❚」を押す。
もう一度押すと、再生が始まります。

ご注意

以下の場合、正しく再生できないことがあります。
- パソコンで加工した画像データを本機で再生する場合
- 撮影に使った機器以外で画像データを再生する場合

本機で撮影したMPEGムービーは
- MPEG MOVIE ADです。
- デジタルスチルカメラ、MPEG MOVIE AD対応以外のデジタルビデオカメラレコーダーでは再生できません。
- i.LINK（MICROMV端子）から出力することはできません。

テレビで見るときは
- あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでおいてください。
- テレビの音量を下げておいてください。テレビのスピーカーから「ピー」という音（ハウリング）が出ることがあります。

動画は

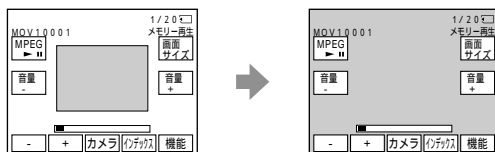
ページ1、ページ2、ページ3画面上でも、「－」/「＋」を押して選ぶことができます。

“ メモリースティック ”内部に表示できる画像が1枚もないときに

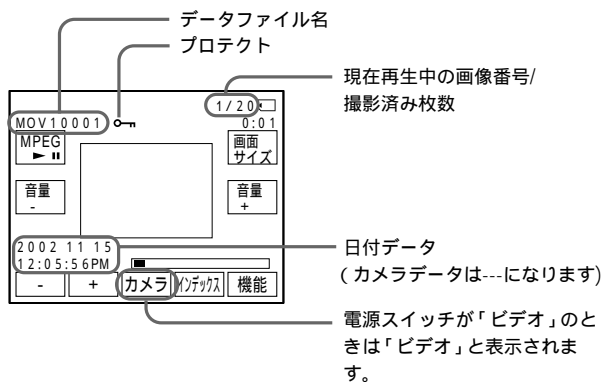
リモコンのメモリー再生ボタンを押すと、「ファイルがありません」と表示されます。

画面サイズについて
ファイルによっては、画面が中央に表示されなかったり、画面サイズを切り換えたときに液晶画面いっぱいに表示されない場合があります。

画面サイズを切り換える

「画面サイズ」を押す。画面サイズが下記のように切り換わります。

撮影日時は
「データコード」を押すと、見ることができます。リモコンも使えます（36ページ）。

画面表示を消すには
画面表示/タッチパネルボタンを押します。

動画再生中の画面表示

“メモリースティック”に撮った静止画をテープにダビングする

あらかじめ“メモリースティック”に記録した静止画をテープにダビングできます。リモコンも使えます。

- 記録用のテープを入れておいてください。
- あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「ビデオ」モードにする。

❷ ビデオ操作ボタンを使って、画像をダビングしたい場所を探し、テープを停止する。

❸ 「再生」を押す。

最後に撮影した画像が表示されます。

❹ 「－」/「＋」を押して画像を選ぶ。

－：前の画像を見るとき
＋：次の画像を見るとき

❺ 「機能」を押し、「ページ3」を押してページ3画面を出す。

ご注意

- MPEGムービー撮影した画像は、「メモリー上の動画はテープに記録できません」と表示され、ダビングできません。
- インデックス画面はダビングできません。

ダビング中は以下の操作はできません

– メモリー再生
– メモリーインデックス
– メモリー消去
– メモリー+/–
– メモリーミックス

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは

ダビングできないことがあります。

❻ **「録画そうさ」を押し、「録画スタート」を押す。**

テープへのダビングが始まります。
止めたいところで「録画ポーズ」を押す。

❼ **他にもダビングする場合は、手順4～6を繰り返す。**

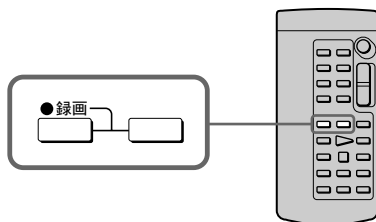
ダビングを中止するには

■（停止ボタン）またはリモコンの停止ボタンを押す。

機能画面に戻すには

手順6の後に「戻る」を押し、「閉じる」を押す。

リモコンを使ってダビングする

手順4の後で●録画ボタンと右側のボタンを2つ同時に押し、ダビングを始める。

“ メモリースティック ”に撮った静止画を拡大する – メモリー再生ズーム

“ メモリースティック ”に記録した静止画を拡大して見ることができます。

拡大した静止画は見たい部分を選べ、本機の“ メモリースティック ”にダビングできます。

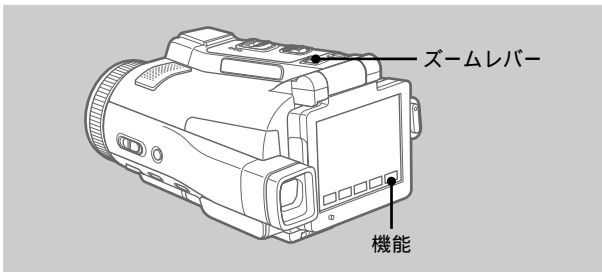
再生ズームの画像は
i.LINK（MICROMV端子）から出力することはできません
（39ページ）。

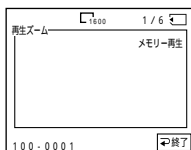
再生ズーム中に
画面表示/タッチパネルボタンを押すと表示枠が消えます。このとき押した部分を画面の中心に移動できません。

画像の周辺部分は
拡大できますが、画面の中心には移動しません。

MPEGムービー撮影した画像は
再生ズームはできません。

メモリー再生ズームした画像を“ メモリースティック ”に保存するには
フォトボタンを押すと表示中の画像を保存することができます。（画像サイズは640×480になります。）

フォーカススイッチが「ズーム」になっていると
ズームリングでも倍率を変えることができます。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

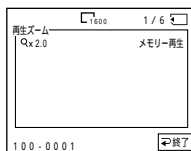
❶ ［メモリー再生中］に
「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。

❷ **「再生ズーム」を押す。**

再生ズーム画面が表示されます。

❸ **画面上の枠内の拡大したい部分を押す。**

押した部分を中心に2倍に拡大された画像が再生されます。さらに枠内の別の場所を押すと、押した部分を画面の中心に移動することができます。

❹ **ズームレバーで倍率を変える。**

ズームは約1.1倍から5倍までの間で選べます。

W：倍率を低くするとき
T ：倍率を高くするとき

メモリー再生ズームを解除するには

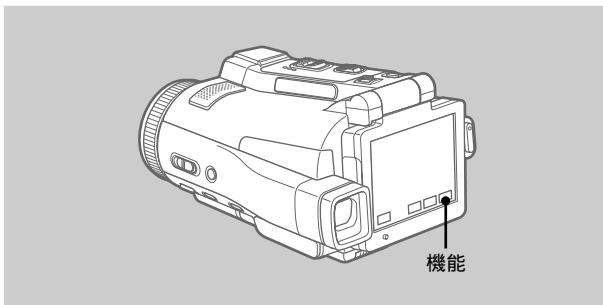
「終了」を押す。

画像を順番に自動再生する – スライドショー

画像を順番に自動再生します。
記録された画像のチェックやプレゼンテーションなどに便利です。

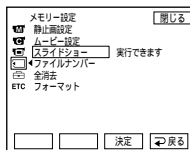
テレビで見るときは
あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでください（39ページ）。

設定中に“ メモリースティック ”を入れ換えると
スライドショーは動作しません。“ メモリースティック ”を入れ換えたら、始めから操作し直してください。

“ メモリースティック ”内部に表示できる画像が1枚もないときは
「ファイルがありません」というメッセージが表示されます。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」モードにする。

❷「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ メニューで の項目の「スライドショー」を選び、「決定」を押す（139ページ）。

❹「スタート」を押す。

“ メモリースティック ”の画像が順番に再生されます。

スライドショーを中止するには

「↩終了」を押す。

スライドショーを一時停止するには

「ポーズ」を押す。

機能画面に戻すには

「↩終了」を押し、「閉じる」を押す。

お好みの画像からスライドショーを始めるには

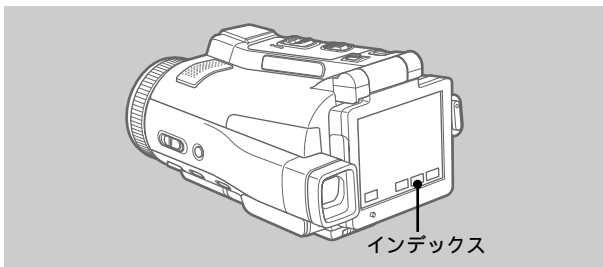
手順4の前に「－」/「＋」で最初の画像を選んでおく。

大事な画像を残す – プロテクト

大事な画像を誤って消さないために、撮影した画像を選んで誤消去防止（プロテクト）指定ができます。

ご注意

画像にプロテクトがかかっていても“ メモリースティック ”をフォーマットすると“ メモリースティック ”の内容はすべて失われます。フォーマットする前に内容を確認してください。

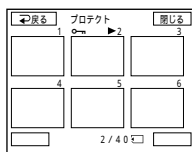
“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
プロテクトは実行できません。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

1 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」モードにする。

2 「ビデオ」モードのときは、「再生」を押す。
「メモリー」モードのときは、手順3へ進む。

3 「インデックス」を押し、インデックスを表示する。

4 「プロテクト」を押す。
プロテクト画面になります。

5 プロテクトしたい画像を押す。

プロテクトされた画像に「」マークが表示されます。

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

プロテクトを解除するには

手順5でプロテクトを解除する画像をもう一度押す。
解除された画像からは「」マークが消えます。

画像を消す – 消去

不要になった画像を消去できます。
撮影したすべての画像を消去したり、画像を
選んで消去したりできます。

ご注意

- プロテクトされている画像は消去できません。プロテクトされている画像を消去したいときは、あらかじめプロテクトを解除してください。
- 一度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に内容を確認してください。

“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
消去は実行できません。

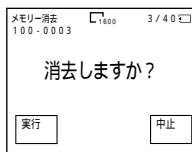
シングル画面表示のとき

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」モードにする。

❷ 「再生」または「▭再生」を押して、「＋」、「－」で消去したい画像を表示する。

❸ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❹ 「消去」を押す。

「消去しますか？」が表示されます。

❺ 「実行」を押す。
画像が消去されます。

機能画面に戻すには

手順5の後で「閉じる」を押す。

画像の消去を中止するには

手順5で「中止」を押す。

インデックス表示のとき

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ **電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」モードにする。**

❷ **「ビデオ」モードのときは、「⊂再生」を押す。**
「メモリー」モードのときは、手順3へ進む。

❸ **「インデックス」を押し、インデックスを表示する。**

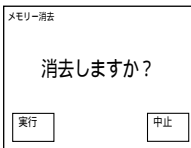
❹ **「消去」を押し、消去したい画像を押す。**

消去する画像の番号が反転します。

❺ **さらに消去したい画像があれば、その画像を押す。**

❻ **画像を選び終わったら、「決定」を押す。**

「消去しますか？」が表示されます。

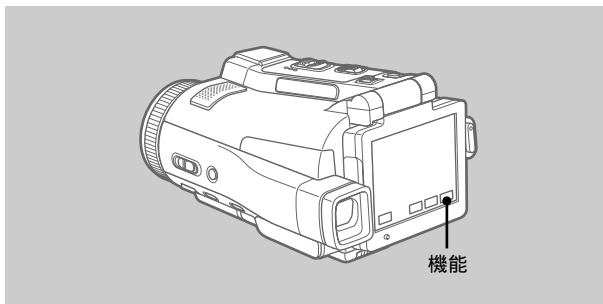
❼ **「実行」を押す。**
画像が消去されます。

機能画面に戻すには

手順7の後で「閉じる」を押す。

画像の消去を中止するには

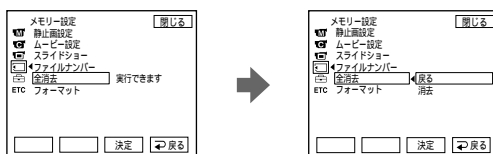
手順7で「中止」を押す。

すべての画像を消去する

プロテクトのかかっていない画像ファイルをすべて消去します。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」モードにする。

❷「機能」を押し、ページ1画面を出す。

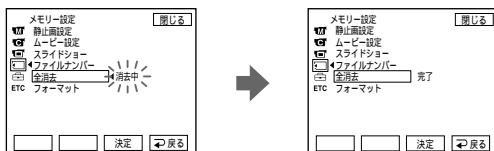
❸ メニューで の項目の「全消去」を選び、「決定」を押す（139ページ）。

❹「↓」/「↑」で「消去」を選び、「決定」を押す。

「消去」が「消去します」の表示に変わります。

「消去中」と表示されているときは
電源スイッチを切り換えたり、ボタン操作を行わないでください。

❺「決定」を押す。

「消去中」の表示が点滅します。

プロテクトのかかっていないすべての画像が消去されると、「完了」と表示されます。

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

全消去を中止するには

手順5で「戻る」を選び、「決定」を押す。

プリントマークを付ける – プリントマーク

“ メモリースティック ”に撮影した静止画の中からプリントしたい画像を直接指定して、マークを付けることができます。後でプリントするときに便利です。

本機はプリントしたい画像を選択できるDPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しています。

“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
プリントマークは実行できません。

動画には
プリントマークを付けることができません。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」モードにする。

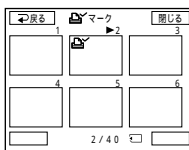
❷ 「ビデオ」モードのとき は、「再生」を押す。

「メモリー」モードのときは、手順3へ進む。

❸ 「インデックス」を押し、インデックスを表示する。

❹ 「マーク」を押す。

プリントマーク画面になります。

❺ プリントマークを付ける画像を押す。

「」マークが表示されます。

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

プリントマークを解除するには

手順5でプリントマークを解除する画像をもう一度押す。
解除された画像からは「」マークが消えます。

画像をパソコンで見る

テープまたは“メモリースティック”の画像をパソコンでご覧になるには、接続方法が異なります。目的に合わせて下記の接続をしてください。

※メモリースティックスロットを装備したパソコンでご覧になるときは、“メモリースティック”を本機から取り出して、パソコンのメモリースティックスロットに入れてご使用ください。

	本機の接続端子	接続ケーブル	パソコンに必要な環境	参照取扱説明書	
				Windowsをお使いの方へ	Macintoshをお使いの方へ
テープの画像	USB端子	USBケーブル（付属）	USB端子、編集ソフト	PIXELA ImageMixer 取扱説明書	–
	i.LINK（MICROMV端子）	i.LINKケーブル（別売り）	i.LINK（IEEE1394）端子、編集ソフト	Movie Shaker 取扱説明書	–
“メモリースティック”の画像	USB端子*	USBケーブル（付属）	USB端子、編集ソフト	PIXELA ImageMixer 取扱説明書	

i.LINKドライバ、USBドライバ、およびアプリケーションソフトのインストールが完了するまで、本機とパソコンを絶対に接続しないでください。先に接続すると、i.LINKドライバ、USBドライバが正しくインストールできません。

お持ちのパソコンの各端子、編集ソフトについては、パソコンメーカーにお問い合わせください。

*USB端子で接続できないパソコンのとき

別売りのメモリースティック用フロッピーディスクアダプター、メモリースティック用PCカードアダプターをご使用ください。

アクセサリーご購入の際は、アクセサリーの推奨使用環境をカタログでご確認の上ご購入ください。

パソコンを使用するときのご注意

“ メモリースティック ”

• パソコンでフォーマットした“ メモリースティック ”を本機に使用した場合や、USB接続時に本機内の“ メモリースティック ”をパソコンからフォーマットした場合は保証致しません。

•“ メモリースティック ”内のデータを圧縮しないでください。圧縮されたデータは本機で使用できなくなります。

ソフトウェア

• アプリケーションソフトによっては、静止画ファイルを開くとファイルサイズが大きくなる場合があります。

• レタッチソフトなどを使って加工した画像をパソコンから本機に取り込む場合、または本機の画像を直接加工した場合、画像形式が異なるためファイルエラー表示が出たりファイルが開けない場合があります。

パソコンとの通信

パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

ソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズをお使いの場合

MPEGデータを再生すると再生時間が極端に短くなることがあります。その際は下記のホームページで最新ドライバをダウンロードしてご使用ください。

http://www.vaio.sony.co.jp

［ダウンロード］から適当なアップデートプログラムを選び、ダウンロードしてください。

ネットワークにアクセスする

本機に対応したBluetooth機能搭載機器（別売り）、またはUSB機器（別売り）を使用して、インターネットに接続できます。ホームページを見たり、電子メールを送受信したり、Web上の専用アルバムの使用、i-Jumpサービスの利用などができます。

ここでは、ネットワークメニューを表示する手順のみを説明します。

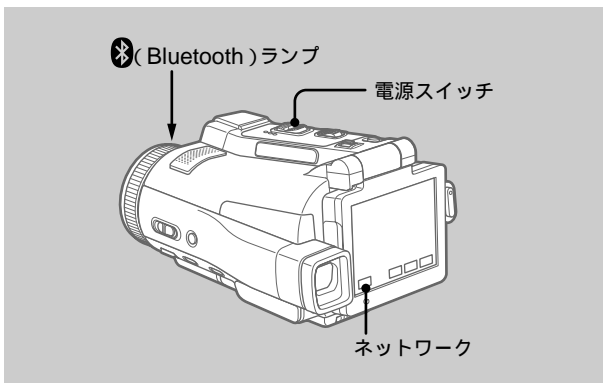
商標について

- Bluetoothはその権利者が所有している商標であり、ソニーはライセンスに基づき使用しています。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

(Bluetooth) ランプについて

本機がBluetooth搭載機器と通信中、青いランプが点灯します。

ご注意

- 電源スイッチを「メモリー/ネットワーク」モードにして、撮影スタンバイ状態であることを確認してください。
- 「ネットワーク」モード中は電源を取りはずさないでください。「ネットワーク」モードで設定した内容が消えてしまうことがあります。また電源スイッチを「(充電) 切」にするときや、モードを切り換えるときは「ネットワーク」モードを終了させてください。

1 電源スイッチを「メモリー/ネットワーク」モードにする。

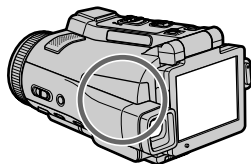
2 「ネットワーク」を押す。

ネットワークメニューが表示されます。

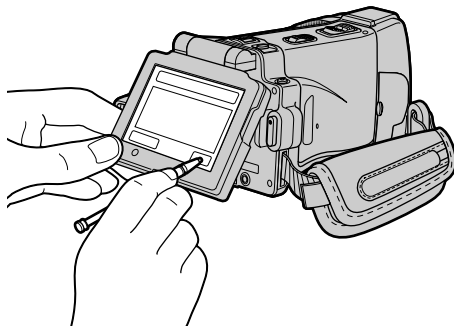
詳しくは、別冊の「ネットワーク機能取扱説明書」をご覧ください。

ネットワーク機能を使う

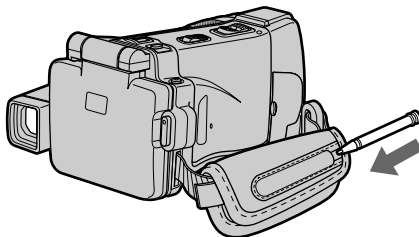
ご注意

- ネットワーク操作中は、液晶画面の裏側をささえながら指または付属のスタイラスで軽く押してください。
- ネットワーク操作中は、下記の部分を手でおおわないでください。電波がさえぎられることがあります。

ネットワーク機能操作中の正しい構え方

ネットワーク操作を安定して行うため、本機を平らなところに置き、液晶画面を見やすい角度にして操作してください。

ネットワーク操作に必要なボタンが液晶画面に表示されます。付属のスタイラスで押して操作してください。

使い終わったら

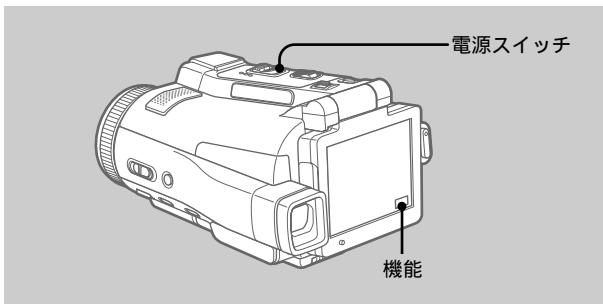
付属のスタイラスは、グリップベルトに付いている専用のホルダーに収納してください。

スタイラスの向きを図のようにして、カチッと音がするまで押し込みます。

メニューでお買い上げ時の設定を変える

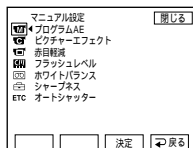
画面上のメニュー項目を、「↓」/「↑」で選択し、本機のお買い上げ時の設定を一部変更できます。

次の順で選択します。
メニュー画面→アイコン→項目→設定内容

メニュー項目は
以下のアイコン（絵文字）で区別されています。

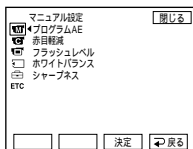
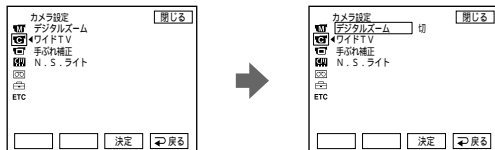
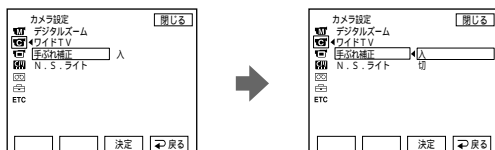
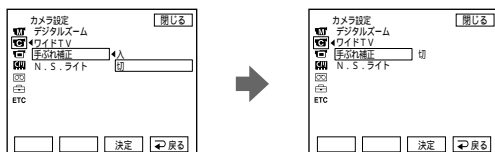
- M マニュアル設定
- C カメラ設定
- V ビデオ設定
- パネル/VF設定
- メモリー設定
- カセットメモリー設定
- テープ設定
- 初期設定
- ETC その他

1 電源スイッチを「カメラ」、「メモリー/ネットワーク」または「ビデオ」モードにする。

2 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

3 「メニュー」を押して、メニュー画面を出す。

「カメラ」モードのとき

「ビデオ」モードのとき

「メモリー/ネットワーク」モードのとき

次のページへつづく

4 「↓」/「↑」を押して希望のアイコンを選び、「決定」を押す。

5 「↓」/「↑」を押して希望の項目を選び、「決定」を押す。

6 「↓」/「↑」を押して設定を切り換え、「決定」を押す。

7 必要なだけ手順4〜6を繰り返す。

手順4に戻るには、「↩戻る」を押す。

詳しくは、「各設定項目の説明」（137ページ）をご覧ください。

機能画面に戻すには

「閉じる」を押す。

各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

電源スイッチの位置によって、操作できる項目に違いがあります。本機の画面には、そのとき使える項目のみ表示されます。

アイコン/項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
（マニュアル設定）			
プログラムAE	—	被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行う。（51ページ）	「カメラ」「メモリー」
ピクチャーエフェクト	—	画像にテレビや映画のような特殊効果を加える。（48、58ページ）	「カメラ」「ビデオ」
赤目軽減	●切	赤目補正が働かない。	「カメラ」「メモリー」
	入	撮影前に予備発光し、目が赤く映ることを抑制する。	
フラッシュレベル	明るい	フラッシュの発光量を通常より多くする。	「カメラ」「メモリー」
	●ノーマル	通常の設定。	
	暗い	フラッシュの発光量を通常より少なくする。	
ホワイトバランス	—	ホワイトバランスを調整する。（44ページ）	「カメラ」「メモリー」
シャープネス	—	画像輪郭をやわらかくするかくっきりさせるかを「↑」/「↓」で調節する。 やわらかな画像に ←→ くっきりした画像に	「カメラ」「メモリー」
オートシャッター	●入	明るいとき、自動的に電子シャッターが働く。	「カメラ」
	切	明るいときでも、自動的に電子シャッターが働かない。	
（カメラ設定）			
デジタルズーム	●切	デジタルズームが働かない。10倍までのズームが働く。	「カメラ」
	20×	ズームが10倍を超えると20倍までデジタルズームが働く。（26ページ）	
	120×	ズームが10倍を超えると120倍までデジタルズームが働く。（26ページ）	
拡大フォーカス表示	●切	拡大フォーカスしない。	「メモリー」
	入	マニュアルフォーカス時、画面中央部が2倍に表示される。	
ワイドTV	●切	ワイドTVモードにしない。	「カメラ」
	入	ワイドTVモードにする。（45ページ）	

フラッシュレベルは
フラッシュレベルに対応していない外部フラッシュでは設定できません。

次のページへつづく

アイコン/項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
（カメラ設定）			
手ぶれ補正	●入	手ぶれ補正が働く。	「カメラ」
	切	手ぶれ補正が働かない。三脚を使用するときに自然な画像になる。	
ホログラフィックAF	●オート	暗いところで被写体にフォーカスが合いにくいときに、ホログラフィックAF発光部が発光する。（101ページ）	「メモリー」
	切	ホログラフィックAFを働かせない。	
N. S. **ライト**	●入	NIGHTSHOTライトを使用する。（30ページ）	「カメラ」「メモリー」
	切	NIGHTSHOTライトを使用しない。	
（ビデオ設定）			
ビデオ入力	●ビデオ	AV接続ケーブルの映像端子を使って相手機から映像を入力する。	「ビデオ」
	Sビデオ	AV接続ケーブルのS映像端子を使って相手機から映像を入力する。	
（パネル/VF設定）			
パネルバックライト	●明るさノーマル	液晶画面のバックライトを標準の明るさにする。	「カメラ」「メモリー」「ビデオ」
	明るい	液晶画面のバックライトをより明るくする。	
パネル色のこさ	—	液晶画面の色のこさを「↓」/「↑」で調節する。 うすくなる ←→ こくなる	「カメラ」「メモリー」「ビデオ」
VF**バックライト**	●明るさノーマル	ファインダーのバックライトを標準の明るさにする。	「カメラ」「メモリー」「ビデオ」
	明るい	ファインダーのバックライトをより明るくする。	

手ぶれ補正は
- 手ぶれ補正が「入」になっていても、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- コンバージョンレンズ（別売り）を取り付けると、手ぶれ補正が効きにくくなります。

手ぶれ補正を解除すると
本機を左右に動かしたときにその動きを補正しようとするなど、不必要な補正を防ぎます。このとき画面に手ぶれ補正「切」表示が出ます。

「パネルバックライト」、「VFバックライト」は
- 「明るい」を選ぶと撮影時のバッテリー使用時間が約1割短くなります。
- バッテリー以外の電源で使うときは自動的に「明るい」になります。

「パネルバックライト」、「パネル色のこさ」、「VFバックライト」は
調節しても記録される画像に変化はありません。

アイコン/項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
（メモリー設定）			
静止画設定			
連写	●切	連写しない。	「メモリー」
	ノーマル	4〜25枚までの画像を連写する。（97ページ）	
	高速	32枚まで画像を高速連写する。	
	ブラケット	露出を変えて3枚の画像を連写する。	
	マルチ画面	9連写して9分割の画面にする。	
画質	●スーパーファイン	最も高画質で静止画を記録する。（89ページ）	「メモリー」「ビデオ」
	ファイン	高画質で静止画を記録する。	
	スタンダード	標準の画質で静止画を記録する。	
画像サイズ	●1600×1200	静止画を1600×1200サイズで記録する。（93ページ）	「メモリー」
	640×480	静止画を640×480サイズで記録する。	
ムービー設定			
画像モード	●スーパーファイン	最高の画質で動画を記録する。（91ページ）	「メモリー」「ビデオ」
	ファイン	高画質で動画を記録する。	
	スタンダード	標準の画質で動画を記録する。	
	ライトモード	電子メール添付用などの動画を記録する。	
メモリー残量表示	●オート	以下のときにメモリー残量を表示する。 • “ メモリースティック ”を入れた後、5秒間。 • 電源スイッチを「メモリー」モードにして、メモリー残量が1分未満になったとき。 • 動画記録が終了してから5秒間。	「メモリー」「ビデオ」
	入	メモリー残量を常に表示する。	
スライドショー	—	スライドショーをする。（123ページ）	「メモリー」
ファイルナンバー	●連番	“メモリースティック”を取り換えてもファイル番号を連続して付ける。	「メモリー」「ビデオ」
	リセット	“メモリースティック”ごとにファイル番号を0001から付ける。	
全消去	—	プロテクトのかかっていない全ての画像を消去する。（128ページ）	「メモリー」

画質を選ぶと

画質に合った記録可能枚数が表示されます。

メニューでお買い上げ時の設定を変える（つづき）

アイコン/項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
（メモリー設定）			
フォーマット	●戻る	フォーマットを中止する。	「メモリー」
	フォーマット（初期化）	本機に入れた“ メモリースティック ”をフォーマットする。フォーマットすると“ メモリースティック ”の記録内容は消去されます。 1「↓」/「↑」で「フォーマット」の項目を選び、「決定」を押す。 2「↓」/「↑」で「フォーマット」を選び、「決定」を押す。 3 画面に「フォーマットします」と表示されたら、「決定」を押す。「フォーマット中」の表示が点滅する。「完了」と表示されると終了。	
（カセットメモリー設定）			
タイトル消去	—	タイトルを消去する。（76ページ）	「カメラ」 「ビデオ」
タイトル表示	●入	タイトルを入れてあるところでタイトルを出す。	「ビデオ」
	切	タイトルを出さない。	
カセットラベル作成	—	カセットに名前を付ける。（82ページ）	「カメラ」 「ビデオ」
全消去	—	マイクロカセットメモリーのデータをすべて消去する。（84ページ）	「カメラ」 「ビデオ」
カセット情報表示	●入	次のときにカセット情報を5秒間表示する。（81ページ） •「カメラ」モードでテープを入れたとき • 電源スイッチを「ビデオ」モードにしたとき	「カメラ」 「ビデオ」
	切	カセット情報を表示しない。	

フォーマットについて

- 付属または別売りの“ メモリースティック ”はお買い上げ時にフォーマット（初期化）済みです。あらためてフォーマットする必要はありません。
- 「フォーマット中」と表示されている間に以下の操作をしないでください。
  ー電源スイッチを切り換える。
  ーボタン操作
  ー“ メモリースティック ”を取り出す。
- “ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると、フォーマットできません。
- 「メモリースティックフォーマットエラー」と表示されたときは、本機でフォーマットしてください。
- 付属の“ メモリースティック ”にあらかじめ記録してあるサンプル画像は消去されます。
- 画像にプロテクトをかけていても消去されます。

アイコン/項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
（テープ設定）			
テープ残量表示	●オート	以下のときにテープ残量を表示する。 • テープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。 • ►II（再生/一時停止ボタン）または画面表示/タッチパネルボタンを押してから8秒間。	「カメラ」 「ビデオ」
	入	テープ残量を常に表示する。	
（初期設定）			
日時あわせ	—	日付・時刻を合わせる。（16ページ）	「カメラ」 「メモリー」
USB**ストリーム**	●切	USBストリーミング機能を使用しない。	「カメラ」 「ビデオ」
	入	USBストリーミング機能を使用する。	
デモモード	●入	本機の機能を一覧できる。	「カメラ」
	切	デモンストレーションを表示しない。	

デモモードについて

- カセットまたは“ メモリースティック ”が入った状態では操作できません。
- NIGHTSHOTにすると、”NIGHTSHOT”が表示され、デモンストレーションは始まりません。また、メニューでも「デモモード」が選べません。
- デモンストレーション中にタッチパネルを押すと、デモンストレーションが中断され、スタンバイ状態になります。10分後に再びデモンストレーションが始まります。
- お買い上げ時は「スタンバイ」という設定になっています。これは10分後にデモンストレーションが始まる設定です。
  カセットを入れるか、電源スイッチを「カメラ」モード以外にするか、メニューで「切」にすれば解除されます。再び「スタンバイ」にするにはメニューで「入」にしたまま電源スイッチをいったん「（充電）切」にし、「カメラ」モードに戻します。

メニューでお買い上げ時の設定を変える（つづき）

アイコン/項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
ETC（その他）			
データコード（リモコン操作時）	●日付/カメラデータ	リモコンのデータコードボタンを押したとき、日付・時刻またはカメラデータを表示する。（36ページ）	「メモリー」「ビデオ」
	日付データ	日付・時刻を表示する。	
エリア設定	—	本機を海外で使用するときなど、使用する場所（エリア）が一時的に変わるときに設定する。（158ページ）	「カメラ」「メモリー」
サマータイム	●切	サマータイム中でないとき。	「カメラ」「メモリー」
	入	サマータイム中のとき。	
おしらせブザー	●メロディー	撮影スタート/ストップ時や、誤った操作をしたときにメロディーが鳴る。	「カメラ」「メモリー」「ビデオ」
	ノーマル	メロディーのかわりにブザーが鳴る。	
	切	メロディー、ブザー、シャッター音が鳴らない。	
リモコン	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く。	「カメラ」「メモリー」「ビデオ」
	切	リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。	
画面表示	●パネル	テープカウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。	「カメラ」「メモリー」「ビデオ」
	ビデオ出力/パネル	テレビ画面にも画面表示を出す。	
録画ランプ	●入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。	「カメラ」「メモリー」
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。被写体に撮影していることを意識させずに撮影できる。	

ご注意

「画面表示」が「ビデオ出力/パネル」のとき画面表示/タッチパネルボタンを押すと、外部入力ができなくなります。

電源をはずして5分以上たつと

「プログラムAE」、「フラッシュレベル」、「ホワイトバランス」、「リモコン」はお買い上げ時の設定に戻ります。
その他のメニュー項目は電源をはずしても設定を保持します。

被写体に接近して撮るとき

「録画ランプ」が「入」になっていると録画ランプの赤色が被写体に反射して映ることがあります。その場合は、「録画ランプ」を「切」にすることをおすすめします。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

液晶画面やファインダーに「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。151ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート/ストップボタンを押してもテープが走行しない。	•電源スイッチが「カメラ」モードになっていない。	•「カメラ」モードにする。	22
	•テープが終わりになっている。	•巻き戻すか、新しいカセットを入れる。	19、34
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•誤消去防止ツマミを元に戻す。または新しいカセットを入れる。	19
	•テープがヘッドドラムに貼りついている (結露)。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	159
電源が途中で切れる。	•撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	•電源スイッチを「(充電)切」にしてから、もう一度「カメラ」モードにする。	ー
	•バッテリーが消耗している。	•満充電されたバッテリーを入れる。	12、13
ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調整が正しくない。	視度調整する。	25
手ぶれ補正が働かない。	メニューの「手ぶれ補正」が「切」になっている。	「入」にする。	138
オートフォーカスが働かない。	•手動ピント合わせになっている。	•フォーカススイッチを、自動調節にする。	56
	•オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。	•手動でピントを合わせて撮影する。	56
ファインダーの画像が消えている。	液晶画面が開いている。	液晶画面を使って撮影しないときは液晶画面を閉じる。	7
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではありません。	ー	ー

次のページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スミア現象といい、故障ではありません。	ー	ー
画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。	スローシャッター、SUPER NIGHTSHOT、COLOR SLOW SHUTTERのときに出る現象で、故障ではありません。	ー	ー
液晶画面またはファインダーに見慣れぬ画面が現れる。	カセットを入れずに電源スイッチを「カメラ」モードにして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。	カセットを入れるか液晶画面のどこかを押すとデモンストレーションが中断される。デモンストレーションが出ないようにすることもできます。	141
画像の色が正しくない。	NIGHTSHOTが働いている。	解除する。	29
画面が白すぎて画像が見えない。	•NIGHTSHOTが働いている。 •逆光補正が働いている。	•解除する。 •解除する。	29 28
シャッター音が出ない。	メニューの「おしらせブザー」が「切」になっている。	「メロディー」または「ノーマル」にする。	142
テレビやコンピューターの画面を撮影すると黒い帯が出る。	ー	メニューの「手ぶれ補正」を「切」にする。	138

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
再生できない。	テープが終わりになっている。	テープを巻き戻す。	34
画像に横線が入る。またはぼけたり映らなかったりする。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	159
音声が小さい。または聞こえない。	音量を最小にしている。	音量を大きくする。	35
マルチ画面サーチ、日付サーチができない。	テープの始めや途中に無記録部分がある。	ー	ー
タイトルサーチができない。	•タイトルが入っていない。 •テープの始めや途中に無記録部分がある。	•タイトルを入れる。 ー	72、77 ー
タイトルが出ない。	メニューの「タイトル表示」が「切」になっている。	「入」にする。	140
再生中、画像が約1秒程度静止する。	撮影のつなぎ目を再生すると、画像が約1秒程度静止します。故障ではありません。	ー	ー

次のページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチを「ビデオ」、「カメラ」または「メモリー」モードにしても動作しない。	•バッテリーが消耗している/消耗が近い/入っていない。 •ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。	•充電されたバッテリーを入れる。 •コンセントに差し込む。	12、13 15
バッテリーの消耗が早い。	•周囲の温度が極端に低い。 •充電が不充分。 •バッテリーそのものの寿命。	ー •満充電する。 •新しいバッテリーに交換する。	ー 13 12
バッテリー残量が正しくない。	•温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。 •バッテリーそのものの寿命。 •バッテリーが消耗している。 •残量表示にズレが生じた。	ー •新しいバッテリーに交換する。 •満充電されたバッテリーを入れる。 •満充電すると残量が正しく表示される。	ー 12 12、13 13
バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。	残量表示にズレが生じた。	満充電すると残量が正しく表示される。	13
カセットが取り出せない。	•電源（バッテリーやACパワーアダプター）がはずれている。 •バッテリーが消耗している。	•電源をきちんと接続する。 •充電されたバッテリーを入れる。	12、15 12、13
💧や⏏が点滅し、カセット取出しつまみ以外働かない。	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	159
テープ残量表示が出ない。	メニューの「テープ残量表示」が「オート」になっている。	常にテープ残量を出したいときは「入」にする。	141

“ メモリースティック ”操作中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
操作を受け付けない。	•電源スイッチが「メモリー」モードになっていない。 •“ メモリースティック ”が入っていない。	•「メモリー」モードにする。 •“ メモリースティック ”を入れる。	96 86
撮影ができない。	•すでにメモリー容量いっぱいに撮影している。 •フォーマット形式の異なる“ メモリースティック ”を入れた。 •“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	•不要な画像を消去してから撮影する。 •本機でフォーマットするか、別の“ メモリースティック ”を入れる。 •「LOCK」を解除する。	126 140 85
画像を消去できない。	•プロテクトされている。 •“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	•プロテクトを解除する。 •「LOCK」を解除する。	125 85
フォーマットが実行できない。	“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	「LOCK」を解除する。	85
全消去が実行できない。	“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	「LOCK」を解除する。	85
プロテクトが実行できない。	•“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 •インデックス表示になっていない。	•「LOCK」を解除する。 •インデックス表示にしてプロテクトを実行する。	85 125
プリントマークが実行できない。	•“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 •インデックス表示になっていない。 •動画にプリントマークを付けようとしている。	•「LOCK」を解除する。 •インデックス表示にしてプリントマークを付ける。 •動画にプリントマークを付けることはできません。	85 130 130

次のページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

“メモリースティック”操作中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
正しい画像サイズで再生できない。	他機で撮影した画像を再生しようとすると画像サイズが正しく表示されないことがありますが、故障ではありません。	ー	ー
画像データが再生できない。	•パソコンなどで加工した画像は再生できない場合があります。（ファイル名が点滅します。）	ー	ー
	•他機で撮影した画像は再生できない場合があります。	ー	ー

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
タイトルを入れられない。	•タイトルがすでに20件入っている。	•不要なタイトルを消去する。	76
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•誤消去防止ツマミを元に戻す。	19
	•無記録部分にタイトルを入れようとしている。	•録画された部分にタイトルを入れる。	74
カセットに名前を付けられない。	カセットが誤消去防止状態になっている。	誤消去防止ツマミを元に戻す。	19
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	•メニューの「リモコン」を「切」にしている。	•「入」にする。	142
	•リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	•障害物を取り除く。	ー
	•リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。	•⊕極と⊖極を正しく入れる。	168
	•乾電池そのものの寿命。	•新しい乾電池に交換する。	168
外部入力しているのに液晶画面やファインダーに画像が映らない。	•メニューの「画面表示」が「ビデオ出力/パネル」になっている。	•「パネル」にする。	142
	•AV接続ケーブルと接続した映像端子の設定が正しくない。	•メニューの「ビデオ入力」で設定する。	138
AV接続ケーブルを使ってダビングができない。	メニューの「ビデオ入力」の設定が正しくない。	正しく設定する。	138
おしらせブザーが5秒間鳴りつづける。	•結露している。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	159
	•本機に異常が発生している。	•カセットを入れ直し、再度操作し直す。	ー

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源が入っているのに操作できない。	—	バッテリーまたはACパワーアダプターのDCプラグを取りはずし、約1分後再びバッテリーまたはACパワーアダプターのDCプラグを取り付け電源を入れる。それでも操作できないときは、RESET（リセット）ボタンを先のとがったもので押す。（この操作をすると日時を含め「ネットワーク」モードで設定した内容以外のすべての設定が解除されます。）	166
バッテリーを充電中、充電ランプが点灯していない。	•充電が完了している。 •バッテリーが正しく入っていない。	ー •正しく入れる。	ー 12
バッテリーを充電できない。	本機の電源スイッチが「（充電）切」になっていない。	「（充電）切」にする。	13
バッテリーを充電中に充電ランプが点滅する。	•バッテリーが正しく入っていない。 •バッテリーが故障している。	•正しく入れる。 •テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。	12 ー
電源スイッチを「ビデオ」モードまたは「（充電）切」にして本機を動かすと、本体内部で「カタカタ」という音がする。	本機の機能の一部にリニア機構を採用しているためです。故障ではありません。	ー	ー
タッチパネルのボタンが表示されない。	画面表示/タッチパネルボタンを押した。	•液晶画面を軽く押す。 •本機の画面表示/タッチパネルボタンまたはリモコンの画面表示ボタンを押す。	ー 36
タッチパネルのボタンが働かない。	—	画面を調節（キャリブレーション）する。	161
ファインダー内の文字が反転する。	対面撮影時におこる現象で、故障ではありません。	ー	27

その他

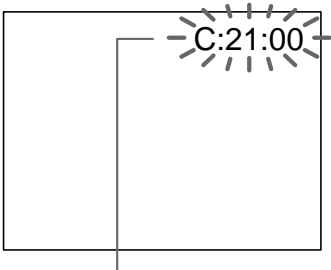
こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
テレビに映っている文字が反転する。	対面撮影時、メニューで画面表示の「ビデオ出力/パネル」を選んでいるときに起こる現象で、故障ではありません。	ー	ー
パソコンとUSB接続ができない。	•USBドライバのインストールが完了する前にUSBケーブルを接続した。	•正しく認識されなかったドライバを削除してから、USBドライバをインストールする。	131
	•メニューの「USBストリーム」が「切」になっている。	•「入」にする。	141
カセットぶたを開けてもテープが出てこない。	本機が結露しかけている。	ー	159

自己診断表示 – アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、液晶画面またはファインダーにアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは、以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

液晶画面またはファインダー

自己診断表示
「C:□□:□□」：
お客様自身で正常に戻せる状態
「E:□□:□□」：
テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせしていただく状態

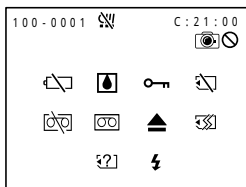
表示	原因	対応の仕方	参照ページ
C:04:□□	“インフォリチウム”以外のバッテリーを使用している。	“インフォリチウム”バッテリーをご使用ください。	14、155
C:21:□□	テープが結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	159
C:22:□□	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	159
C:31:□□ C:32:□□	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	• カセットを入れ直し、再度操作し直す。（本機が結露気味のときは、この操作を行わないでください。（159ページ）） • 電源を一度取りはずし、取り付け直してから再度操作し直す。	– –
E:20:□□ E:61:□□ E:62:□□	お客様自身で対応できない状態になっている。	テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例：E:61:10	–

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面またはファインダーには、次のような表示が出ます。

詳しい説明は、（　）内のページにあります。

警告表示

100-0001 ファイル関連の警告

遅い点滅
- ファイルが壊れている
- 扱えないファイル
- 動画ファイルをメモリーミックスしようとした（106ページ）

C：21：00 自己診断表示（151ページ）

バッテリー残量に関する警告

遅い点滅
- バッテリー残量が少ない
  使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5分から10分でも警告表示が点滅することがあります

結露の警告*

速い点滅
- テープが結露している
  テープを取り出し、電源をはずしてカセット入れを開けたまま約1時間放置する（159ページ）

"メモリースティック"関連の警告

遅い点滅
- "メモリースティック"が入っていない

速い点滅
- 取り込めない画像を記録しようとした

"メモリースティック"フォーマット関連の警告*

速い点滅
- "メモリースティック"が壊れている（85ページ）
- "メモリースティック"が正しくフォーマットされていない（140ページ）

非対応"メモリースティック"関連の警告*

遅い点滅
- 非対応の"メモリースティック"を入れた

テープ関連の警告

遅い点滅
- テープ残量が5分を切った
- テープが入っていない*
- テープが誤消去防止状態になっている*（19ページ）

速い点滅
- テープが終わっている*

クリーニングカセット関連の警告

遅い点滅
- 「メモリー/ネットワーク」モード中にクリーニングカセットを入れた。（160ページ）

テープを取り出す必要がある警告*

遅い点滅
- テープが誤消去防止状態になっている（19ページ）

速い点滅
- 結露している（159ページ）
- テープが終わっている
- 自己診断表示が出ている（151ページ）

画像プロテクトの警告*

遅い点滅
- 画像が消去できないようになっている（125ページ）

カセットメモリー関連の警告*

遅い点滅
- カセットを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも点滅するときは、カセットのカセットメモリー機能が壊れている可能性があります

速い点滅
- 本機のカセットメモリー機能が壊れている場合があります

フラッシュ関連の警告

遅い点滅
- 充電中

速い点滅
- 自己診断表示が出ている*（151ページ）
- フラッシュに異常がある

静止画記録関連の警告

遅い点滅
- "メモリースティック"に静止画を記録できない状態になっている（41ページ）

* 警告表示/お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

お知らせメッセージ

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが出ます。
メッセージにしたがって操作してください。

- バッテリーを取りかえてください（12ページ）
- このバッテリーは古くなりました　取りかえてください（12ページ）
- “インフォリチウム”バッテリーをつかってください（155ページ）
- テープが終わっています*
- カセットを入れてください*
- カセットの誤消去防止ツマミを確認してください*（19ページ）
- メニューで日付　時刻をあわせてください（16ページ）
- ダビングプロテクトされています　録画できません*（154ページ）
- ダビングプロテクトされています*（154ページ）
- タイトルがいっぱいです*（73ページ）
- 入力信号がちがいます*（70ページ）
- メモリー上の動画はテープに録画できません*（120ページ）
- カセットメモリーエラー*（81ページ）
- メモリースティックを確認してください*
- メモリースティック再生エラー*
- メモリースティック記録エラー*（105、114ページ）
- メモリースティックのメモリーがいっぱいです*（97、99ページ）
- メモリースティックの誤消去防止ツマミを確認してください*（85ページ）
- ファイルがありません*（116、123ページ）
- メモリースティックを入れてください*
- メモリースティック エラー*（86ページ）
- フォーマット中です*（140ページ）
- 全消去中です*
- メモリースティック フォーマットエラー*（104ページ）
- メモリースティック ディレクトリエラー*（115ページ）
- 非対応のメモリースティックです*
- 読出し専用のメモリースティックです*
- メモリー上の動画はテープに記録できません（120ページ）
- ϟ充電中です*
- 結露しています　カセットを取りだしてください*（159ページ）
  （テープが入っていないとき、メッセージは「結露しています」になります。）
- ⊗ヘッドが汚れています/クリーニングカセットをつかってください（159ページ）
- モードを“カメラ”か“ビデオ”に切りかえてください（160ページ）
- クリーニングカセットを取りだしてください（160ページ）
- クリーニングテープが終わっています　取りだしてください（160ページ）

* 警告表示/お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

ネットワークモード中のお知らせメッセージは、別冊のネットワーク機能取扱説明書をご覧ください。

ビデオカセットについて

使えるビデオカセット

本機はMICROMV方式のビデオカメラレコーダーです。本機には、MICROMVカセットのみ使えます。MICROMVマークのついたカセットをお使いください。すべてのカセットにカセットメモリーが付いています。

8、Hi8、VHS、VHSC、SVHS、SVHSC、β、ED Beta、DV、D、Mini DV方式のビデオカセットは使えません。

著作権保護信号について

再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

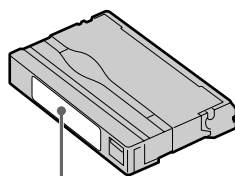
記録するとき

著作権保護のための信号が記録されている映像音声は本機で記録することはできません。
このような映像音声を記録しようとすると液晶画面またはファインダーに「ダビングプロテクトされています 録画できません」の表示が現れます。

なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

MICROMVカセットについてのご注意

ラベルは指定の位置に

カセットにラベルを貼るときは、指定の位置に正しくお貼りください。故障の原因になります。

ラベル貼り付け部

MICROMVカセットの使用後は

ご使用後は必ずテープを巻き戻してください。（画像や音声が乱れる原因となります。）
巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

カセットメモリー機能が働かないときは

カセットを入れ直してください。

---

micro Cassette Memory、MICROMV および MICROMV はソニー株式会社の商標です。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機との間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

- 本機をご使用になる前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10～30℃の範囲で、充電ランプが消える（満充電）まで充電することをおすすめします。これ以外では効率のよい充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACパワーアダプターを本機のDC IN端子から抜くか、バッテリーを取り出してください。

バッテリーの上手な使い方

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。安心してより長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前、本機に入れることをおすすめします。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/巻戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。
- 本機で撮影または再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安としてお使いください。
- バッテリー残量時間が約5～10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り出して湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、カセットを入れずに電源が切れるまで撮影状態にしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

i.LINK（アイリンク）について

本機のi.LINK（MICROMV端子）はi.LINKに準拠したMICROMV端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ご注意

i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は通常１台だけです。複数接続できるMICROMV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。

IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

本機の最大転送速度は「S400」です。

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100（最大転送速度　約100Mbps*）
S200（最大転送速度　約200Mbps）
S400（最大転送速度　約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

本機以外で特に転送速度の記載がされていない機器の最大転送速度は「S100」です。

最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば1秒間に100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK（MICROMV端子）付きビデオとつないでダビングする方法については66、70ページをご覧ください。

また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK対応機器（パーソナルコンピュータVAIOシリーズなど）とも接続してご使用になれます。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書を合わせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。

4ピン← →4ピン（MPEG2ダビング時）

i.LINK、i は商標です。

海外で使う

本機は海外でもお使いになれます

本機のネットワーク機能は、日本国内のみでご使用できます。

付属のACパワーアダプターAC-L20A**は、全世界の電源**（AC100V〜240V・50/60Hz）**でお使いいただけます。**

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、**電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。**

電子式変圧器（トラベルコンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米など	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	**不要です。**ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）**で、映像/音声入力端子付きのテレビ**（**またはモニター**）**および接続ケーブルが必要です。**

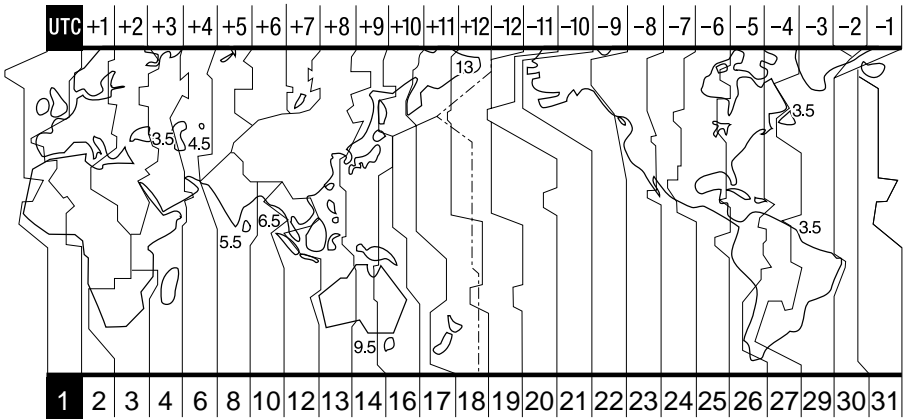
日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）**を採用している国または地域**（**五十音順**）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- ガイアナ
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

その他

時差補正機能について

海外でお使いになるときは、メニューで「エリア設定」と「サマータイム」を設定するだけで時刻を現地時間に合わせることができます。

世界時差表

エリア表示	時差	地名・国名
1	GMT	リスボン，ロンドン
2	＋01:00	ベルリン，パリ
3	＋02:00	ヘルシンキ，カイロ
4	＋03:00	モスクワ，ナイロビ
5	＋03:30	テヘラン
6	＋04:00	アブダビ，バク
7	＋04:30	カブール
8	＋05:00	カラチ，イスラマバード
9	＋05:30	カルカッタ，ニューデリー
10	＋06:00	アルマトイ，ダッカ
11	＋06:30	ラングーン
12	＋07:00	バンコク，ジャカルタ
13	＋08:00	ホンコン，シンガポール
14	＋09:00	トウキョウ，ソウル
15	＋09:30	アデレード，ダーウィン
16	＋10:00	メルボルン，シドニー
17	＋11:00	ニューカレドニア
18	＋12:00	フィジー，ウェリントン

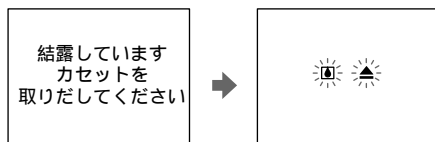
エリア表示	時差	地名・国名
19	−12:00	エニウェトク，クエジェリン
20	−11:00	サモア
21	−10:00	ハワイ
22	−09:00	アラスカ
23	−08:00	サンフランシスコ，ティファナ
24	−07:00	デンバー，アリゾナ
25	−06:00	シカゴ，メキシコシティ
26	−05:00	ニューヨーク，ボゴタ
27	−04:00	セントジョン，サンティアゴ
28	−03:30	ニューファンドランド
29	−03:00	ブラジリア，ブエノスアイレス
30	−02:00	フェルナンド　デ　ノローニャ
31	−01:00	アゾレス，カボベルデ

時差を補正するには

メニューから ETC の項目の「エリア設定」を選び、時差を補正したい国または地域を選び、決定する。

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

（5秒間表示）

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、開く/⏏カセット取出し⏏つまみ以外は働きません。
電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットぶたを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがありますが、故障ではありません。カセットが出てくるまでカセットぶたを閉めないでください。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。
次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットMGRCLDを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 再生画面に四角いノイズが出る
- 再生画面の一部が動かない
- 再生画像が出ない
- 録画中に「⊗ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る

ビデオヘッドが汚れているときの画像

ビデオヘッドがさらに汚れると青一色の画面になります。このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

結露が起こりやすいのは

以下のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

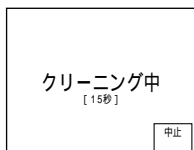
ビデオヘッドは

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

クリーニングカセット使用方法について

1 電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」モードにする。

2 クリーニングカセットを本機に入れる。

3 液晶画面の「実行」を押す。
「クリーニング中」が表示されます。

クリーニングが終了すると「クリーニングカセットを取りだしてください」と表示されます。

4 クリーニングカセットを取り出す。

クリーニングを中止するには

「中止」を押す。

ご注意

- ビデオヘッドをクリーニングするときは、クリーニングカセット以外は使わないでください。
- 「メモリー/ネットワーク」モードのときはクリーニングカセットは使用できません。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、付属のクリーニングクロスを使ってきれいにすることをおすすめします。

別売りの液晶クリーニングキットを使用するときは、クリーニングリキッドを直接液晶画面にかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませてご使用ください。

レンズのお手入れおよび保管について

- レンズ面に指紋などがついたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使用したときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。

カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行なってください。またビデオカメラレコーダーを良好な状態で長期にわたってご使用いただくためにも、月に1回程度、ビデオカメラレコーダーの電源を入れて操作することをおすすめします。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し**3ヶ月**近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことはできます。

充電方法

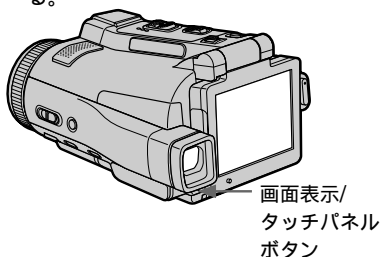
本機をACパワーアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを入れ、電源スイッチを「（充電）切」にして24時間以上放置する。

画面調節（キャリブレーション）について

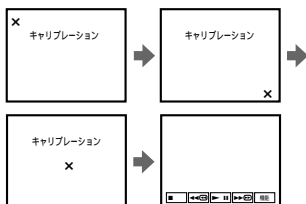
タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンにずれが生じることがあります。このような症状になったときは、次の操作を行ってください。

1 電源スイッチを「（充電）切」にする。

2 テープを取り出して、接続ケーブル類をはずす。

3 液晶画面を外側に向けて本体に閉じる。

4 画面表示/タッチパネルボタンを押しながら、電源スイッチを「ビデオ」モードにする。その後約5秒間画面表示/タッチパネルボタンを押し続ける。

5 付属のスタイラスを使って

1. 画面左上の×マークを押す。
2. 画面右下の×マークを押す。
3. 画面中央の×マークを押す。

正しい位置を押さなかった場合、左上からやり直しになります。

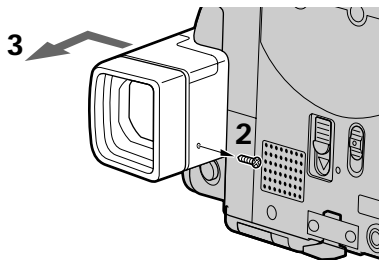
ご注意

液晶画面が手順3の位置以外ではキャリブレーションできません。

ファインダーをきれいにする

1 液晶画面を開ける。

2 ネジをはずす。

3 ファインダーを左へ約1.5mmずらし、手前に引いてアイカップをはずす。

アイカップの軸を落としたり、曲げたり、ケガをしないようにご注意ください。

4 アイカップの内側、ファインダー内部のゴミを、カメラ用のブロワーブラシなどで取り除く。

5 手順2、3と逆の動作でアイカップを取り付け、ネジをはめる。

ご注意

アイカップをはずすためのネジ以外は、取りはずさないでください。

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録音方式	MPEG1 Audio Layer2 (48kHz)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	MICROMV マークのついた MICROMVカセット
テープ速度	約5.66mm/秒
録画/再生時間	60分（MGR60使用時）
早送り、巻き戻し時間	約1分30秒（MGR60使用時）
ファインダー	電子ファインダー：カラー
撮像素子	5.0mm（1/3.6型）CCD固体撮像素子 総画素数：約211万画素 静止画時有効画素数：約192万画素 動画時有効画素数：約108万画素
ズームレンズ	カール ツァイス バリオゾナーT* 10倍（光学）、120倍（デジタル） f=4.5～45mm （35mmカメラ換算では 「カメラ」モード時： 52～520mm 「メモリー」モード時： 39～390mm） F1.8～2.1 フィルター径37mm
色温度切り換え	オート、ホールド、 オクナイ（3 200K）、 オクガイ（5 800K）
最低被写体照度	15 lx（ルクス）（F1.8） 0 lx（ルクス）（NIGHTSHOT時）

入・出力端子

映像/音声端子	10ピン特殊コネクター 入力/出力自動切り換え 映像：1Vp-p、75Ω不平衡、同期負 Y出力：1Vp-p、75Ω不平衡、同期負 C出力：0.286Vp-p、75Ω不平衡、同期負 音声：327mV（47 kΩ負荷時）、出力インピーダンス2.2kΩ 入力インピーダンス47kΩ以上
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック（Ø3.5）
USB端子	mini-AB
LANC端子	ステレオミニミニジャック （Ø2.5）
i.LINK （MICROMV端子）	i.LINK（IEEE1394．4ピンコネクターS400）

液晶画面

画面サイズ	6.2cm（2.5型）
総ドット数	211 200ドット 横960×縦220

ワイヤレス通信

通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.1.1
最大通信速度 1) 2)	約723 kbps
出力	Bluetooth標準規格 Power Class 2
通信距離 2)	見通し最大約10 m（BTA-NW1/NWP（別売り）との接続時）
対応Bluetooth プロファイル 3)	Generic Access Profile、 Dial-up Networking Profile
使用周波数帯	2.4 GHz帯（2.400 GHz～2.483 5 GHz）

1) Bluetooth標準規格 Ver.1.1の最大データ通信速度。
2) 通信機器間の障害物や電波状況などにより変化します。
3) Bluetooth搭載機器同士の使用目的に応じた仕様です。Bluetooth標準規格で定められています。

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DC端子入力8.4V
消費電力（バッテリー使用時）	4.4W （ファインダー使用時、明るさ標準） 5.0W （液晶画面使用時、明るさ標準）
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	–20℃〜+60℃
外形寸法（最大突起部を除く）	98×75.5×136mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約 520g（本体のみ）
撮影時総質量*	約 630g * バッテリーパックNP-FF70、テープ（MGR60）、レンズキャップ、スタイラス含む。
付属品	• “ メモリースティック ”（8MB）（1） • ACパワーアダプターAC-L20A（1） • 電源コード（1） • バッテリーパックNP-FF70（1） • レンズキャップ（1） • レンズフード（1） • ワイヤレスリモコン（1） • 単3形乾電池（リモコン用）（2） • AV接続ケーブル（1） • USBケーブル（1） • CD-ROM（SPVD-008 USB ドライバ）（1） • CD-ROM（Movie Shaker Ver. 3.1 for MICROMV）（1） • スタイラス（1） • クリーニングクロス（1） • 取扱説明書（1） • ネットワーク機能取扱説明書（1） • PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony かんたん操作ガイド（1） • PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony 取扱説明書（1） • Movie Shaker Ver. 3.1 for MICROMV 取扱説明書（1） • 安全のために（1） • 保証書（1） • デジタルイメージングカスタマーご登録のお勧め（1）

ACパワーアダプターAC-L20A

電源	AC100〜240V、50/60Hz
消費電力	23W
定格出力	DC8.4V 1.5A
動作温度	0℃〜＋40℃
保存温度	-20℃〜＋60℃
外形寸法（最大突起部を除く）	約125×39×62mm （幅×高さ×奥行き）
質量	約280g（本体のみ）

バッテリーパックNP-FF70

最大電圧	DC8.4V
公称電圧	DC7.2V
容量	9.6wh（1 350mAh）
最大外形寸法	約40.8×24.1×49.1mm （幅×高さ×奥行き）
質量	約90g
使用温度	0℃〜＋40℃
使用電池	Li-ion

“ メモリースティック ”

メモリーの種類	フラッシュメモリー 8Mバイト　MSA-8A
動作電圧	2.7V〜3.6V
消費電流	動作時平均：約45mA スタンバイ時：約130μA
外形寸法	約50×2.8×21.5mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約4g

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター（本書の裏面参照）にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

各部のなまえ

使いかたの説明は、(　)内のページにあります。

本体

検索する

各部のなまえ（つづき）

バッテリーぶた

"メモリースティック" スロット（86ページ）

OPEN スイッチ（12ページ）

画面表示/タッチパネルボタン（36ページ）

視度調整つまみ（25ページ）

三脚用ネジ穴
三脚を使うときは、ネジの長さ5.5mm未満のものをお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

NIGHTSHOT/NIGHTFRAMING **スイッチ**（29、102ページ）

フォーカスリング/ズームリング（27、56ページ）

SUPER NS/COLOR SLOW S **ボタン**（29、31ページ）

フェーダーボタン

電源スイッチ（6ページ）

充電ランプ（13ページ）

ビデオランプ（6ページ）

メモリー/ネットワーククランプ（6ページ）

カメラランプ（6ページ）

ズームレバー（26ページ）

フォトボタン（41、96ページ）

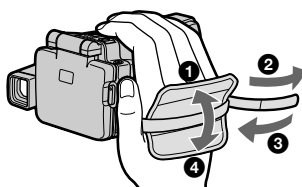
カセットぶた（19ページ）

フラッシュ（42、100ページ）

RESET（リセット）ボタン
RESET（リセット）ボタンを押すと、日時を含め「ネットワーク」モードで設定した内容以外のすべての設定が解除されます。

LANCマークについて

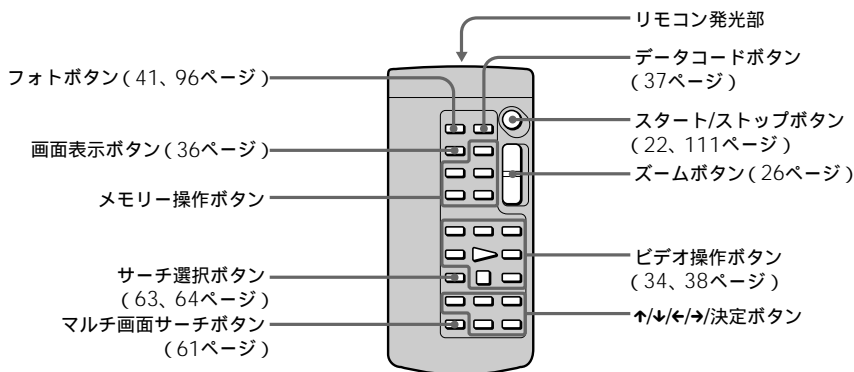
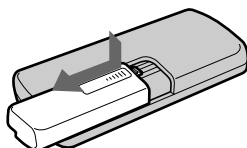
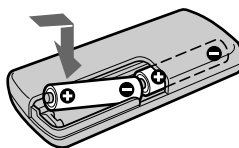
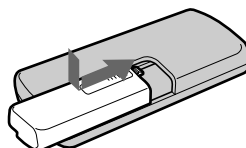
は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

グリップベルトのしめ方

グリップベルトはしっかりとしめてください。

ワイヤレスリモコン

電池の入れかた

❶ 押しながらずらす

❷ 入れる

❸ 元に戻す

リモコンについて

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

ファインダーと液晶画面の表示

索引

カスタマーご登録のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

ソニーではハンディカムをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマーご登録」をお勧めしています。詳しくは同梱の「デジタルイメージングカスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■カスタマーご登録およびご登録内容の変更はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/di-regi/

■カスタマーご登録に関するお問い合わせは
ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク
電話： 03-5977-7255
受付時間： 月～金曜日　午前10時～午後6時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■デジタルイメージングカスタマーサポート
デジタルハンディカムとパソコンの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。
http://www.sony.co.jp/support-di/

■テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また、修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話： 0564-62-4979
受付時間： **月～金曜日　午前9時～午後5時**
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お電話される前にあらかじめ以下の内容をご用意いただきますとより迅速な対応が可能になります。
① **お客様のデジタルイメージングカスタマーID**
（既にカスタマーご登録されたお客様にはカスタマーIDが発行されています）
② **本機の型名**（DCR-IP220K）**および製造番号**
（保証書などに記載されています）

■ハンディカムスクエア
ハンディカムの活用法やアクセサリー情報、パソコンへの画像取りこみ方法を掲載しています。
http://www.sony.co.jp/cam/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan